

寝屋川市公共施設等総合管理計画

個別計画（アクションプラン）

令和3年3月

寝屋川市

【目次】

1	計画の概要	1
2	対象となる公共施設等	2
3	施設評価の方法	3
4	長寿命化等の考え方	4
5	アクションプラン	8
(1)	市民文化系施設	10
(2)	社会教育系施設	12
(3)	スポーツ・レクリエーション系施設	14
(4)	産業系施設	16
(5)	学校教育系施設	18
(6)	子育て支援施設	21
(7)	保健・福祉施設	24
(8)	行政系施設	26
(9)	市営住宅	28
(10)	供給処理施設	30
(11)	その他	32
(12)	未利用地	35
6	アクションプラン個票	41
(1)	市民文化系施設	43
(2)	社会教育系施設	57
(3)	スポーツ・レクリエーション系施設	73
(4)	産業系施設	77
(5)	学校教育系施設	81
(6)	子育て支援施設	119
(7)	保健・福祉施設	157
(8)	行政系施設	169
(9)	市営住宅	185
(10)	供給処理施設	191
(11)	その他	195

1 計画の概要

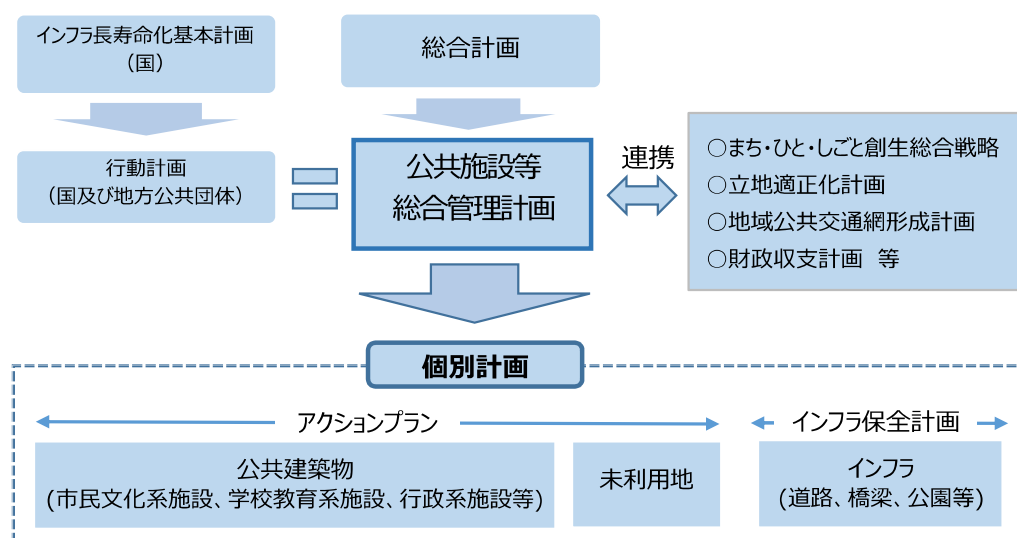
(1) 策定目的

公共施設等の更新等にかかる多額の財政需要が見込まれる中、公共施設等の更新・統廃合・長寿命化等を総合的かつ計画的に行うことにより、財政負担の軽減・平準化を図るとともに、その最適な配置を実現するため、今後の公共施設等の在り方についての方針を示す「寝屋川市公共施設等総合管理計画」を平成 29 年（2017 年）3 月に策定しました。

この公共施設等総合管理計画で整理した方向性を踏まえて、公共施設等に関する具体的な施策を実行していくため、公共建築物、土地に係る個別の方針や取組を示す「個別計画（アクションプラン）」を策定するものです。

(2) 計画の位置付け

個別計画は、上位計画である公共施設等総合管理計画に基づき策定し、他の関連計画とも整合を図ります。

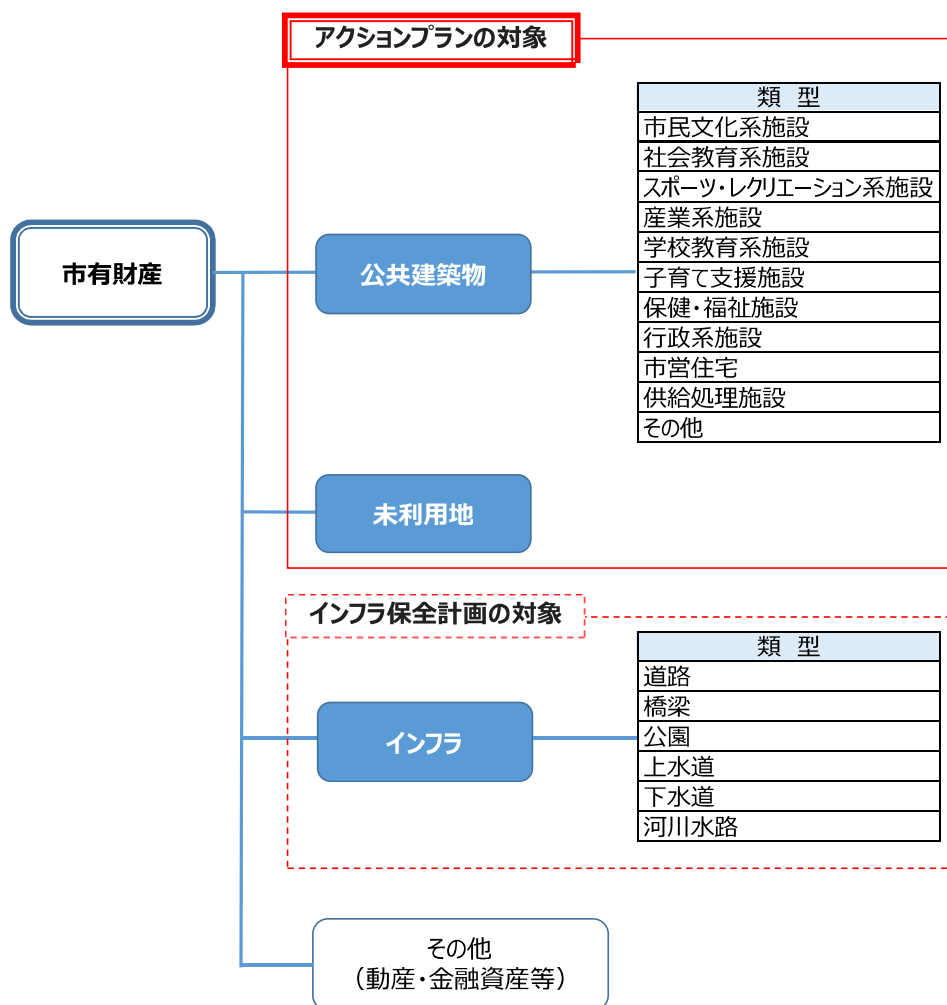


(3) 計画期間

上位計画である公共施設等総合管理計画が平成 29 年度（2017 年度）から令和 8 年度（2026 年度）までであることから、個別計画の計画期間は、令和 8 年度（2026 年度）までとします。

2 対象となる公共施設等

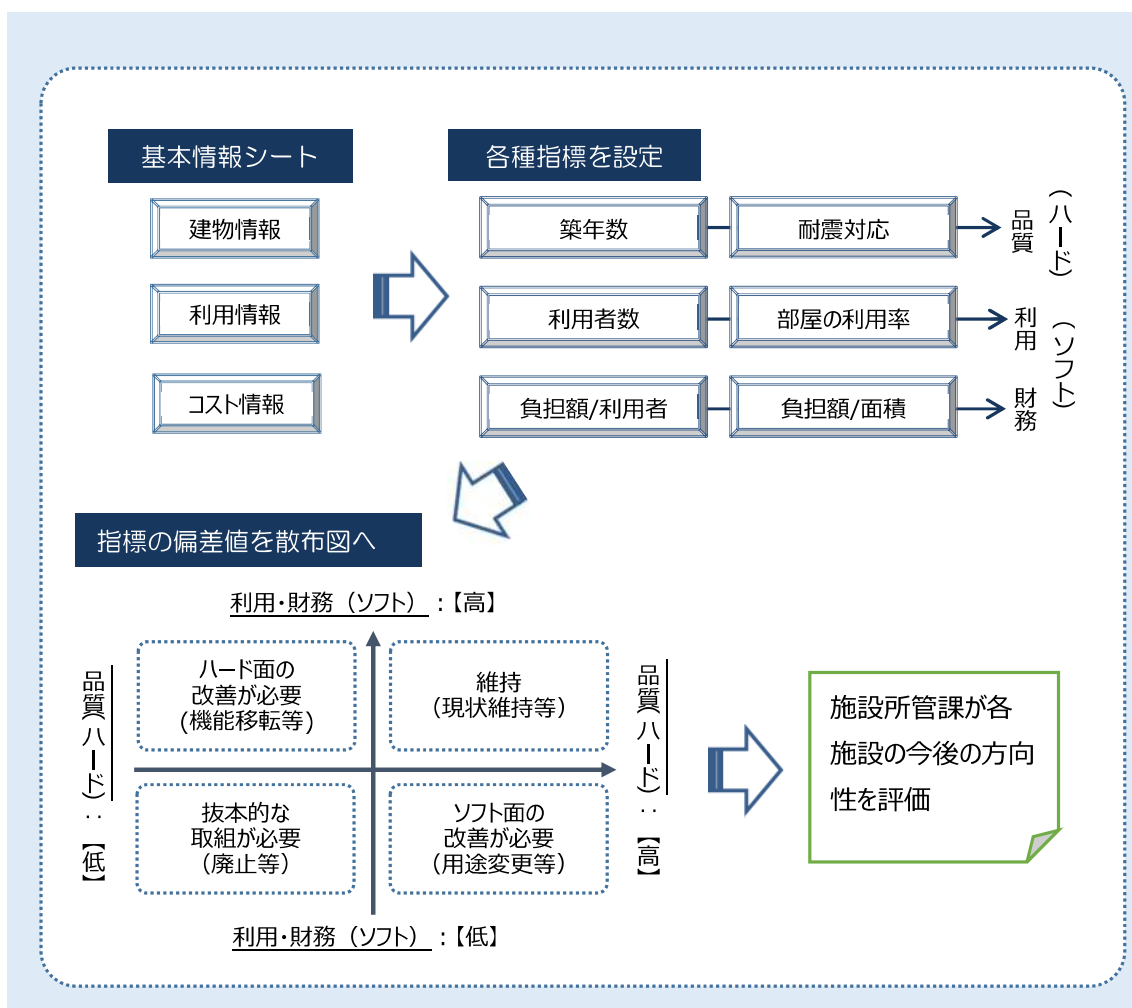
令和2年4月1日現在で市が保有する全ての公共建築物、未利用地がアクションプランの対象となります。



3 施設評価の方法

まず、建物、利用、コストに関する情報を記載した基本情報シートを作成、次に、それらの情報を分析するため、築年数、利用者数など、ハード、ソフト両面についての指標を設定し、その指標を相対的に比較するために算出した偏差値を散布図で示すことにより、施設の現状把握を行いました。

施設評価を行う際には、これらの現状を基礎として、施設の今後の方向性の検討を行いました。



4 長寿命化等の考え方

(1) 施設の目標使用年数に基づく計画的な保全の推進

施設の**目標使用年数は60年から最長80年**を基本として設定し、中長期的な保全のもと、厳しい財政状況においても計画的な保全を実施します。

なお、一般的にはその中間時期に当たる**30年から40年には大規模改修**を計画する必要があります。この大規模改修の計画時には、市民ニーズの変化への対応や適正なコストによる施設運営を実現するため、建築物の総量と配置の適正化の観点から、種々の判断をする必要があります。

また、施設の使用年数には限界があり、その限界は、物理的劣化により構造躯体などがそれ以上使用できなくなる時期、あるいは陳腐化などにより施設が持つ機能や要求された性能が満たせなくなる時期と考えられます。長寿命化においては、構造躯体の耐用年数まで使い続けることを目指し、目標使用年数を設定し、長期的な視点でライフサイクルコストの縮減に取り組みます。

※陳腐化：社会的、技術的情勢により、ものの機能・性能などの相対的価値が低下すること。

ライフサイクルコスト：建築物の企画設計段階、建設段階、運用管理段階及び解体再利用段階の各段階のコストの総計のこと。

【耐用年数とは？】

耐用年数は、一般的に①物理的耐用年数、②経済的耐用年数、③機能的耐用年数の3つに分類されます。

①物理的耐用年数

構造躯体や部材が物理・科学的原因により劣化し、要求される限界性能を下回る年数

②経済的耐用年数

継続使用するための修繕・改修費などの費用が改築や更新を上回る年数

③機能的耐用年数

使用目的が当初の意図から変化したり、社会的機能の要求が向上したりして陳腐化する年数

それぞれの耐用年数の長さは、「①物理的耐用年数 > ②経済的耐用年数 > ③機能的耐用年数」となると言われています。

一般的な施設の使用年数は、このうち最短の③機能的耐用年数に近いものでした。長寿命化とは、最長の物理的耐用年数にできる限り近づけることと言えます。建築物は多くの部位・部材により構成され、その耐用年数はそれぞれ異なります。このうち、構造躯体の耐用年数が最大であり、これが建築物の物理的耐用年数となります。

【目標使用年数の設定根拠】

目標使用年数は、「建築物の耐久計画に関する考え方」（（社）日本建築学会）の目標耐用年数の定め方を参考に設定します。

本市が保有する建築物のほとんどは鉄筋コンクリート造・鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄骨造が占めており、その目標耐用年数を採用します。目標耐用年数は、鉄筋コンクリート造では、躯体コンクリートの中性化の進行に関わる要因により、鉄骨造では、躯体の鋼材の腐食の進行に関わる要因により、50～80年の幅があります。

構造躯体の劣化を進行させないことが重要で、点検により不具合を早期に発見し、必要な劣化対策を施すことで、耐用年数を最長 80 年に延ばすことが可能です。

しかしながら、既存施設の中には、これまでの保全状況から、構造躯体の劣化が進行し、継続使用をするための費用が大きくなり、80年を目指すことが現実的でないものもあります。この場合はライフサイクルコスト等も考慮し、目標使用年数を設定します。

【表：建築物全体の望ましい目標耐用年数の級】

用途	構造種別						
	鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造		重量鉄骨造		軽量鉄骨 造	ブロック造 レンガ造	木造
	高品質 の場合	普通の品 質の場合	高品質 の場合	普通の品 質の場合			
学校 官庁	Y _o 100 以上	Y _o 60 以上	Y _o 100 以上	Y _o 60 以上	Y _o 40 以上	Y _o 60 以上	Y _o 60 以上
住宅 事務所 病院	Y _o 100 以上	Y _o 60 以上	Y _o 100 以上	Y _o 60 以上	Y _o 40 以上	Y _o 60 以上	Y _o 40 以上
店舗 旅館 ホテル	Y _o 100 以上	Y _o 60 以上	Y _o 100 以上	Y _o 60 以上	Y _o 40 以上	Y _o 60 以上	Y _o 40 以上
工場	Y _o 40 以上	Y _o 25 以上	Y _o 40 以上	Y _o 25 以上	Y _o 25 以上	Y _o 25 以上	Y _o 25 以上

※出典：建築物の耐久計画に関する考え方（（社）日本建築学会）

【表：目標耐用年数の級の区分の例】

目標耐用年数 の級	目標耐用年数		
	代表値	範囲	下限値
Y _o 100	100 年	80～100 年	80 年
Y _o 60	60 年	50～80 年	50 年
Y _o 40	40 年	30～50 年	30 年
Y _o 25	25 年	20～30 年	20 年

※出典：建築物の耐久計画に関する考え方（（社）日本建築学会）

(2) 予防保全の推進

施設の保全については、これまでの対症療法的な「事後保全」から、故障や不具合を未然に防ぐ「予防保全」に転換する必要があります。

平成 30 年 4 月に策定した「施設管理者のための建物維持管理マニュアル」に基づき、公共施設の適切な維持管理を行い、日常的な維持管理や定期点検、法定点検などを適切に実施することで、予防保全を推進します。

【「事後保全」と「予防保全」】

「事後保全」

建築物の部分あるいは部品に不具合・故障が生じた後に、部分あるいは部品を修繕もしくは交換し、性能・機能を所定の状態に戻す保全の方法

躯体等が傷みやすく、建物寿命を短くするだけでなく、対応が遅れたために故障や不具合の規模が拡大し、修繕等の費用の増加につながるなど、財政負担にも大きな影響を与える場合があります。

「予防保全」

建築物の部分あるいは部品に不具合・故障が生じる前に、部分あるいは部品を修繕もしくは交換し、性能・機能を所定の状態に維持する保全の方法

建物の長寿命化につながり、更新、改修の時期を先送りすることができ、ライフサイクルコストの縮減が図れます。

■ 事後保全でもよいもの

不具合が生じても影響が極小で範囲が限定されている場合や、復旧にあまり時間と費用を要しない場合などには、事後保全を適用します。

例) ・蛍光灯や電球の交換

・壁や床、建具など内装材の不具合など

(3) アスベスト対策及び耐震化の促進

平成 30 年（2018 年）6 月に発生した大阪府北部を震源とする地震による被害を踏まえ、アスベストが使用されている施設については、大規模改修時における除去作業等に取り組むとともに、更新の優先順位付けの際の判断材料の一つとします。また、平成 28 年度（2016 年度）に策定した「第二期寝屋川市住宅・建築物耐震改修促進計画」に基づき、今後も継続して不特定多数の市民が利用する公共施設については、耐震化率 100%を目指します。

5 アクションプラン

対策の優先順位の考え方

- ア 経過年数、耐震性の有無等に加え、延床面積、施設が現在果たしている役割を踏まえ、計画的に対策を実施します。
- イ 建築後 30～40 年で大規模改修、建築後 60～80 年で更新という一定の基準を用い、更新、長寿命化等の実施時期を判断します。
- ウ アスベストについては、大規模改修時における除去作業等に取り組むとともに、更新の優先順位付けの際の判断材料の一つとします。
- エ 避難所に指定している施設については、安全性の確保を第一に考慮し、防災機能の強化を図ります。

「アクションプラン個票抜粋」表の説明

ア 施設名称

公共施設等総合管理計画で示した施設類型ごとに、令和 2 年 4 月 1 日現在で、市の保有する全ての公共建築物について方向性を示します。

※ 複合施設についても、それぞれの施設ごとに方向性を示します。

イ 耐震化

新耐震基準、又は旧耐震基準であっても耐震改修工事を行っている施設は、「○」、旧耐震基準かつ耐震診断の対象となっていない建物は、「—」と記載しています。

ウ ハード一次評価

当該施設が相対的にどの程度の劣化状況にあるか把握するため、全施設を母集団として、築年数及び耐震化率から偏差値を算出しています。

(偏差値：55 以上：A 54.9～45.1：B 45 以下：C 複合施設：複合)

エ ソフト一次評価

機能が類似する施設を母集団として、利用者数、部屋の利用率、市負担額等の指標から偏差値を算出しています。なお、施設類型ごとに採用する指標が異なります。

(偏差値：55 以上：A 54.9～45.1：B 45 以下：C)

施設類型	指標
市民文化系施設、社会教育系施設、スポーツ・レクリエーション系施設、産業系施設、保健福祉施設のうち高齢福祉施設、子育て支援施設のうち幼児・児童施設	<ul style="list-style-type: none"> ・1日当たりの利用者数 ・部屋の利用率 ・面積当たりの市負担額 ・利用者1人当たりの市負担額
学校教育系施設	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者1人当たりの面積 ・面積当たりの市負担額 ・利用者1人当たりの市負担額
子育て支援施設	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者1人当たりの面積 ・定員充足率 ・面積当たりの市負担額 ・利用者1人当たりの市負担額
市営住宅	<ul style="list-style-type: none"> ・入居率 ・面積当たりの市負担額 ・利用者1人当たりの市負担額
行政系施設、保健福祉施設のうち高齢福祉施設以外、供給処理施設、その他	<ul style="list-style-type: none"> ・面積当たりの市負担額

オ 今後の方向性

今後の方向性	説明
集約化	同じ施設類型間を統合します。
複合化	異なる施設類型間を統合します。
維持	計画期間中は機能、立地を維持することを基本としますが、継続的に配置、機能の検証を行います。
解体	売却せず建物を解体し、敷地については他用途での使用を検討します。
売却	解体する、しないにかかわらず売却します。
検討	今後の方向性について引き続き検討します。
移転	機能を他の場所に移転します。

※上記以外にも、特に必要な場合は特性に応じた方向性を明記しています。

(1) 市民文化系施設

概要

- ◆ 市民文化系施設とは、市民文化の向上と地域コミュニティの増進に寄与するための施設です。
- ◆ 市民会館は、市民の文化の向上を図るための拠点であり、大ホールは約 1,200 人の収容能力を有し、図書館などが入る施設です。平成 27 年度（2015 年度）に耐震化が完了しています。
- ◆ 地域交流センター（アルカスホール）は、コンサートを始め、演劇、古典芸能、講演、セミナー、発表会など、目的に合わせて利用できるホールを有し、メインホールは約 360 人を収容できる施設です。
- ◆ そのほか、体育館、多目的室などを有する池の里市民交流センター、コミュニティセンターなどがあります。

現状

- ◆ 年間利用者総数は、810,752 人となっています。
- ◆ 貸出可能部屋等の利用率は、平均 36.9 パーセントとなっています。
- ◆ 令和 2 年（2020 年）時点で、建築後 40 年以上経過した施設が 3 施設あります。
- ◆ 指定管理者制度を導入している施設が 10 施設あります。
- ◆ 避難所に指定している施設が 9 施設あります。
- ◆ 平成 30 年（2018 年）6 月に発生した大阪府北部地震の影響により、中央公民館が休館しています。

視点

- ◆ 市民文化向上の核となる市民会館、地域交流センター、地域コミュニティの核となるコミュニティセンターを始め、コンサート、講演会等に利用できるホール、会議室など、市民の交流・文化活動などのために利用する施設であり、更なる利用率の向上が必要です。特に貸館事業が主体となる施設において利用の少ない施設については、他施設との集約化・複合化等を検討する必要があります。

今後の方針

- ◆ 耐震診断の対象になっていない施設であっても、今後、継続的に使用する場合には、耐震診断等の実施を検討します。
- ◆ 各施設が提供する機能を検証し、維持と判断した施設については、長寿命化に取り組み、計画的に保全を行うことを基本としますが、利用者ニーズ、施設の状況等を考慮した上で、集約化・複合化等の可能性を検討します。
- ◆ 改修や更新の際には、民間活力の活用の可能性を検討します。
- ◆ 総合センター閉館により中央公民館が休館となっていますが、市民サービスのターミナル化の一環として寝屋川市駅前での生涯学習機能の再構築及び機能充実等について検討します。

「アクションプラン個票抜粋」

施設名称	建築年	延床面積(m ²)	耐震化	ハード一次評価	ソフト一次評価	アスベストの有無	避難所指定	今後の方向性
西北コミュニティセンター	1981	1,294	○	B	B	有	有	維持
南コミュニティセンター	1983	1,303	○	B	B	無	有	集約化検討
南コミュニティセンター(分館)	1974	661	—	C	B	有	無	集約化検討
東北コミュニティセンター	1984	1,322	○	B	B	無	有	検討
西コミュニティセンター	1985	1,290	○	B	B	無	有	維持
東コミュニティセンター	1992	1,261	○	A	B	無	有	維持
西南コミュニティセンター	1988	1,282	○	B	B	無	有	維持
ふれあいプラザ香里	2000	109	○	賃借	A	—	無	廃止
市民活動センター	1970	555	○	複合	B	—	有	維持
中央公民館	1972	1,959	○	複合	B	—	無	移転
地域交流センター	2011	3,360	○	A	A	無	有	維持
池の里市民交流センター	1978	4,584	○	B	B	無	無	維持
市民会館	1970	11,126	○	B	A	有	有	維持

(2) 社会教育系施設

概要

- ◆ 社会教育系施設とは、自主学習・自主活動の推進など、市民の生涯学習に寄与するための施設です。
- ◆ エスポアールは、社会教育関係団体や市民の自主学習・自主活動の場所を提供する施設であり、多目的ホール、講義室などを有しています。
- ◆ 図書館は中央・東・寝屋川市駅前の3館と4つのコミュニティセンター分室の7か所に設置しており、全ての施設が他の施設に入っています。
- ◆ そのほか、土器・石器等の考古資料（遺物）を保管・展示する施設である埋蔵文化財資料館などがあります。

現状

- ◆ 年間利用者総数は、207,825人（図書館を除く。）となっています。
- ◆ 貸出可能部屋等の利用率は、平均51.4パーセントとなっています。
- ◆ 図書館の年間貸出総数は、857,316点となっています。
- ◆ 令和2年（2020年）時点で、建築後40年以上経過した施設が2施設あります。
- ◆ 指定管理者制度を導入している施設が2施設あります。
- ◆ 避難所に指定している施設が7施設あります。
- ◆ 平成30年（2018年）6月に発生した大阪府北部地震の影響により、中央図書館が休館していますが、4つのコミュニティセンター分室のフルオープン化と平成31年（2019年）4月から旧教育研修センターに臨時図書室を開設しています。

視点

- ◆ 図書、その他の資料などを収集・整理保存し、貸出などの利用に供する図書館を始め、郷土資料の保存・展示、講座・講演会の開催等、市民の教養、調査研究などのために利用する施設であり、市民ニーズへの的確な対応が必要です。
- ◆ 利用者数の少ない施設については、他施設との集約化・複合化等を検討する必要があります。

今後の方針

- ◆ 各施設が提供する機能を検証し、維持と判断した施設については、長寿命化に取り組み、計画的に保全を行うことを基本としますが、利用者ニーズ、施設の状況等を考慮した上で、集約化・複合化等の可能性を検討します。
- ◆ 改修や更新の際には、民間活力の活用の可能性を検討します。
- ◆ 中央図書館の機能については、市民サービスのターミナル化の一環として、寝屋川市駅前への移転を進めます。駅前図書館については、こども専用図書館をコンセプトにした整備を進めるとともに、併せて駅前立地を活かした子育て支援の機能整備を検討します。
- ◆ 臨時図書室（旧教育研修センター）を含む図書館分室については、市域の図書館機能を考える中で、市民の利便性を考慮した配置を検討します。

「アクションプラン個票抜粋」

施設名称	建築年	延床面積(m ²)	耐震化	ハード一次評価	ソフト一次評価	アスベストの有無	避難所指定	今後の方向性
中央図書館	1972	2,528	○	複合	A	—	無	移転
東図書館	1970	541	○	複合	B	—	有	維持
西北分室(図書館)	1981	58	○	複合	C	—	有	維持
南分室(図書館)	1983	103	○	複合	B	—	有	維持
東北分室(図書館)	1984	83	○	複合	C	—	有	維持
西南分室(図書館)	1988	62	○	複合	C	—	有	維持
駅前図書館	1985	2,284	○	B	A	無	無	維持(検討)
臨時図書室(旧教育研修センター)	1971	1,664	—	C	B	有	無	検討
男女共同参画推進センター	1973	181	○	複合	C	—	無	維持
エスポール	1993	2,819	○	B	A	無	有	維持
学び館	1978	2,435	○	複合	B	—	有	維持
埋蔵文化財資料館	1979	327	—	C	B	無	無	複合化検討
青少年の居場所(スマイル)	1978	422	○	複合	B	—	無	維持
青少年の居場所(ハピネス)	1973	64	○	複合	B	—	無	維持

(3) スポーツ・レクリエーション系施設

概要

- ◆ スポーツ・レクリエーション系施設とは、スポーツの振興を図り、健康で文化的な生活の向上に寄与するための施設です。
- ◆ 市民体育館は、市民スポーツの拠点となる施設であり、1,500 m²を超える体育室、柔道室などを有する施設です。
- ◆ 野外活動センターは、野外活動や自然体験活動を通じて生涯学習の振興を図るための施設であり、宿泊用のログハウスなどを有しています。
- ◆ そのほか、自転車の安全利用に関する意識の向上などを図る施設である自転車の駅があります。

現状

- ◆ 年間利用者総数は、194,875 人となっています。
- ◆ 貸出可能部屋等の利用率は、平均 53.6 パーセントとなっています。
- ◆ 令和 2 年（2020 年）時点で、建築後 40 年以上経過した施設が 2 施設あります。
- ◆ 指定管理者制度を導入している施設が 2 施設あります。
- ◆ 避難所に指定している施設が 1 施設あります。

視点

- ◆ スポーツ活動の拠点となる市民体育館を始め、市民の体力の向上、健康の増進のため、また、憩いの場として利用する施設であり、市民ニーズへの的確な対応が必要です。
- ◆ 多くの市民に活用されていることから、老朽化の状況を踏まえ施設の改修・長寿命化等について検討する必要があります。

今後の方針

- ◆ 各施設が提供する機能を検証し、維持と判断した施設については、長寿命化に取り組み、計画的に保全を行うことを基本としますが、利用者ニーズ、施設の状況等を考慮した上で、集約化・複合化等の可能性を検討します。
- ◆ 改修や更新の際には、民間活力の活用の可能性を検討します。

「アクションプラン個票抜粋」

施設名称	建築年	延床面積 (㎡)	耐震化	ハード一次評価	ソフト一次評価	アスベストの有無	避難所指定	今後の方向性
市民体育館	1974	7,240	○	B	A	無	有	維持
野外活動センター	1972	1,093	○	B	C	無	無	維持
自転車の駅	2014	243	○	A	C	無	無	維持

(4) 産業系施設

概要

- ◆ 産業系施設とは、市内産業の振興及び活性化、中小企業の経営者や勤労者の支援、消費者安全の確保に寄与する施設です。
- ◆ 産業振興センターは、産業振興の拠点として、産業振興室（商工担当）、産業振興関係機関の事務所などが入る施設です。平成 25 年度（2013 年度）に耐震化が完了し、平成 28 年度（2016 年度）には、男女共同参画推進センターが入るなど複合化が進んでいる施設です。
- ◆ 消費生活センターは、市民の消費生活の安定及び向上に寄与するための施設として、消費者相談などを行っています。

現状

- ◆ 年間利用者総数は、31,001 人となっています。
- ◆ 貸出可能部屋等の利用率は、平均 32.6 パーセントとなっています。
- ◆ 令和 2 年（2020 年）時点で、建築後 40 年以上経過した施設が 1 施設あります。

視点

- ◆ 市内産業振興の拠点や消費者保護を担い、相談業務、講座などを行っている施設であり、市民ニーズや経済情勢を的確に把握し、対応する必要があります。
- ◆ 利用の少ない施設については、他施設との集約化・複合化等を検討する必要があります。

今後の方針

- ◆ 改修や更新の際には、民間活力の活用の可能性を検討します。
- ◆ 各施設が提供する機能を検証し、維持と判断した施設については、長寿命化に取り組み、計画的に保全を行うことを基本としますが、利用者ニーズ、施設の状況等を考慮した上で、集約化・複合化等の可能性を検討します。

《アクションプラン個票抜粋》

施設名称	建築年	延床面積(m ²)	耐震化	ハード一次評価	ソフト一次評価	アスベストの有無	避難所指定	今後の方向性
産業振興センター	1973	1,343	○	B	B	無	無	維持
消費生活センター	1985	254	○	B	C	無	無	検討

(5) 学校教育系施設

概要

- ◆ 学校教育系施設とは、市立小・中学校並びに教職員の資質向上に寄与するための施設です。
- ◆ 市立小学校は 24 校、市立中学校は 12 校あります。
- ◆ 総合教育研修センターは教育関係職員の研修、研究活動、英語村、教育に関する相談を行う施設です。

現状

- ◆ 令和 2 年（2020 年）時点で、建築後 40 年以上経過した施設が 33 施設あります。
- ◆ 避難所に指定している施設が 37 施設あります。
- ◆ 市立小中学校においては、「学校園施設耐震化推進計画」により計画的に耐震化を進めた結果、耐震化率 100 パーセントを達成しています。

視点

- ◆ 義務教育の核となる施設であり、今後の少子化の進行並びに教育環境の多様化を見据え、集約化・複合化等を検討する必要があります。

今後の方針

- ◆ 教育施設の適正な配置を検討します。
- ◆ 総合教育研修センターについては、屋内運動場、プール、旧明德幼稚園など、未利用スペースの今後の在り方等について検討します。
- ◆ 改修や更新の際には、民間活力の活用の可能性を検討します。
- ◆ 維持と判断した施設については、長寿命化に取り組み、計画的に保全を行うことを基本としますが、児童・生徒数、施設の状況等を考慮した上で、集約化・複合化等の可能性を検討します。

《アクションプラン個票抜粋》

施設名称	建築年	延床面積(m ²)	耐震化	ハード一次評価	ソフト一次評価	アスベストの有無	避難所指定	今後の方向性
東小学校	1974	6,376	○	B	A	有	有	維持
西小学校	1972	5,878	○	B	C	有	有	維持
南小学校	1972	6,296	○	B	A	有	有	維持
北小学校	1978	6,250	○	B	A	有	有	維持
第五小学校	1976	7,954	○	B	A	有	有	維持
成美小学校	1960	5,093	○	B	B	無	有	維持
明和小学校	1973	8,602	○	B	C	有	有	集約化
池田小学校	1966	7,637	○	B	B	無	有	維持
中央小学校	1973	7,029	○	B	B	有	有	維持
啓明小学校	1967	7,363	○	B	B	無	有	維持
三井小学校	1969	7,597	○	B	C	有	有	維持
木屋小学校	1969	6,396	○	B	A	無	有	維持
木田小学校	1969	6,809	○	B	B	無	有	維持
神田小学校	1969	5,934	○	B	B	無	有	維持
堀溝小学校	1970	5,358	○	B	B	無	有	維持
田井小学校	1970	7,365	○	B	C	無	有	維持
桜小学校	1971	6,498	○	B	B	無	有	維持
点野小学校	1973	7,900	○	B	B	無	有	維持
和光小学校	1973	7,344	○	B	A	有	有	維持
国松緑丘小学校	1975	6,003	○	B	C	有	有	維持
楠根小学校	1976	5,231	○	B	B	有	有	維持
梅が丘小学校	1977	6,279	○	B	C	有	有	集約化
宇谷小学校	1981	5,109	○	B	B	有	有	維持
石津小学校	1982	4,490	○	B	B	有	有	維持
第一中学校	1967	7,784	○	B	B	無	有	維持
第二中学校	1973	7,383	○	B	B	有	有	維持
第三中学校	1961	6,940	○	B	B	無	有	維持
第四中学校	1972	8,896	○	B	C	無	有	集約化
第五中学校	1971	6,796	○	B	A	無	有	維持
第六中学校	1971	7,863	○	B	B	無	有	維持
第七中学校	1975	6,687	○	B	B	無	有	維持
第八中学校	1977	7,296	○	B	C	無	有	維持
第九中学校	1978	6,807	○	B	B	無	有	維持

施設名称	建築年	延床面積(m ²)	耐震化	ハード一次評価	ソフト一次評価	アスベストの有無	避難所指定	今後の方向性
第十中学校	1980	6,497	○	B	B	無	有	維持
友呂岐中学校	1983	6,276	○	B	B	有	有	維持
中木田中学校	1973	7468	○	B	B	有	有	維持
総合教育研修センター	1972	4,725	○	C	B	無	有	維持

(6) 子育て支援施設

概要

- ◆ 子育て支援施設とは、子どもの健全な成長や保護者の支援・交流に寄与するための施設です。
- ◆ 市立幼稚園は4か所、市立保育所は6か所あります。
- ◆ こどもセンターは、未就学児とその保護者が気軽に集い交流できる施設です。
- ◆ 子育てをしている家庭への支援等のため、一時預かり事業等を実施する子育て総合支援拠点として、子育てリフレッシュ館（RELATTO・リラット）を運営しています。
- ◆ そのほか、保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に、学校の放課後及び長期休業日等に適切な遊びや生活の場を提供する留守家庭児童会を各小学校に設置しています。

現状

- ◆ 令和2年（2020年）時点で、建築後40年以上経過した施設が11施設あります。
- ◆ 市立幼稚園は、平成19年度（2007年度）に「公立幼稚園の運営と今後のあり方の実施計画」を、平成24年度（2012年度）に「『（仮称）認定こども園すみれこども園』開設に伴う公立幼稚園の再構築【実施計画】」を、平成29年度（2017年度）に「公立幼稚園の再構築実施計画」を策定し、再構築を進めてきました。
- ◆ 市立保育所は、平成16年度（2004年度）に「市立保育所民営化方針」を策定し、民営化を進めてきました。
- ◆ 留守家庭児童会は、学校校舎の一部を活用したものが多くあります。

視点

- ◆ 市立幼稚園・保育所を始め、乳幼児の成長に合わせた支援、児童の健全な育成を図るための施設であり、今後の少子化の進行や女性の活躍推進、家庭環境の多様化を見据え、市民ニーズに的確に対応した事業運営が必要です。
- ◆ 今後の少子化の進行並びに教育環境の多様化を見据え、集約化・複合化等を検討する必要があります。

今後の方針

- ◆ 各施設が提供する機能を検証し、維持と判断した施設については、長寿命化に取り組み、計画的に保全を行うことを基本としますが、利用者ニーズ、施設の状況等を考慮した上で、集約化・複合化等の可能性を検討します。
- ◆ 改修や更新の際には、民間活力の活用の可能性を検討します。
- ◆ 保育事業にとどまらず、一時預かり事業など、市民ニーズに対応した子育て支援施設の在り方を検討します。

「アクションプラン個票抜粋」

施設名称	建築年	延床面積(m ²)	耐震化	ハード一次評価	ソフト一次評価	アスベストの有無	避難所指定	今後の方向性
さくら保育所	1970	793	○	B	C	無	無	維持
たんぼぼ保育所	1977	1,645	○	B	B	無	無	維持
さつき保育所	1972	879	○	B	B	無	無	維持
さざんか保育所	1974	978	○	B	B	無	無	維持
コスモス保育所	1975	607	○	B	A	無	無	維持
あざみ保育所	1979	1,092	○	B	B	無	無	維持
北幼稚園	1996	995	○	A	A	無	無	維持
中央幼稚園	1968	644	○	C	B	無	無	維持
南幼稚園	1969	673	○	B	C	無	無	維持
啓明幼稚園	1976	948	○	B	A	無	無	維持
こどもセンター	1973	890	○	B	B	無	無	維持(検討)
子育てリフレッシュ館	2018	1,660	○	A	C	無	無	維持
東小学校留守家庭児童会	1974	132	○	複合	B	—	有	維持
西小留守家庭児童会	2005	66	○	A	B	無	有	維持
南小学校留守家庭児童会	1972	126	○	複合	A	—	有	維持
北小学校留守家庭児童会	1978	131	○	複合	B	—	有	維持
第五小留守家庭児童会	2001	186	○	A	A	無	有	維持
成美小学校留守家庭児童会	1960	86	○	複合	B	—	有	維持
明和小学校留守家庭児童会	1973	63	○	複合	B	—	有	集約化
池田小学校留守家庭児童会	1966	130	○	複合	B	—	有	維持
中央小学校留守家庭児童会	1973	135	○	複合	A	—	有	維持
啓明小学校留守家庭児童会	1967	69	○	複合	C	—	有	維持

施設名称	建築年	延床面積(m ²)	耐震化	ハード一次評価	ソフト一次評価	アスベストの有無	避難所指定	今後の方向性
三井小学校留守家庭児童会	1969	131	○	複合	B	—	有	維持
木屋小学校留守家庭児童会	1969	64	○	複合	B	—	有	維持
木田小留守家庭児童会	1994	99	○	A	B	無	有	維持
神田小学校留守家庭児童会	1969	64	○	複合	A	—	有	維持
堀溝小学校留守家庭児童会	1970	65	○	複合	C	—	有	維持
田井小学校留守家庭児童会	1970	128	○	複合	B	—	有	維持
桜小学校留守家庭児童会	1971	126	○	複合	B	—	有	維持
点野小学校留守家庭児童会	1973	126	○	複合	B	—	有	維持
和光小学校留守家庭児童会	1973	128	○	複合	A	—	有	維持
国松緑丘小留守家庭児童会	1995	117	○	A	C	無	有	維持
楠根小学校留守家庭児童会	1976	63	○	複合	C	—	有	維持
梅が丘小学校留守家庭児童会	1977	65	○	複合	B	—	有	集約化
宇谷小学校留守家庭児童会	1981	64	○	複合	B	—	有	維持
石津小留守家庭児童会	2005	69	○	A	B	無	有	維持

※西、第五、木田、国松緑丘、石津小学校の留守家庭児童会は単独棟で、その他は空き教室を利用

(7) 保健・福祉施設

概要

- ◆ 保健・福祉施設とは、高齢者、障害児者の健康・福祉増進に寄与するための施設です。
- ◆ すばる・北斗福祉作業所、大谷の里及びあかつき園・ひばり園・第2ひばり園は、心身障害児者の福祉の増進等を図るための施設です。
- ◆ 高齢者福祉センターは、高齢者の健康増進、教養の向上等を図るための施設で、浴場や温水プールを有する施設もあります。
- ◆ そのほか、身体障害者等の福祉の向上などを図るための施設である東障害福祉センターなどがあります。

現状

- ◆ 年間利用者総数は、180,950人（障害福祉施設を除く。）となっています。
- ◆ 貸出可能部屋等の利用率は、平均65.2パーセントとなっています。
- ◆ 令和2年（2020年）時点で、建築後40年以上経過した施設が5施設あります。
- ◆ 指定管理者制度を導入している施設が4施設あります。
- ◆ 避難所に指定している施設が2施設あります。

視点

- ◆ 高齢者の健康増進、レクリエーション事業などを実施する高齢者福祉センターを始め、高齢者、障害児者等の健康増進・福祉増進などのために利用する施設であり、市民ニーズに的確に対応した事業運営が必要です。老朽化、耐震性の状況を踏まえ、施設の改修・更新等について検討する必要があります。
- ◆ 近隣施設の配置、利用状況を踏まえ、集約化・複合化等を検討する必要があります。

今後の方針

- ◆ 高齢福祉施設については、高齢者を中心としながらも多世代交流が促進されるよう、他施設との複合化を検討します。
- ◆ 耐震診断の対象になっていない施設であっても、今後、継続的に使用する場合には、耐震診断等の実施を検討します。
- ◆ 各施設が提供する機能を検証し、維持と判断した施設については、長寿命化に取り組み、計画的に保全を行うことを基本としますが、利用者ニーズ、施設の状態等を考慮した上で、集約化・複合化等の可能性を検討します。
- ◆ 改修や更新の際には、民間活力の活用の可能性を検討します。

「アクションプラン個票抜粋」

施設名称	建築年	延床面積(m ²)	耐震化	ハード一次評価	ソフト一次評価	アスベストの有無	避難所指定	今後の方向性
中央高齢者福祉センター	1970	1,301	○	B	A	無	無	検討
太秦高齢者福祉センター	1981	238	—	C	A	無	無	維持
東高齢者福祉センター	1977	581	—	C	B	無	無	集約化検討
西高齢者福祉センター	1998	1,518	○	複合	A	—	無	維持
あかつき・ひばり園	1973	1,461	○	B	C	無	無	維持
すばる・北斗福祉作業所・大谷の里	1986	2,067	○	B	B	無	有	維持
東障害福祉センター	1978	2,435	○	B	B	無	有	集約化検討
保健所	1971	1,397	○	B	B	有	無	維持
保健福祉センター診療所	1998	2,498	○	複合	B	—	無	維持
あかつき・ひばり歯科診療所	1973	40	○	複合	B	—	無	維持

(8) 行政系施設

概要

- ◆ 行政系施設とは、行政事務の執行や行政手続の利便性に寄与するための施設です。
- ◆ 寝屋川市の行政の中枢を担う施設として、寝屋川市役所があります。平成 23 年度（2011 年度）から平成 25 年度（2013 年度）にかけて耐震化、大規模改修などを行いました。
- ◆ 総合センターが閉館となったことにより、令和元年度（2019 年度）から池の里市民交流センターに福祉行政機能等の一部が移転しています。
- ◆ そのほか、西高齢者福祉センター、休日診療所などが入る保健福祉センターなどがあります。

現状

- ◆ 令和 2 年（2020 年）時点で、建築後 40 年以上経過した施設が 5 施設あります。

視点

- ◆ 本市行政の中枢を担う市役所を始め、様々な行政事務の執行や行政手続のために利用する施設であり、市民の更なる利便性の向上に努める必要があります。
- ◆ 複雑化・高度化する行政課題へ対応するため、他施設との集約化・複合化等を検討する必要があります。

今後の方針

- ◆ 各施設が提供する機能を検証し、維持と判断した施設については、長寿命化に取り組み、計画的に保全を行うことを基本としますが、利用者ニーズ、施設の状況等を考慮した上で、集約化・複合化等の可能性を検討します。
- ◆ 改修や更新の際には、民間活力の活用の可能性を検討します。
- ◆ 総合センターについては、解体し、その跡地については、駐車場に加え様々な活用を検討します。
- ◆ 行政系施設については、提供する行政サービスの内容を精査した上で、ターミナル化構想の中で今後の在り方等について検討します。

「アクションプラン個票抜粋」

施設名称	建築年	延床面積(m ²)	耐震化	ハード一次評価	ソフト一次評価	アスベストの有無	避難所指定	今後の方向性
寝屋川市役所	1964	12,930	○	B	B	無	無	維持
ねやがわシティ・ステーション	2000	185	○	賃借	B	—	無	維持
香里園シティ・ステーション	1972	96	○	賃借	C	—	無	移転
萱島シティ・ステーション	1984	101	○	B	C	無	無	維持
西シティ・ステーション	1978	57	○	複合	B	—	無	検討
東シティ・ステーション	1979	204	—	C	C	無	無	複合化検討
堀溝サービス窓口	2002	157	○	A	B	無	無	維持
総合センター	1972	12,022	○	B	B	有	無	解体
保健福祉センター	1998	8,816	○	A	B	無	無	維持
高架事業課事務所	1972	49	—	賃借	C	—	無	移転
上下水道局庁舎	1978	2,354	○	B	B	無	無	維持
香里浄水場	1994	2,619	○	B	B	有	無	検討
消防団明和班屯所	2006	146	○	A	B	無	無	維持
池の里市民交流センター（福祉行政機能）	2019	1,066	○	複合賃借	B	—	無	検討

(9) 市営住宅

概要

- ◆ 市営住宅とは、市民に賃貸するための住宅施設です。
- ◆ 下木田、明和、寝屋川東の3つの市営住宅があります。

現状

- ◆ 令和2年（2020年）時点で、建築後40年以上経過した施設が3施設あります。
- ◆ 下木田住宅の一部住宅を罹災用住宅として活用しています。
- ◆ 平成25年度（2013年度）に「市営住宅長寿命化計画」を策定し、維持管理を行っています。

視点

- ◆ 市営住宅ストックの効率的かつ効果的な活用を図りつつ、維持管理、再編整備を進める必要があります。

今後の方針

- ◆ 「市営住宅長寿命化計画」に基づき、計画的な維持管理や再編整備を進めます。
- ◆ 明和住宅については、公的賃貸住宅や民間賃貸住宅の空き家ストックを活用した借上住宅の供給を推進します。
- ◆ 明和温泉については、明和住宅が全て空き家になった時点で廃止を検討します。

「アクションプラン個票抜粋」

施設名称	建築年	延床面積(m ²)	耐震化	ハード一次評価	ソフト一次評価	アスベストの有無	避難所指定	今後の方向性
下木田市営住宅	1964	830	○	B	B	無	無	維持
明和住宅(明和住宅北集会所含む。)	1965	22,066	○	B	C	有	無	借上住宅への移転推進
明和温泉	1965	300	—	C	C	有	無	検討
寝屋川東住宅(寝屋川東集会所含む。)	2018	2,186	○	A	A	無	無	維持

(10) 供給処理施設

概要

- ◆ 供給処理施設とは、市域の環境美化を推進し、良好な生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与する施設です。
- ◆ ごみ処理施設として、クリーンセンターがあります。昭和 55 年（1980 年）9 月に竣工した焼却施設の老朽化が進んでいたことから、平成 24 年 3 月に「ごみ処理施設建設基本計画」を策定し、平成 30 年（2018 年）にごみ処理施設を竣工しました。
- ◆ し尿処理施設として、緑風園があります。

現状

- ◆ 令和 2 年（2020 年）時点で、建築後 40 年以上経過した施設はありません。
- ◆ 令和元年 12 月から旧クリーンセンター焼却施設の解体工事に着手しています。

視点

- ◆ 資源循環型都市の形成に寄与するクリーンセンターを始め、安全で清潔な生活環境の確保に資する施設であり、適正な管理に努める必要があります。

今後の方針

- ◆ し尿処理施設については、広域連携を含めた効率的な施設の在り方を検討します。
- ◆ プラント設備等の長寿命化計画を策定するなど、計画的な保全を行います。
- ◆ 旧クリーンセンター焼却施設を解体し、その跡地に資源物や災害廃棄物のストックヤードを整備します。

「アクションプラン個票抜粋」

施設名称	建築年	延床面積 (㎡)	耐震化	ハード一次評価	ソフト一次評価	アスベストの有無	避難所指定	今後の方向性
クリーンセンター	2018	15,068	○	A	B	無	無	維持
旧クリーンセンター 焼却施設	1980	7,758	—	—	—	有	無	解体
緑風園	1992	5,081	○	B	B	無	無	検討

(11) その他

概要

- ◆ その他とは、他の 10 類型に属さない施設です。
- ◆ 納骨堂などを有する公園墓地、普通財産などがあります。

現状

- ◆ 令和 2 年（2020 年）時点で、建築後 40 年以上経過した施設が 8 施設あります。

視点

- ◆ 建設当初の役割を終えた施設については、今後の利活用や売却等について十分に精査検討する必要があります。

今後の方針

- ◆ 各施設が提供する機能を検証し、維持と判断した施設についても、その在り方を継続的に検討します。
- ◆ 将来的に利活用の見込みがない施設については、売却等を検討します。

「アクションプラン個票抜粋」

施設名称	建築年	延床面積(m ²)	耐震化	ハード一次評価	ソフト一次評価	アスベストの有無	避難所指定	今後の方向性
公園墓地	1986	1,943	○	B	B	無	無	維持
池田中町集会所	1984	131	○	B	B	—	無	維持
池田川自治会集会所	1991	61	○	A	B	—	無	維持
田井西町集会所	1980	117	—	C	B	—	無	維持
萱島南多目的利用施設	1998	149	○	A	B	—	無	維持
旧萱島自治会館	1975	364	—	C	B	有	無	売却
郡元町集会所	1981	546	—	C	B	—	無	維持
香里自治会館	1962	260	—	C	B	—	無	維持
香里三井団地集会所	1983	103	○	B	B	—	無	維持
小路集会所	1964	137	—	C	B	—	無	維持
池田北町集会所	1982	81	○	B	B	—	無	維持
高倉公民館	1995	140	○	A	B	—	無	維持
緑町集会所	1978	118	—	C	B	—	無	維持
堀溝多目的利用施設	1993	47	○	A	B	—	無	維持
東高柳自治会集会所	2011	145	○	A	B	—	無	維持
太間公民館	2002	166	○	A	B	—	無	維持
共同作業場	1990	392	○	B	B	無	無	売却
環境監視局 小路局	2010	8	○	A	A	無	無	維持
環境監視局 寝屋南局	2010	8	○	A	A	無	無	維持
大気汚染固定監視局 成田局	1986	12	○	B	C	無	無	維持
大気汚染固定監視局 寝屋川市役所局	1972	20	—	複合	B	—	無	維持
上神田町家屋	1965	41	—	C	B	無	無	売却
旧東障害福祉センター	1980	459	—	C	B	無	無	売却

施設名称	建築年	延床面積(m ²)	耐震化	ハード一次評価	ソフト一次評価	アスベストの有無	避難所指定	今後の方向性
萱島まちづくりセンター	2011	300	○	A	B	無	無	維持
旧明德幼稚園	1975	924	—	C	B	有	無	検討
旧神田幼稚園	1970	709	○	B	C	無	無	検討

(12) 未利用地

将来的に活用見込みのない土地や今後施設の統廃合等により生じる土地については、貸付、売却など、民間事業者との連携を積極的に推進し、より効率的な活用を図ります。

地名	町名	地番	m ²	方向性	所管課
いきいき文化センター旧館跡地	明和一丁目	1392-2	1,130	学び館、東障害福祉センターの駐車場としての活用を検討	資産活用課
成田テニスコート跡地	成田西町	965-126、965-78、965-130、965-132	5,451	売却	資産活用課
赤井堤防敷	木屋町	913-5 外 11 筆	1,284	売却	資産活用課
隔離病舎敷残地	交野市星田西一丁目	2326-乙	148	検討	資産活用課
旧生業用駐車場	高倉一丁目	1418-2、1439-1	1,103	売却	産業振興室
協和ストア跡地	明和一丁目	1397-1	1,415	売却	産業振興室
公共事業（駐車場）	明和二丁目	1011-1	532	たんぼぼ保育所臨時駐車場として活用	産業振興室
	打上新町	957-3、1012-3	304		
じん芥焼却捨場跡地	太秦高塚町	1034-1	104	売却	環境総務課
道路敷残地	八坂町	306-15	60	売却	道路管理課
公共事業（明和一丁目高倉一丁目1号線残地）	小路北町	1351-1	132	売却	道路建設課
移築先用地（第1期移築先）	明和二丁目	1415-159、1415-161、1415-162	493	売却	道路建設課
公共事業代替地（第4期移築先）	高倉一丁目	676-4、676-10	814	売却	道路建設課
公共事業用地残地	明和二丁目	956-1	318	売却	道路建設課
移築先用地残地	明和二丁目	1415-15	466	一部売却	道路建設課
小路笠松線事業用地残地	小路北町	1265-3、1265-4、1266-2	151	売却	道路建設課
	打上南町	894-85	69		

地名	町名	地番	㎡	方向性	所管課
公共事業用地残地	明和二丁目	1415-20	606	一部売却	道路建設課
旧ふじのき公園	打上新町	1113-2、1114-1、1114-3、1119-1、1119-3	2,019	一部を（仮称）防災備蓄センターとして利用	公園みどり課
公園用地残地	昭栄町	1217-25、1217-27、1217-43、1217-44	118	売却	公園みどり課
公園用地残地	小路北町	1221-4	29	道路用地として検討	公園みどり課
旧老人いこいの家跡地	小路北町	1228-1	493	売却	高齢介護室
旧たんぼほ保育所跡地	打上南町	899-3、920、939、942	4,282	明和小学校のグラウンドとして活用	保育課
旧教育センター跡地	高倉一丁目	671-1	3,888	売却	社会教育課
旧太秦配水池	太秦中町	718-2	1,034	売却	経営総務課
旧打上水源池	打上元町	399-2、65-5、1875-4	606	売却	経営総務課

6 アクションプラン個票

公共施設等総合管理計画で示した施設類型ごとの管理に関する基本的な方針に基づき、各公共建築物の現状、今後の方針を示した「アクションプラン」を策定しました。

アクションプラン個票

(1) 行政系施設

施設名：【 ① _____ 】 (施設所管課： _____ 課)

小分類	所在地
建築年 (主たる施設)	総延床面積 ③
更新年 (建築後60年)	更新費
施設概要	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="width: 50%; padding-right: 10px;">偏差値 ④</div> <div style="width: 50%;"> <p style="text-align: center;">利用・財務(ソフト)：高</p> </div> </div>
<div style="border: 1px solid red; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">⑤</div> 現状 配置・機能	
課題	
	一次評価 二次評価
<div style="border: 1px solid red; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">⑥</div> 今後の方向性	

【アクションプラン個票の説明】

① 小分類

公共施設等総合管理計画で示した施設類型の小項目です。

② 更新年（建築後 60 年）

総務省の公共施設等更新費用試算ソフトが採用している標準的な耐用年数である建築後 60 年を更新年の一定の基準としています。

※ 「更新」とは建物を建て替えることを言います。

③ 更新費

総延床面積に総務省が用いている更新費用試算ソフトの施設類型ごとの単価を乗じて算出しています。あくまで目安として掲載しており、実際の工事費とは異なります。

（参考）更新費用試算ソフトの更新単価

市民文化系、社会教育系、行政系等施設	40 万円/㎡
スポーツ・レクリエーション系等施設	36 万円/㎡
学校教育系、子育て支援施設等	33 万円/㎡
公営住宅	28 万円/㎡

④ 偏差値

築年数、利用者数、コストなど、ハード、ソフト両面についての指標を設定し、その指標を相対的に比較するために算出した偏差値を散布図で示すことにより、施設の現状把握を行っています。

⑤ 配置・機能の現状と課題

近隣の同種施設の有無（民間含む。）、立地条件、現在の空きスペース、利用状況、耐震性、経年劣化の状況、市民の声などについて、施設の現状と課題を示しています。

また、耐震診断、耐震工事を行った施設については、I s 値の下限を記載しています。

I s 値

構造耐震指標のことであり、建物の構造的な耐震性能を評価する指標です。耐震改修促進法において 0.6 以上で「倒壊し、崩壊する危険性が低い」と評価されています。加えて、文部科学省では、学校施設の耐震性能として I s 値 0.7 以上の安全性を求めています。

⑥ 今後の方向性

・ 一次評価

施設間の比較により算出した偏差値により定量的に評価しています。

(偏差値 : 55 以上 : 「A」 54.9~45.1 : 「B」 45 以下 : 「C」)

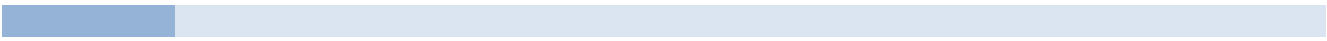
・ 二次評価

一次評価の結果に施策の方向性等を加味して、総合的な最終評価を行っています。

また、建物の方向性については、「更新」「長寿命化」「集約化」「廃止」「その他」のいずれかに「○」を付し、表として示しています。

【建物の方向性の説明】

更新	長寿命化	集約化	廃止	その他
今後の方向性が「維持」の施設について、建物を建て替えること	今後の方向性が「維持」の施設について、予防保全の取組を行うこと	同じ施設類型間で、複数の建物を一つに集めること	建物を解体・廃止すること	主たる施設に入居している施設（複合施設）や今後の方向性が「検討」の施設
		複合化		
		異なる施設類型間で、複数の建物を一つに集めること		



アクションプラン個票

市民文化系施設

(1) 市民文化系施設

施設名：【西北コミュニティセンター】

〔施設所管課：市民活動振興室〕

小分類	集会施設	所在地	松屋町20番30号										
建築年（主たる施設）	昭和56年（1981年）	総延床面積	1,294㎡										
更新年（建築後60年）	令和23年（2041年）	更新費	517,600,000円										
施設概要	市民相互の連帯感及び共同意識の醸成を図り、もって隣人愛あふれる地域社会の形成に寄与するための施設。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○昭和56年に開館、平成18年から指定管理者制度を導入している。 ○市域の北西部に位置しており、利用者の多くは徒歩又は自転車を利用している。 ○近隣施設として、北小学校、友呂岐中学校がある。 ○平成21年度に耐震診断を実施し、Is値0.6以上は確保している。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○老朽化により、各種設備等の更新が必要。 ○2階廊下天井にアスベストが含まれている。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>当該施設は、コミュニティの醸成や市民活動の活性化等を図るための施設であり、これまで培われてきた地域住民による運営方法を尊重しながら、今後も継続して維持管理を行っていく。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○		
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(1) 市民文化系施設

施設名：【南コミュニティセンター】

〔施設所管課：市民活動振興室〕

小分類	集会施設	所在地	下木田町16番50号										
建築年（主たる施設）	昭和58年（1983年）	総延床面積	1,303㎡										
更新年（建築後60年）	令和25年（2043年）	更新費	521,200,000円										
施設概要	市民相互の連帯感及び共同意識の醸成を図り、もって隣人愛あふれる地域社会の形成に寄与するための施設。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○昭和58年に開館、平成18年から指定管理者制度を導入している。 ○市域の南部に位置しており、利用者の多くは徒歩又は自転車を利用している。 ○近隣施設として、市民体育館、南小学校、木田小学校、第七中学校、あざみ保育所、南幼稚園がある。 ○新耐震基準に基づく建物である。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○老朽化により、各種設備等の更新が必要。 ○南コミュニティセンター分館との集約化を検討する必要がある。 ○駐車可能台数が少ない。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：B											
	二次評価	南コミュニティセンター分館との集約化（受入）を検討											
	<p>当該施設は、コミュニティの醸成や市民活動の活性化等を図るための施設であり、これまで培われてきた地域住民による運営方法を尊重しながら、今後も継続して維持管理を行っていく。</p> <p>南コミュニティセンター分館の集約化（受入）も視野に入れ、より効果的・効率的な施設の在り方について検討する。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>更新</th> <th>長寿命化</th> <th>集約化</th> <th>廃止</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○	○		
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○	○											

(1) 市民文化系施設

施設名：【南コミュニティセンター（分館）】

〔施設所管課：市民活動振興室〕

小分類	集会施設	所在地	堀溝三丁目16番6号										
建築年（主たる施設）	昭和49年（1974年）	総延床面積	661㎡										
更新年（建築後60年）	令和16年（2034年）	更新費	264,400,000円										
施設概要	市民相互の連帯感及び共同意識の醸成を図り、もって隣人愛あふれる地域社会の形成に寄与するための施設。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○昭和49年設置の旧堀溝幼稚園を活用し、平成23年に開館した。 ○市域の南部に位置しており、利用者の多くは徒歩又は自転車を利用している。 ○近隣施設として、堀溝サービス窓口、堀溝小学校がある。 ○平成23年から指定管理者制度を導入している。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○南コミュニティセンターへの集約化及び集約後の分館施設管理者の検討 ○1階ホールの天井裏にアスベストが含まれており、囲い込みをしている。 ○建築年が古く、耐震診断未実施である。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：C ソフト：B											
	二次評価	南コミュニティセンターとの集約化（移転）を検討											
	<p>当該施設は、コミュニティの醸成や市民活動の活性化等を図るための施設であり、これまで培われてきた地域住民による運営方法を尊重しながら、今後も継続して維持管理を行っていく。</p> <p>より効果的・効率的な施設運営を行うため、南コミュニティセンターへの集約化を検討する。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他			○		
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
		○											

(1) 市民文化系施設

施設名：【東北コミュニティセンター】

〔施設所管課：市民活動振興室〕

小分類	集会施設	所在地	成田町3番3号										
建築年（主たる施設）	昭和59年（1984年）	総延床面積	1,322㎡										
更新年（建築後60年）	令和26年（2044年）	更新費	528,800,000円										
施設概要	市民相互の連帯感及び共同意識の醸成を図り、もって隣人愛あふれる地域社会の形成に寄与するための施設。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○昭和59年に開館、平成18年から指定管理者制度を導入している。 ○市域の北東部に位置しており、利用者の多くは徒歩又は自転車を利用している。 ○近隣施設として、第五小学校、第六中学校、中央高齢者福祉センターがある。 ○新耐震基準に基づく建物である。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○老朽化により、各種設備等の更新が必要である。 ○駐車可能台数が少ない。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：B											
	二次評価	中央高齢者福祉センターとの複合化を検討											
	<p>当該施設は、コミュニティの醸成や市民活動の活性化等を図るための施設であり、これまで培われてきた地域住民による運営方法を尊重しながら、今後も継続して維持管理を行っていく。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>更新</th> <th>長寿命化</th> <th>複合化</th> <th>廃止</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				更新	長寿命化	複合化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	複合化	廃止	その他									
	○												

(1) 市民文化系施設

施設名：【西コミュニティセンター】

〔施設所管課：市民活動振興室〕

小分類	集会施設	所在地	葛原二丁目7番1号										
建築年（主たる施設）	昭和60年（1985年）	総延床面積	1,290㎡										
更新年（建築後60年）	令和27年（2045年）	更新費	516,000,000円										
施設概要	市民相互の連帯感及び共同意識の醸成を図り、もって隣人愛あふれる地域社会の形成に寄与するための施設。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○昭和60年に開館、平成18年から指定管理者制度を導入している。 ○市域の西部に位置しており、利用者の多くは徒歩又は自転車を利用している。 ○近隣施設として、点野小学校、第八中学校、池の里市民交流センターがある。 ○新耐震基準に基づく建物である。 											
	課題	○老朽化により、各種設備等の更新が必要。											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>当該施設は、コミュニティの醸成や市民活動の活性化等を図るための施設であり、これまで培われてきた地域住民による運営方法を尊重しながら、今後も継続して維持管理を行っていく。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○		
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(1) 市民文化系施設

施設名：【東コミュニティセンター】

〔施設所管課：市民活動振興室〕

小分類	集会施設	所在地	高宮新町32番2号										
建築年（主たる施設）	平成4年（1992年）	総延床面積	1,261㎡										
更新年（建築後60年）	令和34年（2052年）	更新費	504,400,000円										
施設概要	市民相互の連帯感及び共同意識の醸成を図り、もって隣人愛あふれる地域社会の形成に寄与するための施設。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○平成4年に開館、平成18年から指定管理者制度を導入している。 ○市域の東部に位置しており、利用者の多くは徒歩又は自転車を利用している。 ○近隣施設として、市民会館、東小学校、第一中学校、太秦高齢者福祉センターがある。 ○新耐震基準に基づく建物である。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○老朽化により、各種設備等の更新が必要。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：A ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>当該施設は、コミュニティの醸成や市民活動の活性化等を図るための施設であり、これまで培われてきた地域住民による運営方法を尊重しながら、今後も継続して維持管理を行っていく。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(1) 市民文化系施設

施設名：【西南コミュニティセンター】

〔施設所管課：市民活動振興室〕

小分類	集会施設	所在地	上神田一丁目30番1号										
建築年（主たる施設）	昭和63年（1988年）	総延床面積	1,282㎡										
更新年（建築後60年）	令和30年（2048年）	更新費	512,800,000円										
施設概要	市民相互の連帯感及び共同意識の醸成を図り、もって隣人愛あふれる地域社会の形成に寄与するための施設。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○昭和63年に開館、平成18年から指定管理者制度を導入している。 ○市域の南西部に位置しており、利用者の多くは徒歩又は自転車を利用している。 ○近隣施設として、成美小学校、神田小学校、第五中学校がある。 ○新耐震基準に基づく建物である。 											
	課題	○老朽化により、各種設備等の更新が必要である。											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>当該施設は、コミュニティの醸成や市民活動の活性化等を図るための施設であり、これまで培われてきた地域住民による運営方法を尊重しながら、今後も継続して維持管理を行っていく。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○		
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(1) 市民文化系施設

施設名：【ふれあいプラザ香里】

〔施設所管課：市民活動振興室〕

小分類	集会施設	所在地	香里南之町19番17号										
建築年（主たる施設）	平成12年（2000年）	総延床面積	109㎡										
更新年（建築後60年）	令和42年（2060年）	更新費	43,688,000円										
施設概要	市民に交流の場を提供し、市民活動の発展を促進するための施設。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、香里園シティ・ステーションがある。 ○寝屋川市を中心に活動している団体及びグループに施設の貸出をしている。 ○自由図書コーナー、情報コーナー、ふれあいコーナー、淡水魚コーナーがある。 											
	課題												
今後の方向性	一次評価	ハード：賃借 ソフト：A											
	二次評価	廃止											
	京阪本線連続立体交差事業に伴い、令和3年3月31日をもって閉館。												
<table border="1"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他				○	
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
			○										

(1) 市民文化系施設

施設名：【市民活動センター】

〔施設所管課：市民活動振興室〕

小分類	集会施設	所在地	秦町41番1号										
建築年（主たる施設）	昭和45年（1970年）	総延床面積	555㎡										
更新年（建築後60年）	令和12年（2030年）	更新費	222,000,000円										
施設概要	市民が自発的に行う公益性のある組織的・継続的活動で構成員への利益分配を目的としない活動の促進を図るための施設。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○平成14年に設立され、平成20年より指定管理者制度を導入。 ○近隣施設として、東小学校、第一中学校、太秦高齢者福祉センター、寝屋川市役所がある。 ○市民会館4階の一部を使用。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○以前より利用者及び登録団体数は増加しているが、更なる利用の普及、活動の周知等が必要。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：複合施設 ソフト：B											
	二次評価	維持											
	市民活動団体の抱える様々な課題解決に向け、市民が自発的な公益活動を継続的に支援する施設は必要であり、今後も継続して維持管理していく。												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
				○									

(1) 市民文化系施設

施設名：【中央公民館】

〔施設所管課：社会教育課〕

小分類	集会施設	所在地	池田西町28番22号										
建築年（主たる施設）	昭和47年（1972年）	総延床面積	1,959㎡										
更新年（建築後60年）	令和19年（2037年）	更新費	783,600,000円										
施設概要	地域住民の多様な学習に対する学習の場、憩いの場としての機能を発揮し、住民相互の結びつきを深めて、地域における連帯意識の高揚と人間関係の深化を図るために設置。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○平成30年6月18日、大阪府北部地震により被害を受け、以降休館中である。 ○寝屋川市駅から離れた場所に位置している。（市役所からシャトルバス有り） ○近隣施設として、中央図書館臨時図書室、桜小学校、第二中学校、保健福祉センター、池の里市民交流センターがある。 ○平成22年から指定管理者制度を導入 ○全館の平均稼働率は49.2%だが、軽スポーツ室・音楽室については80%を超えており、また、430名が収容できる講堂においても50%の稼働率となっている。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の建築年が古く、中央公民館で使用している各部屋の老朽化が進んでいる上、アスベストを使用している。 ○長期休館による、市民への生涯学習の機会及び場の提供の確保。 ○総合センターの解体の方向性が決定された。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：複合施設	ソフト：B										
	二次評価	移転											
	<p>総合センターの閉館に伴い、機能縮小を余儀なくされたものの、機能の再構築に当たっては、市民サービスのターミナル化の一環として寝屋川市駅前への生涯学習の機能の移転・設置について検討する。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
				○									

(1) 市民文化系施設

施設名：【地域交流センター】

〔施設所管課：文化スポーツ室〕

小分類	集会施設	所在地	早子町12番21号										
建築年（主たる施設）	平成23年（2011年）	総延床面積	3,360㎡										
更新年（建築後60年）	令和53年（2071年）	更新費	1,344,000,000円										
施設概要	<p>アルカスホールは、コンサートをはじめ、演劇、古典芸能、講演、セミナー、発表会など、目的に合わせて気軽に利用できる多目的なホールであり、メインホールは359席を有している。</p> <p>メインホールは音楽ホールとしてのクオリティが高く、また世界の一流ブランドと謳われるスタインウェイピアノを2台有している。</p> <p>情報コーナーにはイベントや市の情報などのチラシを設置している。</p>	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○寝屋川市駅から徒歩3分の好立地に位置している。</p> <p>○近隣施設として、駅前図書館、産業振興センター、消費生活センター、中央小学校、こどもセンター、保健所、ねやがわシティ・ステーション、上下水道局がある。</p> <p>○平成23年から指定管理者制度を導入している。</p> <p>○新耐震基準に基づく建物である。</p> <p>○全館稼働率68%を超えており、他の集会施設に比べ利用者数も多い。</p> <p>○駐輪場を近隣に設置し、土地を借用している。また、駐車場はないが、民間駐車場が隣接している。</p>											
	課題	<p>○平成23年建築と比較的新しいが、今後に備え、長寿命化計画を策定し、計画的な改修工事に取り組む必要がある。</p> <p>○国の補助金を活用した施設のため原則として用途の変更ができない。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：A ソフト：A											
	二次評価	維持											
	<p>年々利用者及び施設の稼働率も伸びており、また、指定管理者による各種文化芸術活動の事業も数多く実施していることから、継続して維持管理を行っていく。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(1) 市民文化系施設

施設名：【池の里市民交流センター】

〔施設所管課：文化スポーツ室〕

小分類	集会施設	所在地	池田西町24番5号										
建築年（主たる施設）	昭和53年（1978年）	総延床面積	4,584㎡										
更新年（建築後60年）	令和20年（2038年）	更新費	1,833,600,000円										
施設概要	<p>平成18年度において旧池の里小学校の跡地を利用した複合施設として開設。社会教育活動を通じて市民の交流を図る場として提供。</p> <p>体育施設（アリーナ・グラウンド・サブグラウンド）、多目的室（7室）、その他（スマイル・地域交流施設（地域活動室・福祉関係団体活動室等）等）</p>	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○平成30年6月の大阪府北部地震の影響による福祉部局の移転に伴い、グラウンドは縮小、文化財資料施設や自然資料施設は閉鎖となった。</p> <p>○市域の西部に位置しており、利用者の多くは自転車、自家用車を利用している。</p> <p>○近隣施設として、中央図書館臨時図書室、第二中学校、保健福祉センターがある。</p> <p>○平成24年度から平成25年度にかけて耐震工事を実施し、I s値0.6以上は確保している。</p> <p>○多目的室（3階・4階に設置）の利用者は高齢者等が多く、バリアフリーの観点からもエレベーターの設置が必要であり、令和2年度末頃の完成に向け、工事中である。</p>											
	課題	<p>○福祉部局移転に伴い、駐車場や駐輪場の整備を施工したが、より利用者の利便性・安全性を考慮した整備充実を図っていく必要がある。また、移転に伴うグラウンド狭小化、及び自然資料施設の他所への移転により、池の里市民交流センターの機能は十全ではない状態である。</p> <p>○国の補助金を活用した施設のため原則として用途の変更ができない。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>西側地域の市民交流を図る場として重要であることから、継続して維持管理を行う。施設の利用者全体に配慮した環境整備に努めながら、指定管理者制度の導入についても検討を行う。</p> <p>また、総合センターの解体が決まり、当分の間は、敷地内の福祉行政機能は存続することになるが、ターミナル化構想の中で福祉行政機能の移転に向け、本来の社会教育施設としての利用についても検討を進める。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(1) 市民文化系施設

施設名：【市民会館】

〔施設所管課：市民活動振興室〕

小分類	文化施設	所在地	秦町41番1号		
建築年（主たる施設）	昭和45年（1970年）	総延床面積	11,126㎡		
更新年（建築後60年）	令和12年（2030年）	更新費	4,450,400,000円		
施設概要	市民の集い、各種催し等の場を提供することにより市民相互の交流を促進し、もって市民の文化の向上及び福祉の増進を図るための施設。	偏差値			
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、東小学校、第一中学校、太秦高齢者福祉センター、寝屋川市役所、上下水道局がある。 ○平成18年から指定管理者制度を導入。 ○平成27年度に耐震工事を実施し、I S値0.6以上は確保している。 ○教養・文化・交流の場として、市民相互の交流を促進し、福祉の増進と文化の向上を担っている。 ○市内に1,000人以上（1,200人）収容できる大ホールを有しているのは市民会館のみである。 			
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○大ホールの舞台・音響・照明設備の劣化が著しいことに加え、電気設備の老朽化による火災など、事故等を未然に回避するための一層の安全対策を講じる必要がある。 ○施設の稼働率の向上。 ○調光室及びオーケストラピットにアスベストが含まれており、封じ込めをしている。 ○国の補助金を活用した施設のため原則として用途の変更ができない。 			
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：A			
	二次評価	維持			
		<p>コンサートや演劇、式典、講演会等、多様なニーズに応えるためにも、1,200席規模のホールは必要であり、現状のまま存続する。</p> <p>今後、施設の稼働率や近隣施設の状況を踏まえ、諸室の統廃合や民間への期間貸出、駐車場の有料化などについて検討する。</p>			
	更新	長寿命化	集約化	廃止	その他
		○			

社会教育系施設

(2) 社会教育系施設

施設名：【中央図書館】

〔施設所管課：中央図書館〕

小分類	図書館	所在地	池田西町28番22号										
建築年（主たる施設）	昭和47年（1972年）	総延床面積	2,528㎡										
更新年（建築後60年）	令和14年（2032年）	更新費	1,011,200,000円										
施設概要	<p>図書・記録その他の資料を収集・整理・保存して市民の利用に供しその教養・調査研究・レクリエーション等に寄与するため寝屋川市の中央館として開設。昭和52年11月、総合センター4階及び1階の一部フロアにて開館。</p>	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○平成30年6月18日、大阪府北部地震により、総合センターが被害を受け、以降休館中である。</p> <p>○市域西部に位置しており、総合センターの建物に入居している。</p> <p>○近隣施設として、中央図書館臨時図書室、桜小学校、第二中学校、保健福祉センター、池の里市民交流センターがある。</p> <p>○開館後、既に40年以上経過しており、平成6年の改装を最後に内装・書架等の老朽化が進行している。</p> <p>○中央図書館休館後に旧教育研修センター跡において臨時図書室を設置し、市民サービス低下の緩和を図っている。</p>											
	課題	<p>○施設の建築年が古く、中央図書館で使用している部屋の老朽化が進んでいる上、アスベストを使用している。</p> <p>○総合センターの中に設置されている施設であるため、中央図書館の長期休館により市民サービスが低下している。</p> <p>○総合センターが解体されることから、移転する必要がある。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：複合施設 ソフト：A											
	二次評価	アドバンスねやがわ1号館へ移転											
	<p>中央図書館は、市民への図書サービスを確保するための中枢機能施設であることから、市民サービスのターミナル化の一環として、寝屋川市駅前に新しい中央図書館等の機能を整備、設置し、様々な世代に対して魅力ある空間を提供し、ニーズに合った図書館運営を行っていく。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
				○									

(2) 社会教育系施設

施設名：【東図書館】

〔施設所管課：中央図書館〕

小分類	図書館	所在地	秦町41番1号										
建築年（主たる施設）	昭和45年（1970年）	総延床面積	541㎡										
更新年（建築後60年）	令和12年（2030年）	更新費	216,400,000円										
施設概要	<p>図書・記録その他の資料を収集・整理・保存して市民の利用に供しその教養・調査研究・レクリエーション等に寄与するため寝屋川市の中央館として開設され、現在の中央図書館が出来たときに名称変更し分館として開館。</p>	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○市域東部に位置し、市民会館の建物に入居している。</p> <p>○近隣施設として、東小学校、第一中学校、太秦高齢者福祉センター、寝屋川市役所、上下水道局がある。</p> <p>○昭和45年5月に寝屋川市立図書館として開館し、既に48年間が経過している。</p> <p>○平成28年4月、市民会館耐震補強工事の一環として東図書館改装済み。</p> <p>○年間貸出冊数は、224,954冊。</p>											
	課題	<p>○市民会館3階に設置されているため、市民会館の今後の方向性に左右される。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：複合施設 ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>寝屋川市駅前に新中央図書館等機能整備・設置に伴う図書館設置の位置関係の変化や、来館者の地域性及び少子高齢化等の社会的要因を踏まえ、図書館サービス機能の今後の在り方等について検討する。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
				○									

(2) 社会教育系施設

施設名：【西北分室（図書館）】

〔施設所管課：中央図書館〕

小分類	図書館	所在地	松屋町20番30号										
建築年（主たる施設）	昭和56年（1981年）	総延床面積	58㎡										
更新年（建築後60年）	令和23年（2041年）	更新費	23,200,000円										
施設概要	<p>図書・記録その他の資料を収集・整理・保存して市民の利用に供しその教養・調査研究・レクリエーション等に寄与するため寝屋川市内における分室として昭和61年開設。</p> <p>平成17年より水・土・日開館。</p> <p>平成31年4月よりフルオープン。</p>	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○市域北部に位置し、西北コミュニティセンターの建物に入居している。</p> <p>○近隣施設として北小学校、第三中学校、友呂岐中学校がある。</p> <p>○近年、利用者の増加が著しく、年間貸出46,976冊と東北分室の次に貸出冊数が多い。</p>											
	課題	<p>○京阪香里園駅周辺にマンション等が多く建設されたことにより、香里園地域の図書館設置のニーズが高まっている。</p> <p>○西北分室の開館日・時間の拡充を求める利用者のニーズが高まっている。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：複合施設 ソフト：C											
	二次評価	維持											
	<p>市域北部唯一の図書館であり市民ニーズが高いことや、京阪本線連続立体交差事業の進展等を踏まえ、西北分室の在り方を検討する。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
				○									

(2) 社会教育系施設

施設名：【南分室（図書館）】

〔施設所管課：中央図書館〕

小分類	図書館	所在地	下木田町16番50号										
建築年（主たる施設）	昭和58年（1983年）	総延床面積	103㎡										
更新年（建築後60年）	令和25年（2043年）	更新費	41,200,000円										
施設概要	<p>図書・記録その他の資料を収集・整理・保存して市民の利用に供しその教養・調査研究・レクリエーション等に寄与するため寝屋川市内における分室として南コミュニティセンター内に昭和61年開設。 平成31年4月フルオープン。</p>	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○市域南部に位置し、南コミュニティセンターの建物に入居している。 ○近隣施設として、市民体育館、南小学校、木田小学校、第七中学校、あざみ保育所、南幼稚園がある。 ○年間貸出冊数は、17,236冊。</p>											
	課題	<p>○近隣に南小学校と市民体育館が所在するため、連携を強化し、図書館利用が増えるよう工夫する必要がある。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：複合施設 ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>少子高齢化等の社会的要因を踏まえ、図書館全館の在り方を検討する中で、南分室の在り方も検討する。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
				○									

(2) 社会教育系施設

施設名：【東北分室(図書館)】

〔施設所管課：中央図書館〕

小分類	図書館	所在地	成田町3番3号										
建築年（主たる施設）	昭和59年（1984年）	総延床面積	83㎡										
更新年（建築後60年）	令和26年（2044年）	更新費	33,200,000円										
施設概要	<p>図書・記録その他の資料を収集・整理・保存して市民の利用に供しその教養・調査研究・レクリエーション等に寄与するため寝屋川市内における分室として昭和61年開設。 平成31年4月よりフルオープン。</p>	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○市域東北部に位置し、東北コミュニティセンターの建物に入居している。 ○近隣施設として、第五小学校、第六中学校、中央高齢者福祉センターがある。 ○年間51,065冊を貸し出し、貸出利用が最も多い分室である。</p>											
	課題	<p>○近隣に市立第六中学校や中央高齢者福祉センターが所在しており、学校や高齢者施設との連携を図る必要がある。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：複合施設 ソフト：C											
	二次評価	維持											
	<p>高齢の利用者が多いため、中長期的には今後の人口減少等の社会的要因を踏まえ東北分室の在り方を検討すべきだが、短期的には利用者の多い分室であることから存続する。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
				○									

(2) 社会教育系施設

施設名：【西南分室(図書館)】

〔施設所管課：中央図書館〕

小分類	図書館	所在地	上神田一丁目30番1号											
建築年（主たる施設）	昭和63年（1988年）	総延床面積	62㎡											
更新年（建築後60年）	令和30年（2048年）	更新費	24,800,000円											
施設概要	<p>図書・記録その他の資料を収集・整理・保存して市民の利用に供しその教養・調査研究・レクリエーション等に寄与するため寝屋川市内における分室として開設。</p> <p>昭和63年に西南地区公民館図書室として開館。</p> <p>平成31年4月よりフルオープン。</p>	偏差値												
配置・機能	現状	<p>○市域西南部に位置し、西南コミュニティセンターの建物に入居している。</p> <p>○近隣施設として、成美小学校、神田小学校、第五中学校がある。</p> <p>○貸出冊数は、年間20,043冊。</p>												
	課題	<p>○平成22年度に年間32,513冊を貸し出した実績もあるが、近年は利用が減少傾向。</p>												
今後の方向性	一次評価	ハード：複合施設 ソフト：C												
	二次評価	維持												
	<p>少子高齢化等の社会的要因を踏まえ、今後の図書館全館の在り方を検討する中で、西南分室の在り方も検討する。</p>													
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>					更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他										
				○										

(2) 社会教育系施設

施設名：【駅前図書館】

〔施設所管課：中央図書館〕

小分類	図書館	所在地	早子町23番2号										
建築年（主たる施設）	昭和60年（1985年）	総延床面積	2,284㎡										
更新年（建築後60年）	令和27年（2045年）	更新費	913,600,000円										
施設概要	図書・記録その他の資料を収集・整理・保存して市民の利用に供しその教養・調査研究・レクリエーション等に寄与するため寢屋川市内3番目の分館として平成25年4月、京阪寢屋川市駅前アドバンスねやがわ2号館3階に開設。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、アルカスホール、産業振興センター、消費生活センター、中央小学校、子育てリフレッシュ館、保健所、ねやがわシティ・ステーションがある。 ○新耐震基準に基づく建物である。 ○平成25年4月にアドバンスねやがわ2号館3階フロアの区画を買い取り設置。 ○沿線でも最も駅に近く、沿線住民に親しまれている。 ○併設する市民ギャラリーは、市内唯一のギャラリーで稼働率は90%を超えている。 ○年間貸出冊数は、350,315冊。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○昭和60年建築の新耐震基準に基づく建物であるが、築後30年以上経過しており、ビルのメンテナンスに毎年経費がかかる。 ○上部階（4階～12階）が住戸、下部（地下2階～3階）が店舗・事務所・駐車場・図書館である複合ビルであり、大規模修繕への対応が非常に困難である。 ○国の補助金を活用した施設のため原則として用途の変更ができない。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：A											
	二次評価	維持（検討）											
	<p>市立図書館全館の年間貸出の約32%を担う図書館であり、寢屋川市駅前の利便性の高さや開館時間の長さが沿線随一であり、市のイメージ向上にも貢献しているため、存続意義が高い。</p> <p>なお、駅前に新中央図書館等機能整備・設置を行うことに伴い、アドバンスねやがわ2号館にある駅前図書館については、こども専用図書館をコンセプトにした整備を進めるとともに、併せて駅前立地を活かした子育て支援の機能整備を検討します。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
				○									

(2) 社会教育系施設

施設名：【臨時図書室（旧教育研修センター）】

〔施設所管課：中央図書館〕

小分類	図書館	所在地	池田新町3番23号										
建築年（主たる施設）	昭和46年（1971年）	総延床面積	1,664㎡										
更新年（建築後60年）	令和13年（2031年）	更新費	549,120,000円										
施設概要	平成31年度、中核市移行に伴う総合教育研修センターの設置により、機能を廃止。また平成30年度の大阪府北部地震による中央図書館の休館に伴い、仮施設として、中央図書館臨時図書室及び埋蔵文化財遺物貯蔵室として、当面の間使用する。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○市域西側に位置する中央図書館閉館に伴う臨時施設として設置。 ○近隣施設として、桜小学校、第二中学校、保健福祉センター、池の里市民交流センターがある。 ○新館は、新耐震基準の建物である。 ○旧館は、耐震診断未実施であることから、埋蔵文化財遺物貯蔵室とし、日常は人の出入りを制限している。 ○新館は平成3年に、旧館は昭和46年に建築されている。 ○新館は、中央図書館臨時図書室及び学習室等。 ○年間貸出冊数は、138,833冊。 											
	課題	○旧館はアスベストを使用している上、老朽化が進んでおり耐震診断未実施である。											
今後の方向性	一次評価	ハード：C ソフト：B											
	二次評価	検討											
	<p>寝屋川市駅前への新中央図書館等機能整備に伴い、中央図書館臨時図書室としての役割は終了するが、市域西エリアにおいて図書機能を有する施設の空白地域ができることから、図書館分室については、市域の図書館機能を考える中で市民の利便性を考慮した配置を検討する。</p>												
<table border="1"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
				○									

(2) 社会教育系施設

施設名：【男女共同参画推進センター】

〔施設所管課：人権・男女共同参画課〕

小分類	博物館等		所在地	東大和町2番14号										
建築年（主たる施設）	昭和48年（1973年）		総延床面積	181㎡										
更新年（建築後60年）	令和15年（2033年）		更新費	72,400,000円										
施設概要	<p>寝屋川市の男女共同参画を推進するための諸事業の拠点施設として、平成13年11月24日に開設。</p> <p>開設時は、京阪香里園駅前に立地するJAビル香里に入居していたが、「公共施設等整備・再編計画（改訂版）」に基づき、平成28年4月に市立産業振興センターへ移転。</p>		偏差値											
配置・機能	現状	<p>○近隣施設として、アルカスホール、駅前図書館、消費生活センター、こどもセンター、子育てリフレッシュ館、保健所、ねやがわシティ・ステーションがある。</p> <p>○寝屋川市駅前という好立地のため、公共交通機関の利用による利便性が高く、センターが主催する市民セミナー等の各種事業の参加者や相談窓口事業の利用者、また、男女共同参画の推進のために活動する登録団体等にとって利用しやすい施設である。</p>												
	課題	<p>○センターが主催する市民セミナー等について、若い世代や男性の参加者数が少ないため、引き続き、年齢や性別に関わりなく幅広い市民に参加していただくよう、創意工夫した取組を進めていく必要がある。</p> <p>○登録団体の自主活動への支援事業として行っている貸室の利用(稼働)率は約52%と低値であるため、より多くの登録団体に利用していただくよう、取組を進めていく必要がある。</p>												
今後の方向性	一次評価	ハード：複合施設 ソフト：C												
	二次評価	維持												
	<p>施設利用者アンケートでは、市の男女共同参画を推進するための拠点施設として、概ね市内全域から利用されており、施設の今後の方向性についても、すべての回答者が今後も継続をしたほうがよいと回答している。</p> <p>以上のことから、引き続き、男女共同参画の推進に向けた意識づくりのための周知・啓発事業等を展開していく必要があることから、現状どおり維持管理を行っていく。</p>													
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>					更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他										
				○										

(2) 社会教育系施設

施設名：【エスポール】

〔施設所管課：社会教育課〕

小分類	博物館等	所在地	錦町21番3号										
建築年（主たる施設）	平成5年（1993年）	総延床面積	2,819㎡										
更新年（建築後60年）	令和35年（2053年）	更新費	1,127,600,000円										
施設概要	<p>児童から高齢者に至るまでの世代間の交流を推進し、人と人とのふれあいを通じて地域における交流を深めるとともに、社会教育関係団体や市民の自主学習・自主活動の場所を提供する。</p> <p>令和2年に旧館を解体し新館へ機能移転及び機能集約を行った。また、旧館跡地は駐車スペースとして活用している。</p>	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○平成5年に建築され、平成21年から指定管理者制度を導入している。 ○寝屋川市駅から少し離れた場所に位置しているとはいえ、比較的公共交通機関の利用による利便性が高い施設である。 ○近隣施設として、成美小学校、子育てリフレッシュ館がある。 ○新耐震基準に基づく建物である。 											
	課題												
今後の方向性	一次評価	ハード：B	ソフト：A										
	二次評価	維持											
	<p>本施設は、利用者数が多く、公共施設に関する市民意識調査では、満足している事業・サービスの上位に選ばれており、世代間の交流を深めることに寄与していることから、今後も継続して維持管理を行っていく。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(2) 社会教育系施設

施設名：【学び館】

〔施設所管課：社会教育課〕

小分類	博物館等	所在地	明和一丁目13番23号										
建築年（主たる施設）	昭和53年（1978年）	総延床面積	2,435㎡										
更新年（建築後60年）	令和20年（2038年）	更新費	974,000,000円										
施設概要	<p>「公共施設等整備・再編計画（改訂版）」に基づき、旧教育センターの事業を旧いきいき文化センターの事業に集約し、平成27年度末に旧教育センター廃止に伴い、旧いきいき文化センター内に寝屋川市立学び館を設置した。</p> <p>市民の世代間の交流を推進し、人と人とのふれあいを図り、生涯学習の一助となる社会教育施策を実施するとともに、社会教育団体等の活動の場所等を提供することを目的としている。</p>	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○旧教育センター及び旧いきいき文化センターの事業を集約し、平成28年度に開設し、指定管理者制度を導入している。</p> <p>○寝屋川市駅・寝屋川公園駅から離れた場所に位置している。</p> <p>○近隣施設として、東高齢者福祉センターがある。</p>											
	課題	<p>○施設の建築年が古く、学び館で使用している各部屋の老朽化が進んでいる。</p> <p>○駅から離れており、バスの本数も少なくアクセスが悪い。</p> <p>○新しい施設ということもあり認知度が低いため、周知方法に検討が必要。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：複合施設 ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>本施設は、世代間交流を推進し、社会教育団体等の活動の場所及び市民の自主学習・自主活動の場を提供する機能を有しており、今後についても、複合施設のため、指定管理者及び施設管理者(東障害福祉センター)と連携して更なる充実に努めるとともに、計画的な修繕等を実施し、施設の安全性・快適性の向上を図りながら維持管理を行っていく。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
				○									

(2) 社会教育系施設

施設名：【埋蔵文化財資料館】

〔施設所管課：文化スポーツ室〕

小分類	博物館等	所在地	打上宮前町3番1号										
建築年（主たる施設）	昭和54年（1979年）	総延床面積	327㎡										
更新年（建築後60年）	令和21年（2039年）	更新費	130,800,000円										
施設概要	寝屋川市内の遺跡から発掘調査などによって発見された土器・石器等の考古資料（遺物）を保管し、展示して市民に公開し、市民の文化的向上に資することを目的に昭和56年にJR寝屋川公園駅前の東ファミリータウン内に開設。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○区分所有建物である。 ○近隣施設として、明和小学校、第四中学校、東シティ・ステーションがある。 ○駅前の立地や周辺に史跡等が存在するため、市民のみならず市外また府外からの見学者がある。 ○市内出土遺物等の文化財をはじめ、市指定文化財（市所蔵考古資料）の保管・公開施設となっている。 ○展示スペースが狭く、50人以上の団体での見学が困難。 ○収蔵スペースが狭く、収蔵保管機能の大部分は旧教育研修センター旧館と香里浄水場が担っている。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○昭和56年に開設後、施設の改修・修繕工事等実施していないため、老朽化（壁面クロスの汚れ・床面ピータイルのひびわれ・空調機器の故障）が進んでいる。 ○利用者の駐車場が設置されていない。 ○埋蔵文化財資料館が入居する寝屋川東ファミリータウン中1番館については、耐震診断未実施である。（平成26年に大規模修繕実施済み。） 											
今後の方向性	一次評価	ハード：C ソフト：B											
	二次評価	複合化（移転）検討											
	福祉部局の池の里市民交流センターへの移転に伴い、出土遺物の整理は資料館内で行い、収蔵は旧教育研修センター旧館と香里浄水場で保管している。これらを含めた、埋蔵文化財資料館の在り方については、寝屋川公園駅周辺のまちづくりに合わせて、他施設との複合化を検討する。												
<table border="1"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>複合化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	複合化	廃止	その他			○		
更新	長寿命化	複合化	廃止	その他									
		○											

(2) 社会教育系施設

施設名：【青少年の居場所（スマイル）】

〔施設所管課：青少年課〕

小分類	博物館等	所在地	池田西町24番5号										
建築年（主たる施設）	昭和53年（1978年）	総延床面積	422㎡										
更新年（建築後60年）	令和30年（2038年）	更新費	168,960,000円										
施設概要	市内在住、在学、在職の中学生から概ね30歳までの青少年が、自分の居場所として自由に利用でき、また、大学生などの運営スタッフが、利用者同士をつないで交流を深めるなど、青少年の健全育成に資することを目的に設置している。	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○青少年の居場所「スマイル」は、平成24年5月池の里市民交流センター2階に開設し、平成28年8月には施設を拡充した。</p> <p>○近隣施設として、中央図書館臨時図書室、第二中学校、保健福祉センターある。</p>											
	課題	<p>○他の公共施設との複合施設であることから、本施設の利用状況を踏まえ、共用部分（駐車場、駐輪場等）について、必要に応じて調整する必要がある。</p> <p>○利用者数やニーズの変化等、利用状況を踏まえた施設のあり方の検討が必要である。</p> <p>○総合センターの一部機能移転により、池の里市民交流センター全体の利用者数等が変化することから、より一層の施設の安全管理が必要である。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：複合施設 ソフト：B											
	二次評価	維持											
		<p>本施設の利用者数は増加傾向であり、青少年が気軽に立ち寄り、運営スタッフや利用者仲間と交流できる「居場所」として定着してきており、また、イベント等の開催により青少年同士が交流するなど、青少年の健全育成を図るために必要であることから、機能を存続する。</p>											
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
				○									

(2) 社会教育系施設

施設名：【青少年の居場所（ハピネス）】

〔施設所管課：青少年課〕

小分類	博物館等	所在地	八坂町28番13号										
建築年（主たる施設）	昭和48年（1973年）	総延床面積	64㎡										
更新年（建築後60年）	令和15年（2033年）	更新費	25,760,000円										
施設概要	市内在住、在学、在職の中学生から概ね30歳までの青少年が、自分の居場所として自由に利用でき、また、大学生などの運営スタッフが、利用者同士をつないで交流を深めるなど、青少年の健全育成に資することを目的に設置している。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○青少年の居場所「ハピネス」は、平成28年8月、こどもセンター3階に開設した。 ○近隣施設として、アルカスホール、駅前図書館、産業振興センター、消費生活センター、保健所、ねやがわシティ・ステーションがある。 ○夜間、休日等こどもセンター閉館時の施設管理については、業務委託で対応している。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○他の公共施設との複合施設であることから、本施設の利用状況を踏まえ、共用部分（駐輪場等）について、必要に応じて調整する必要がある。 ○利用者数やニーズの変化等、利用状況を踏まえた施設のあり方の検討が必要である。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：複合施設 ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>本施設は、青少年の居場所「スマイル」と違う利用者が立ち寄り、運営スタッフや同世代の仲間と交流できる「居場所」として定着しており、また、ひきこもり傾向にある青少年が訪れるなど、様々なニーズに対応できる場所にもなっており、青少年の健全育成を図るために必要であることから、利用者数の増加に努めながら機能を存続する。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
				○									

スポーツ・レクリエーション
系施設

(3) スポーツ・レクリエーション系施設

施設名：【市民体育館】

〔施設所管課：文化スポーツ室〕

小分類	スポーツ施設	所在地	下木田町16番16号										
建築年（主たる施設）	昭和49年（1974年）	総延床面積	7,240㎡										
更新年（建築後60年）	令和16年（2034年）	更新費	2,606,400,000円										
施設概要	市民の体育及びスポーツの振興を図るとともに、青少年の健全育成並びに市民の体位向上に資するために設置し、市民スポーツの拠点として市民の利用に供している。	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○市南部に位置しており、駅（萱島）から少し離れた場所に位置している（徒歩約16分）。</p> <p>○近隣施設として、南コミュニティセンター、南小学校、木田小学校、第七中学校がある。</p> <p>○平成20年から指定管理者制度を導入している。</p> <p>○平成25年に耐震工事を行い、I s値0.6以上は確保している。</p> <p>○平成7年に増築（小体育室、談話室、玄関ホール）工事を行っている。</p>											
	課題	<p>○施設の老朽化（修繕費の増大、安全性の低下）</p> <p>○大会開催時の駐車スペースの不足（南小学校グラウンドを間借り）</p> <p>○稼働率が非常に高い施設・設備（トレーニング室等）は、利用者から充実が求められている。</p> <p>○駅から遠く、アクセスに課題がある。</p> <p>○国の補助金を活用した施設のため原則として用途の変更ができない。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：A											
	二次評価	維持											
	<p>施設の老朽化に伴う修繕費が増加している状況であるが、市は指定管理者と連携して施設の寿命を延ばすための必要な措置を講じていく。</p> <p>市民体育館は市にとっても、市民にとっても必要不可欠な施設であるため、現状の設備・環境の長寿命化を進める。</p>												
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(3) スポーツ・レクリエーション系施設

施設名：【野外活動センター】

〔施設所管課：文化スポーツ室〕

小分類	レクリエーション施設・観光施設	所在地	四條畷市下田原2237										
建築年（主たる施設）	昭和47年（1972年）	総延床面積	1,093㎡										
更新年（建築後60年）	令和14年（2032年）	更新費	393,480,000円										
施設概要	<p>野外活動を始め、その他社会教育に係る学習の場を提供し、生涯学習の振興のため市民の利用に供している。</p> <p>昭和47年に開設され、現在では木造ロッジ10棟、会議室、天体ドーム、屋外ステージ、野鳥観察小屋、ディスクゴルフ場、アーチェリー場、工作室、自然学習室、キャンプファイアー場がある。</p>	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○四條畷市の山の中にあるが、国道163号線からはすぐの場所に位置している。</p> <p>○平成17年から指定管理者制度を導入している。</p>											
	課題	<p>○施設の老朽化に伴い、順次ロッジ等の改修工事が必要である。</p> <p>○センターの飲料水については、平成11年度に250mの深井戸を掘削し、確保しているが、井戸のパイプ・揚水管・送水ポンプ・ろ過機や貯水槽等が劣化しており、定期的に修繕を行う必要がある。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：C											
	二次評価	維持											
	<p>ファミリー層向けのレクリエーション施設に留まらず、防災訓練、リーダーシップの養成等といった青少年教育の場としての活用や、生涯学習施設としての高齢者への利用促進等、幅広い年代へのアプローチを行い、リピーターの拡充をすることで、天候や気温に左右されがちな利用率の安定に努める。</p> <p>また、敷地内の木造ロッジは、防腐防虫塗装等の最低限の維持・管理を行いながら、長寿命化を見据えたより効果的な修繕に努める。併せて近隣市における類似施設との広域連携の手法も模索していく。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(3) スポーツ・レクリエーション系施設

施設名：【自転車駅】

〔施設所管課：交通政策課〕

小分類	レクリエーション施設・観光施設	所在地	太秦高塚町7番1号										
建築年（主たる施設）	平成26年（2014年）	総延床面積	243㎡										
更新年（建築後60年）	令和56年（2074年）	更新費	87,480,000円										
施設概要	自転車の安全利用に関する講習及び自転車を利用する者の休憩等の場所を提供し、もって自転車の安全利用に関する意識の向上を図り、かつ、地域交流の推進に資するため、設置。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○平成25年度に建築され、平成26年4月より開設している。 ○JR寝屋川公園駅から西へ約730mの場所に位置している。 ○近隣施設として、明和小学校、たんぼぼ保育所がある。 ○新耐震基準に基づく建物である。 ○交通安全に係る交通安全講習会や自転車安全利用講習会等を実施。 ○変わり種自転車等により、利用者数は、年々増加している。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○交流室等の屋内利用が少ない。 ○国の補助金を活用した施設のため、当面の間は用途変更ができない。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：A ソフト：C											
	二次評価	維持											
	<p>自転車安全利用の意識の向上と事故の未然防止を図るため、警察署、関係団体、市等が連携し自転車安全利用講習会や交通安全講習会を自転車の駅で実施している。また、積極的に自治会等に呼び掛け、様々な世代の利用推進を促し、地域交流の拠点となる施設として運営しているため、現状のまま維持することとする。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

産業系施設

(4) 産業系施設

施設名：【産業振興センター】

〔施設所管課：産業振興室〕

小分類	産業系施設	所在地	東大和町2番14号			
建築年（主たる施設）	昭和48年（1973年）	総延床面積	1,343㎡			
更新年（建築後60年）	令和15年（2033年）	更新費	537,200,000円			
施設概要	昭和48年4月、産業会館及び勤労青少年ホームとして開館。平成5年、エスポールに青少年会館の機能を移転。平成18年2月に市内産業振興の拠点として産業会館をリニューアルし、産業振興センターとしてオープン。平成26年3月にはエレベーターを設置し、平成28年度からは、男女共同参画推進センター（ふらっとねやがわ）が5階へ移転。現在は、産業振興室（商工担当）や市内産業振興関係機関の事務所などが入居し、3階と4階はセミナー室として一般貸出を行っている。	偏差値				
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、アルカスホール、駅前図書館、消費生活センター、こどもセンター、子育てリフレッシュ館、保健所、ねやがわシティ・ステーションがある。 ○平成25年度に耐震工事を実施し、I s値0.6以上は確保している。 ○平成25年度に耐震工事及びエレベーター設置工事を実施。 ○平成27年度に5階を改修し、平成28年度からは男女共同参画推進センターが移転。 ○令和元年11月から第1セミナー室を臨時学習室として利用開始。 ○セミナー室の貸出状況は稼働率約48%。近隣に貸会議室が少なく、駅前という好立地のため、派遣登録会場やサークル活動などの利用が多い。 				
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の老朽化が進んでおり、突発的な修繕が増えている。 ○駐車場や駐輪場のスペースに限りがある。 				
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：B				
	二次評価	維持				
	<p>セミナー室の利用について、市広報誌などで市民や事業者等に更なる周知を図ることで稼働率を向上させるよう努めるとともに、セミナー室の利便性がより高まる施策について、引き続き検討する。</p> <p>施設については、長寿命化に取り組み、計画的に保全を行うことを基本とするが、利用者ニーズ、施設の状況等を考慮した上で、集約化・複合化等の可能性を検討する。</p>					
		更新	長寿命化	集約化	廃止	その他
			○			○

(4) 産業系施設

施設名：【消費生活センター】

〔施設所管課：消費生活センター〕

小分類	産業系施設	所在地	桜木町5番30号										
建築年（主たる施設）	昭和60年（1985年）	総延床面積	254㎡										
更新年（建築後60年）	令和27年（2045年）	更新費	101,600,000円										
施設概要	消費生活に関する情報の収集及び提供、消費生活相談及び苦情の処理、消費生活講座の開催、資料の展示等の事業を通して、消費者の利益擁護及び増進を図り、市民の消費生活の安定及び向上に寄与するための施設	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○寝屋川市駅から少し離れた場所に位置している。 ○近隣施設として、駅前図書館、産業振興センター、こどもセンター、保健所、ねやがわシティ・ステーションがある。 ○近隣に類似機能の施設なし。 ○新耐震基準に基づく建物である。 ○平成22、23年において、相談窓口の強化、施設の改修等を実施。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○接道が一方通行であり、車両等の利用には不便だという意見が一部ある。 ○自転車、バイク、自動車での来所者が多いが、駐輪場・駐車場が手狭である。 ○築後35年経過していることから、修理・交換する必要がある設備・備品が多い。 ○施設改修時に府の補助金を活用したため、売却時に府と協議が必要である。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：C											
	二次評価	検討											
	<p>施設の老朽化が進み、今後、施設修繕が見込まれる。また、寝屋川市駅からも少し離れており、不便な面もあり、市民生活の利便性向上に資する施設との集約化・複合化も含め、その在り方を検討していく。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
				○									

学校教育系施設

(5) 学校教育系施設

施設名：【東小学校】

〔施設所管課：施設給食課〕

小分類	小学校	所在地	太秦元町2番1号										
建築年（主たる施設）	昭和49年（1974年）	総延床面積	6,376㎡										
更新年（建築後60年）	令和16年（2034年）	更新費	2,104,080,000円										
施設概要	小学校として使用している。	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○近隣施設として、東コミュニティセンター、市民会館、第一中学校、太秦高齢者福祉センターがある。</p> <p>○平成23年度に耐震工事が完了し、I s 値0.7以上は確保している。</p> <p>○令和2年5月1日現在で613人の児童が在籍している。</p> <p>○平成18年度に校舎棟の大規模改修工事を実施している。</p>											
	課題	<p>○建築年が古く老朽化が進んでいる。</p> <p>○給食調理場天井裏にアスベストを使用している。ただし、囲い込み等の飛散防止対策済です。</p> <p>○平成23年度に耐震補強事業（校舎）、平成24年度に大規模改造（普通教室空調）、平成26年度に大規模改造（トイレ）及び防災機能強化（屋内運動場）、平成29年度に大規模改造（トイレ）、令和元年度に大規模改造（特別教室空調）を行っており、国の補助金を活用した施設のため原則として用途の変更ができない。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：A											
	二次評価	維持											
	<p>学校施設については、災害時には、避難所としての役割も果たすことから、延命化措置や適正な施設の改修、維持管理を継続的に行うとともに、今後の児童生徒数の推移等や小中一貫教育の推進状況も踏まえて、各学校内における建築物について、建替え等や長寿命化の検討を進める。</p>												
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(5) 学校教育系施設

施設名：【西小学校】

〔施設所管課：施設給食課〕

小分類	小学校	所在地	高柳三丁目1番27号										
建築年（主たる施設）	昭和47年（1972年）	総延床面積	5,878㎡										
更新年（建築後60年）	令和14年（2032年）	更新費	1,939,740,000円										
施設概要	小学校として使用している。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、第九中学校、コスモス保育所がある。 ○平成24年度に耐震工事が完了し、I s 値0.7以上は確保している。 ○令和2年5月1日現在で293人の児童が在籍している。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○建築年が古く老朽化が進んでいる。 ○給食調理場天井裏にアスベストを使用している。ただし、囲い込み等の飛散防止対策済です。 ○平成23年度に耐震補強（屋内運動場）、平成24年度に耐震補強事業（校舎）、平成24年度に大規模改造（普通教室空調）、平成30年度に大規模改造（トイレ）及び防災機能強化（屋内運動場）、令和元年度に大規模改造（特別教室空調）を行っており、国の補助金を活用した施設のため原則として用途の変更ができない。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：C											
	二次評価	維持											
	<p>学校施設については、災害時には、避難所としての役割も果たすことから、延命化措置や適正な施設の改修、維持管理を継続的に行う。</p> <p>西小学校においては、児童数が293人、学級数が14クラスとなっており、校舎は築40年を超える建物もあることから、今後の児童数の推移等や小中一貫教育の推進状況を踏まえ、学校内における建築物について、建替え等や長寿命化の検討を進める。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(5) 学校教育系施設

施設名：【南小学校】

〔施設所管課：施設給食課〕

小分類	小学校	所在地	下木田町16番15号										
建築年（主たる施設）	昭和47年（1972年）	総延床面積	6,296㎡										
更新年（建築後60年）	令和14年（2032年）	更新費	2,077,680,000円										
施設概要	小学校として使用している。	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○近隣に南コミュニティセンター、市民体育館、木田小学校、第七中学校、あざみ保育所がある。</p> <p>○平成25年度に耐震工事が完了し、I s 値0.7以上は確保している。</p> <p>○平成13年度に校舎棟の大規模改修工事を実施している。</p> <p>○令和2年5月1日現在で445人の児童が在籍している。</p>											
	課題	<p>○建築年が古く老朽化が進んでいる。</p> <p>○給食調理場天井裏にアスベストを使用している。ただし、囲い込み等の飛散防止対策済です。</p> <p>○平成23年度に耐震補強事業（校舎）、平成24年度に大規模改造（普通教室空調）、平成25年度に（特）耐震補強（屋内運動場）及び防災機能強化（屋内運動場）、及び平成30年度に大規模改造（トイレ）、令和元年度に大規模改造（特別教室空調）を行っており、国の補助金を活用した施設のため原則として用途の変更ができない。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：A											
	二次評価	維持											
	<p>学校施設については、災害時には、避難所としての役割も果たすことから、延命化措置や適正な施設の改修、維持管理を継続的に行うとともに、今後の児童生徒数の推移等や小中一貫教育の推進状況も踏まえて、各学校内における建築物について、建替え等や長寿命化の検討を進める。</p>												
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(5) 学校教育系施設

施設名：【北小学校】

〔施設所管課：施設給食課〕

小分類	小学校	所在地	寿町57番29号										
建築年（主たる施設）	昭和53年（1978年）	総延床面積	6,250㎡										
更新年（建築後60年）	令和20年（2038年）	更新費	2,062,500,000円										
施設概要	小学校として使用している。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、西北コミュニティセンター、友呂岐中学校、さざんか保育所がある。 ○平成26年度に耐震工事が完了し、I s 値0.7以上は確保している。 ○令和2年5月1日現在で681人の児童が在籍している。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○建築年が古く老朽化が進んでいる。 ○給食調理場天井裏にアスベストを使用している。ただし、囲い込み等の飛散防止対策済です。 ○平成23年度に耐震補強事業（校舎）、平成24年度に耐震補強事業（校舎）、平成24年度に大規模改造（普通教室空調）、平成25年度に（特）耐震補強（屋内運動場）及び防災機能強化（屋内運動場）、平成29年度に大規模改造（トイレ）、令和元年度に大規模改造（特別教室空調）を行っており、国の補助金を活用した施設のため原則として用途の変更ができない。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：A											
	二次評価	維持											
	<p>学校施設については、災害時には、避難所としての役割も果たすことから、延命化措置や適正な施設の改修、維持管理を継続的に行う。</p> <p>北小学校においては、児童数が681人、学級数が28クラスとなっており、校舎は築40年を超える建物もあることから、今後の児童数の推移等や小中一貫教育の推進状況を踏まえ、学校内における建築物について、建替え等や長寿命化の検討を進める。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(5) 学校教育系施設

施設名：【第五小学校】

〔施設所管課：施設給食課〕

小分類	小学校	所在地	成田西町2番3号										
建築年（主たる施設）	昭和51年（1976年）	総延床面積	7,954㎡										
更新年（建築後60年）	令和18年（2036年）	更新費	2,624,820,000円										
施設概要	小学校として使用している。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、東北コミュニティセンター、第六中学校、中央高齢者福祉センターある。 ○平成25年度に耐震工事が完了し、I s 値0.7以上は確保している。 ○令和2年5月1日現在で1,164人の児童が在籍している。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○建築年が古く老朽化が進んでいる。 ○給食調理場天井裏にアスベストを使用している。ただし、囲い込み等の飛散防止対策済です。 ○平成23年度に耐震補強事業（校舎）及び不適格改築（校舎）、平成24年度に（特）耐震補強（校舎）及び大規模改造（普通教室空調）、平成25年度に耐震補強事業（屋内運動場）及び防災機能（屋内運動場）、令和元年度に大規模改造（特別教室空調）を行っており、国の補助金を活用した施設のため原則として用途の変更ができない。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：A											
	二次評価	維持											
	<p>学校施設については、災害時には、避難所としての役割も果たすことから、延命化措置や適正な施設の改修、維持管理を継続的に行う。</p> <p>第五小学校においては、児童数が1,164人、学級数が40クラスとなっており、校舎は築40年を超える建物もあることから、今後の児童数の推移等や小中一貫教育の推進状況を踏まえ、学校内における建築物について、建替え等や長寿命化の検討を進める。</p>												
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(5) 学校教育系施設

施設名：【成美小学校】

〔施設所管課：施設給食課〕

小分類	小学校	所在地	錦町23番45号										
建築年（主たる施設）	昭和35年（1960年）	総延床面積	5,093㎡										
更新年（建築後60年）	令和2年（2020年）	更新費	1,680,690,000円										
施設概要	小学校として使用している。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、西南コミュニティセンター、エスポール、子育てリフレッシュ館がある。 ○平成26年度に耐震工事が完了し、I s 値0.7以上は確保している。 ○令和2年5月1日現在で368人の児童が在籍している。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○建築年が古く老朽化が進んでいる。 ○平成23年度に耐震補強事業（校舎）、平成24年度に耐震補強事業（校舎）、平成24年に大規模改造（普通教室空調）、平成25年度に耐震補強事業（屋内運動場）及び防災機能強化（屋内運動場）、令和元年度に大規模改造（特別教室空調）を行っており、国の補助金を活用した施設のため原則として用途の変更ができない。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>学校施設については、災害時には、避難所としての役割も果たすことから、延命化措置や適正な施設の改修、維持管理を継続的に行う。</p> <p>成美小学校においては、児童数が368人、学級数が17クラスとなっており、校舎は築40年を超える建物もあることから、今後の児童数の推移等や小中一貫教育の推進状況を踏まえ、学校内における建築物について、建替え等や長寿命化の検討を進める。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(5) 学校教育系施設

施設名：【明和小学校】

〔施設所管課：施設給食課〕

小分類	小学校	所在地	打上高塚町4番1号										
建築年（主たる施設）	昭和48年（1973年）	総延床面積	8,602㎡										
更新年（建築後60年）	令和15年（2033年）	更新費	2,838,660,000円										
施設概要	小学校として使用している。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、自転車の駅、第四中学校、東シティ・ステーションがある。 ○平成26年度に耐震工事が完了し、I s 値0.7以上は確保している。 ○令和2年5月1日現在で311人の児童が在籍している。 ○平成10年度に校舎棟の大規模改修工事を実施している。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○建築年が古く老朽化が進んでいる。 ○食堂天井裏にアスベストを使用している。ただし、囲い込み等の飛散防止対策済です。 ○平成24年度に大規模改造（普通教室空調）、平成25年度に耐震補強事業（校舎・屋内運動場）及び防災機能強化（屋内運動場）、令和元年度に大規模改造（特別教室空調）を行っている。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：C											
	二次評価	集約化（受入）											
	<p>学校施設については、明和・梅が丘小学校、第四中学校を統合し、施設一体型の小中一貫校を建設する。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他	○		○		
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
○		○											

(5) 学校教育系施設

施設名：【池田小学校】

〔施設所管課：施設給食課〕

小分類	小学校	所在地	池田二丁目1番7号										
建築年（主たる施設）	昭和41年（1966年）	総延床面積	7,637㎡										
更新年（建築後60年）	令和8年（2026年）	更新費	2,520,210,000円										
施設概要	小学校として使用している。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、桜小学校、石津小学校がある。 ○平成24年度に耐震工事が完了し、I s 値0.7以上は確保している。 ○令和2年5月1日現在で480人の児童が在籍している。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○建築年が古く老朽化が進んでいる。 ○平成24年度に耐震補強事業（校舎）、平成24年度に大規模改造（普通教室空調）、平成26年度に大規模改造（トイレ）及び防災機能強化（屋内運動場）、令和元年度に大規模改造（特別教室空調）を行っており、国の補助金を活用した施設のため原則として用途の変更ができない。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>学校施設については、災害時には、避難所としての役割も果たすことから、延命化措置や適正な施設の改修、維持管理を継続的に行う。</p> <p>池田小学校においては、児童数が480人、学級数が22クラスとなっており、校舎は築40年を超える建物もあることから、今後の児童数の推移等や小中一貫教育の推進状況を踏まえ、学校内における建築物について、建替え等や長寿命化の検討を進める。</p>												
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(5) 学校教育系施設

施設名：【中央小学校】

〔施設所管課：施設給食課〕

小分類	小学校	所在地	初町1番25号										
建築年（主たる施設）	昭和48年（1973年）	総延床面積	7,029㎡										
更新年（建築後60年）	令和15年（2033年）	更新費	2,319,570,000円										
施設概要	小学校として使用している。	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○近隣施設として、アルカスホール、駅前図書館、中央用幼稚園、寝屋川市役所、上下水道局がある。</p> <p>○平成24年度に耐震工事が完了し、I s 値0.7以上は確保している。</p> <p>○令和2年5月1日現在で556人の児童が在籍している。</p> <p>○平成14年度に校舎棟の大規模改修工事を実施している。</p>											
	課題	<p>○建築年が古く老朽化が進んでいる。</p> <p>○給食調理場天井裏にアスベストを使用している。ただし、囲い込み等の飛散防止対策済です。</p> <p>○平成24年度に大規模改造（普通教室空調）、平成25年度に耐震補強事業（校舎）、平成26年度に大規模改造（トイレ）及び防災機能強化（屋内運動場）、令和元年度に大規模改造（特別教室空調）を行っており、国の補助金を活用した施設のため原則として用途の変更ができない。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>学校施設については、災害時には、避難所としての役割も果たすことから、延命化措置や適正な施設の改修、維持管理を継続的に行う。</p> <p>中央小学校においては、児童数が556人、学級数が23クラスとなっており、校舎は築40年を超える建物もあることから、今後の児童数の推移等や小中一貫教育の推進状況を踏まえ、学校内における建築物について、建替え等や長寿命化の検討を進める。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(5) 学校教育系施設

施設名：【啓明小学校】

〔施設所管課：施設給食課〕

小分類	小学校	所在地	高柳六丁目3番1号										
建築年（主たる施設）	昭和42年（1967年）	総延床面積	7,363㎡										
更新年（建築後60年）	令和9年（2027年）	更新費	2,429,790,000円										
施設概要	小学校として使用している。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、和光小学校、第九中学校、さくら保育所、啓明幼稚園がある。 ○平成22年度に耐震工事が完了し、I s 値0.7以上は確保している。 ○令和2年5月1日現在で330人の児童が在籍している。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○建築年が古く老朽化が進んでいる。 ○平成22年度に耐震補強事業（校舎・屋内運動場）平成24年度に大規模改造（普通教室空調）、平成26年度に大規模改造（トイレ）及び防災機能強化（屋内運動場）、平成29年度に大規模改造（トイレ）、令和元年度に大規模改造（特別教室空調）を行っており、国の補助金を活用した施設のため原則として用途の変更ができない。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>学校施設については、災害時には、避難所としての役割も果たすことから、延命化措置や適正な施設の改修、維持管理を継続的に行う。</p> <p>啓明小学校においては、児童数が330人、学級数が18クラスとなっており、校舎は築40年を超える建物もあることから、今後の児童数の推移等や小中一貫教育の推進状況を踏まえ、学校内における建築物について、建替え等や長寿命化の検討を進める。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(5) 学校教育系施設

施設名：【三井小学校】

〔施設所管課：施設給食課〕

小分類	小学校	所在地	三井が丘三丁目7番3号										
建築年（主たる施設）	昭和44年（1969年）	総延床面積	7,597㎡										
更新年（建築後60年）	令和11年（2029年）	更新費	2,507,010,000円										
施設概要	小学校として使用している。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、寝屋川斎場、第十中学校、さつき保育所がある。 ○平成25年度に耐震工事が完了し、I s 値0.7以上は確保している。 ○令和2年5月1日現在で354人の児童が在籍している。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○建築年が古く老朽化が進んでいる。 ○階段室天井裏にアスベストを使用している。ただし、囲い込み等の飛散防止対策済です。 ○平成24年度に大規模改造（普通教室空調）、平成25年度に耐震補強事業（屋内運動場）及び防災機能強化（屋内運動場）、平成29年度に大規模改造（トイレ）、令和元年度に大規模改造（特別教室空調）を行っており、国の補助金を活用した施設のため原則として用途の変更ができない。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：C											
	二次評価	維持											
	<p>学校施設については、災害時には、避難所としての役割も果たすことから、延命化措置や適正な施設の改修、維持管理を継続的に行う。</p> <p>三井小学校においては、児童数が354人、学級数が16クラスとなっており、校舎は築40年を超える建物もあることから、今後の児童数の推移等や小中一貫教育の推進状況を踏まえ、学校内における建築物について、建替え等や長寿命化の検討を進める。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(5) 学校教育系施設

施設名：【木屋小学校】

〔施設所管課：施設給食課〕

小分類	小学校	所在地	豊里町19番22号										
建築年（主たる施設）	昭和44年（1969年）	総延床面積	6,396㎡										
更新年（建築後60年）	令和11年（2029年）	更新費	2,110,680,000円										
施設概要	小学校として使用している。	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○平成26年度に耐震工事が完了し、I s値0.7以上は確保している。</p> <p>○令和2年5月1日現在で571人の児童が在籍している。</p>											
	課題	<p>○建築年が古く老朽化が進んでいる。</p> <p>○平成23年度に耐震補強事業（校舎）、平成24年度に大規模改造（普通教室空調）、平成25年度に耐震補強事業（校舎・屋内運動場）及び防災機能強化（屋内運動場）、平成29年度に大規模改造（トイレ）、令和元年度に大規模改造（特別教室空調）を行っており、国の補助金を活用した施設のため原則として用途の変更ができない。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：A											
	二次評価	維持											
	<p>学校施設については、災害時には、避難所としての役割も果たすことから、延命化措置や適正な施設の改修、維持管理を継続的に行う。</p> <p>木屋小学校においては、児童数が571人、学級数が25クラスとなっており、校舎は築40年を超える建物もあることから、今後の児童数の推移等や小中一貫教育の推進状況を踏まえ、学校内における建築物について、建替え等や長寿命化の検討を進める。</p>												
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(5) 学校教育系施設

施設名：【木田小学校】

〔施設所管課：施設給食課〕

小分類	小学校	所在地	木田元宮一丁目17番1号										
建築年（主たる施設）	昭和44年（1969年）	総延床面積	6,809㎡										
更新年（建築後60年）	令和11年（2029年）	更新費	2,246,970,000円										
施設概要	小学校として使用している。	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○近隣施設として、南コミュニティセンター、市民体育館、南小学校、中木田中学校、あざみ保育所、南幼稚園がある。</p> <p>○平成23年度に耐震工事が完了し、I s 値0.7以上は確保している。</p> <p>○令和2年5月1日現在で385人の児童が在籍している。</p>											
	課題	<p>○建築年が古く老朽化が進んでいる。</p> <p>○平成23年度に耐震補強事業（校舎）、平成24年度に大規模改造（普通教室空調）、平成26年度に大規模改造（トイレ）及び防災機能強化（屋内運動場）、平成30年度に大規模改造（トイレ）、令和元年度に大規模改造（特別教室空調）を行っており、国の補助金を活用した施設のため原則として用途の変更ができない。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>学校施設については、災害時には、避難所としての役割も果たすことから、延命化措置や適正な施設の改修、維持管理を継続的に行う。</p> <p>木田小学校においては、児童数が385人、学級数が17クラスとなっており、校舎は築40年を超える建物もあることから、今後の児童数の推移等や小中一貫教育の推進状況を踏まえ、学校内における建築物について、建替え等や長寿命化の検討を進める。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(5) 学校教育系施設

施設名：【神田小学校】

〔施設所管課：施設給食課〕

小分類	小学校	所在地	東神田町27番1号										
建築年（主たる施設）	昭和44年（1969年）	総延床面積	5,934㎡										
更新年（建築後60年）	令和11年（2029年）	更新費	1,958,220,000円										
施設概要	小学校として使用している。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、西南コミュニティセンター、神田幼稚園がある。 ○平成25年度に耐震工事が完了し、I s 値0.7以上は確保している。 ○令和2年5月1日現在で399人の児童が在籍している。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○建築年が古く老朽化が進んでいる。 ○平成24年度に大規模改造（普通教室空調）、平成25年度に耐震補強事業（屋内運動場）及び防災機能強化（屋内運動場）、令和元年度に大規模改造（特別教室空調）を行っており、国の補助金を活用した施設のため原則として用途の変更ができない。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>学校施設については、災害時には、避難所としての役割も果たすことから、延命化措置や適正な施設の改修、維持管理を継続的に行う。</p> <p>神田小学校においては、児童数が399人、学級数が19クラスとなっており、校舎は築40年を超える建物もあることから、今後の児童数の推移等や小中一貫教育の推進状況を踏まえ、学校内における建築物について、建替え等や長寿命化の検討を進める。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>更新</th> <th>長寿命化</th> <th>集約化</th> <th>廃止</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(5) 学校教育系施設

施設名：【堀溝小学校】

〔施設所管課：施設給食課〕

小分類	小学校	所在地	堀溝三丁目10番8号										
建築年（主たる施設）	昭和45年（1970年）	総延床面積	5,358㎡										
更新年（建築後60年）	令和12年（2030年）	更新費	1,768,140,000円										
施設概要	小学校として使用している。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、南コミュニティセンター分館、堀溝サービス窓口がある。 ○平成25年度に耐震工事が完了し、I s 値0.7以上は確保している。 ○令和2年5月1日現在で323人の児童が在籍している。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○建築年が古く老朽化が進んでいる。 ○平成24年度に大規模改造（普通教室空調）、平成25年度に耐震補強事業（屋内運動場）及び防災機能強化（屋内運動場）、令和元年度に大規模改造（特別教室空調）を行っており、国の補助金を活用した施設のため原則として用途の変更ができない。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>学校施設については、災害時には、避難所としての役割も果たすことから、延命化措置や適正な施設の改修、維持管理を継続的に行う。</p> <p>堀溝小学校においては、児童数が323人、学級数が16クラスとなっており、校舎は築40年を超える建物もあることから、今後の児童数の推移等や小中一貫教育の推進状況を踏まえ、学校内における建築物について、建替え等や長寿命化の検討を進める。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(5) 学校教育系施設

施設名：【田井小学校】

〔施設所管課：施設給食課〕

小分類	小学校	所在地	田井西町9番1号										
建築年（主たる施設）	昭和45年（1970年）	総延床面積	7,365㎡										
更新年（建築後60年）	令和12年（2030年）	更新費	2,430,450,000円										
施設概要	小学校として使用している。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、第三中学校がある。 ○平成25年度に耐震工事が完了し、I s 値0.7以上は確保している。 ○令和2年5月1日現在で399人の児童が在籍している。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○建築年が古く老朽化が進んでいる。 ○平成23年度に（特）耐震補強（屋内運動場）、平成24年度に耐震補強事業（校舎）、平成24年度に大規模改造（普通教室空調）、平成26年度に大規模改造（トイレ）及び防災機能強化（屋内運動場）、平成29年度に大規模改造（トイレ）、令和元年度に大規模改造（特別教室空調）を行っており、国の補助金を活用した施設のため原則として用途の変更ができない。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：C											
	二次評価	維持											
	<p>学校施設については、災害時には、避難所としての役割も果たすことから、延命化措置や適正な施設の改修、維持管理を継続的に行う。</p> <p>田井小学校においては、児童数が399人、学級数が19クラスとなっており、校舎は築40年を超える建物もあることから、今後の児童数の推移等や小中一貫教育の推進状況を踏まえ、学校内における建築物について、建替え等や長寿命化の検討を進める。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(5) 学校教育系施設

施設名：【桜小学校】

〔施設所管課：施設給食課〕

小分類	小学校	所在地	池田新町3番23号										
建築年（主たる施設）	昭和46年（1971年）	総延床面積	6,498㎡										
更新年（建築後60年）	令和13年（2031年）	更新費	2,144,340,000円										
施設概要	小学校として使用している。	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○近隣施設として、中央図書館臨時図書室、池田小学校、第三中学校、保健福祉センター、池の里市民交流センターがある。</p> <p>○平成24年度に耐震工事が完了し、I s 値0.7以上は確保している。</p> <p>○令和2年5月1日現在で364人の児童が在籍している。</p>											
	課題	<p>○建築年が古く老朽化が進んでいる。</p> <p>○平成24年度に大規模改造（普通教室空調）、平成25年度に耐震補強事業（屋内運動場）及び防災機能強化（屋内運動場）、平成29年度に大規模改造（トイレ）、令和元年度に大規模改造（特別教室空調）を行っており、国の補助金を活用した施設のため原則として用途の変更ができない。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>学校施設については、災害時には、避難所としての役割も果たすことから、延命化措置や適正な施設の改修、維持管理を継続的に行う。</p> <p>桜小学校においては、児童数が364人、学級数が18クラスとなっており、校舎は築40年を超える建物もあることから、今後の児童数の推移等や小中一貫教育の推進状況を踏まえ、学校内における建築物について、建替え等や長寿命化の検討を進める。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(5) 学校教育系施設

施設名：【点野小学校】

〔施設所管課：施設給食課〕

小分類	小学校	所在地	点野五丁目26番1号										
建築年（主たる施設）	昭和48年（1973年）	総延床面積	7,900㎡										
更新年（建築後60年）	令和15年（2033年）	更新費	2,607,000,000円										
施設概要	小学校として使用している。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、西コミュニティセンター、第八中学校がある。 ○平成25年度に耐震工事が完了し、I s 値0.7以上は確保している。 ○令和2年5月1日現在で449人の児童が在籍している。 ○平成11年度に校舎棟の大規模改修工事を実施している。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○建築年が古く老朽化が進んでいる。 ○平成24年度に耐震補強事業（屋内運動場）及び大規模改造（普通教室空調）、平成25年度に耐震補強（校舎）、平成26年度に大規模改造（トイレ）及び防災機能強化（屋内運動場）、平成29年度に大規模改造（トイレ）、令和元年度に大規模改造（特別教室空調）を行っており、国の補助金を活用した施設のため原則として用途の変更ができない。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>学校施設については、災害時には、避難所としての役割も果たすことから、延命化措置や適正な施設の改修、維持管理を継続的に行う。</p> <p>点野小学校においては、児童数が449人、学級数が19クラスとなっており、校舎は築40年を超える建物もあることから、今後の児童数の推移等や小中一貫教育の推進状況を踏まえ、学校内における建築物について、建替え等や長寿命化の検討を進める。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(5) 学校教育系施設

施設名：【和光小学校】

〔施設所管課：施設給食課〕

小分類	小学校	所在地	黒原橋町30番1号										
建築年（主たる施設）	昭和48年（1973年）	総延床面積	7,344㎡										
更新年（建築後60年）	令和15年（2033年）	更新費	2,423,520,000円										
施設概要	小学校として使用している。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、啓明小学校がある。 ○平成24年度に耐震工事が完了し、I s 値0.7以上は確保している。 ○令和2年5月1日現在で746人の児童が在籍している。 ○平成12年度に校舎棟の大規模改修工事を実施している。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○建築年が古く老朽化が進んでいる。 ○給食調理場天井裏にアスベストを使用している。ただし、囲い込み等の飛散防止対策済です。 ○平成24年度に耐震補強事業（校舎）及び大規模改造（普通教室空調）、平成26年度に大規模改造（トイレ）及び防災機能強化（屋内運動場）、平成30年度に大規模改造（トイレ）、令和元年度に大規模改造（特別教室空調）を行っており、国の補助金を活用した施設のため原則として用途の変更ができない。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：A											
	二次評価	維持											
	<p>学校施設については、災害時には、避難所としての役割も果たすことから、延命化措置や適正な施設の改修、維持管理を継続的に行う。</p> <p>和光小学校においては、児童数が746人、学級数が30クラスとなっており、校舎は築40年を超える建物もあることから、今後の児童数の推移等や小中一貫教育の推進状況を踏まえ、学校内における建築物について、建替え等や長寿命化の検討を進める。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(5) 学校教育系施設

施設名：【国松緑丘小学校】

〔施設所管課：施設給食課〕

小分類	小学校	所在地	国松町47番1号										
建築年（主たる施設）	昭和50年（1975年）	総延床面積	6,003㎡										
更新年（建築後60年）	令和17年（2035年）	更新費	1,980,990,000円										
施設概要	小学校として使用している。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、さつき保育所がある。 ○平成24年度に耐震工事が完了し、I s 値0.7以上は確保している。 ○令和2年5月1日現在で326人の児童が在籍している。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○建築年が古く老朽化が進んでいる。 ○給食調理場天井裏にアスベストを使用している。ただし、囲い込み等の飛散防止対策済です。 ○平成24年度に耐震補強事業（屋内運動場）及び大規模改造（普通教室空調）、平成26年度に大規模改造（トイレ）及び防災機能強化（屋内運動場）、平成30年度に大規模改造（トイレ）、令和元年度に大規模改造（特別教室空調）を行っており、国の補助金を活用した施設のため原則として用途の変更ができない。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：C											
	二次評価	維持											
	<p>学校施設については、災害時には、避難所としての役割も果たすことから、延命化措置や適正な施設の改修、維持管理を継続的に行う。</p> <p>国松緑丘小学校においては、児童数が326人、学級数が18クラスとなっており、校舎は築40年を超える建物もあることから、今後の児童数の推移等や小中一貫教育の推進状況を踏まえ、学校内における建築物について、建替え等や長寿命化の検討を進める。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(5) 学校教育系施設

施設名：【楠根小学校】

〔施設所管課：施設給食課〕

小分類	小学校	所在地	楠根南町21番1号										
建築年（主たる施設）	昭和51年（1976年）	総延床面積	5,231㎡										
更新年（建築後60年）	令和18年（2036年）	更新費	1,726,230,000円										
施設概要	小学校として使用している。	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○平成25年度に耐震工事が完了し、I s値0.7以上は確保している。</p> <p>○令和2年5月1日現在で176人の児童が在籍している。</p>											
	課題	<p>○建築年が古く老朽化が進んでいる。</p> <p>○給食調理場天井裏にアスベストを使用している。ただし、囲い込み等の飛散防止対策済です。</p> <p>○平成24年度に大規模改造（普通教室空調）、平成25年度に耐震補強事業（屋内運動場）及び防災機能強化（屋内運動場）、平成30年度に大規模改造（トイレ）、令和元年度に大規模改造（特別教室空調）を行っており、国の補助金を活用した施設のため原則として用途の変更ができない。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>学校施設については、災害時には、避難所としての役割も果たすことから、延命化措置や適正な施設の改修、維持管理を継続的に行う。</p> <p>楠根小学校においては、児童数が176人、学級数が10クラスとなっており、校舎は築40年を超える建物もあることから、今後の児童数の推移等や小中一貫教育の推進状況を踏まえ、学校内における建築物について、建替え等や長寿命化の検討を進める。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(5) 学校教育系施設

施設名：【梅が丘小学校】

〔施設所管課：施設給食課〕

小分類	小学校	所在地	梅が丘二丁目10番1号										
建築年（主たる施設）	昭和52年（1977年）	総延床面積	6,279㎡										
更新年（建築後60年）	令和19年（2037年）	更新費	2,072,070,000円										
施設概要	小学校として使用している。	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○平成25年度に耐震工事が完了し、I s値0.7以上は確保している。</p> <p>○令和2年5月1日現在で303人の児童が在籍している。</p>											
	課題	<p>○建築年が古く老朽化が進んでいる。</p> <p>○給食調理場天井裏にアスベストを使用している。ただし、囲い込み等の飛散防止対策済です。</p> <p>○平成24年度に耐震補強事業（校舎）、平成24年度に大規模改造（普通教室空調）、平成25年度に(特)耐震補強事業（屋内運動場）及び防災機能強化（屋内運動場）、令和元年度に大規模改造（特別教室空調）を行っている。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：C											
	二次評価	集約化（移転）											
	<p>学校施設については、明和・梅が丘小学校、第四中学校を統合し、施設一体型の小中一貫校を建設する。</p> <p>今後、施設（敷地を含む。）の方向性を全庁的な見地で検討する。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他			○		
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
		○											

(5) 学校教育系施設

施設名：【宇谷小学校】

〔施設所管課：施設給食課〕

小分類	小学校	所在地	宇谷町8番1号										
建築年（主たる施設）	昭和56年（1981年）	総延床面積	5,109㎡										
更新年（建築後60年）	令和23年（2041年）	更新費	1,685,970,000円										
施設概要	小学校として使用している。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、さつき保育所、クリーンセンターがある。 ○平成25年度に耐震工事が完了し、I s 値0.7以上は確保している。 ○令和2年5月1日現在で395人の児童が在籍している。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○建築年が古く老朽化が進んでいる。 ○平成24年度に耐震補強事業（校舎）、平成24年度に大規模改造（普通教室空調）、平成25年度に耐震補強事業（屋内運動場）及び防災機能強化（屋内運動場）、平成30年度に大規模改造（トイレ）、令和元年度に大規模改造（特別教室空調）を行っており、国の補助金を活用した施設のため原則として用途の変更ができない。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>学校施設については、災害時には、避難所としての役割も果たすことから、延命化措置や適正な施設の改修、維持管理を継続的に行う。</p> <p>宇谷小学校においては、児童数が395人、学級数が16クラスとなっており、校舎は築30年を超える建物もあることから、今後の児童数の推移等や小中一貫教育の推進状況を踏まえ、学校内における建築物について、建替え等や長寿命化の検討を進める。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(5) 学校教育系施設

施設名：【石津小学校】

〔施設所管課：施設給食課〕

小分類	小学校	所在地	石津元町8番1号										
建築年（主たる施設）	昭和57年（1982年）	総延床面積	4,490㎡										
更新年（建築後60年）	令和24年（2042年）	更新費	1,481,700,000円										
施設概要	小学校として使用している。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○令和2年5月1日現在で284人の児童が在籍している。 ○近隣施設として、池田小学校がある。 ○平成25年度に耐震工事が完了し、I s 値0.7以上は確保している。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○建築年が古く老朽化が進んでいる。 ○給食調理場天井裏及び体育倉庫天井にアスベストを使用している。ただし、囲い込み等の飛散防止対策済です。 ○平成24年度に大規模改造（普通教室空調）、平成25年度に耐震補強事業（屋内運動場）及び防災機能強化（屋内運動場）、平成29年度に大規模改造（トイレ）、令和元年度に大規模改造（特別教室空調）を行っており、国の補助金を活用した施設のため原則として用途の変更ができない。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>学校施設については、災害時には、避難所としての役割も果たすことから、延命化措置や適正な施設の改修、維持管理を継続的に行う。</p> <p>石津小学校においては、児童数が284人、学級数が17クラスとなっており、校舎は築30年を超える建物もあることから、今後の児童数の推移等や小中一貫教育の推進状況を踏まえ、学校内における建築物について、建替え等や長寿命化の検討を進める。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(5) 学校教育系施設

施設名：【第一中学校】

〔施設所管課：施設給食課〕

小分類	中学校	所在地	高宮新町32番1号										
建築年（主たる施設）	昭和42年（1967年）	総延床面積	7,784㎡										
更新年（建築後60年）	令和9年（2027年）	更新費	2,568,720,000円										
施設概要	中学校として使用している。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、東コミュニティセンター、市民会館、東小学校、太秦高齢者福祉センターがある。 ○平成25年度に耐震工事が完了し、I s 値0.7以上は確保している。 ○令和2年5月1日現在で484人の生徒が在籍している。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○建築年が古く老朽化が進んでいる。 ○平成23年度に大規模改造（普通教室空調）、平成24年度に耐震補強事業（校舎）、平成25年度に(特)耐震補強事業（屋内運動場）及び防災機能強化（屋内運動場）、平成30年度に大規模改造（トイレ）、令和元年度に大規模改造（特別教室空調）を行っており、国の補助金を活用した施設のため原則として用途の変更ができない。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>学校施設については、災害時には、避難所としての役割も果たすことから、延命化措置や適正な施設の改修、維持管理を継続的に行う。</p> <p>第一中学校においては、生徒数が484人、学級数が16クラスとなっており、校舎は築40年を超える建物もあることから、今後の生徒数の推移等や小中一貫教育の推進状況を踏まえ、学校内における建築物について、建替え等や長寿命化の検討を進める。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(5) 学校教育系施設

施設名：【第二中学校】

〔施設所管課：施設給食課〕

小分類	中学校	所在地	池田西町27番7号										
建築年（主たる施設）	昭和48年（1973年）	総延床面積	7,383㎡										
更新年（建築後60年）	令和15年（2033年）	更新費	2,436,390,000円										
施設概要	中学校として使用している。	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○近隣施設として、中央図書館臨時図書室、桜小学校、保健福祉センター、池の里市民交流センターがある。</p> <p>○平成23年度に耐震工事が完了し、I s 値0.7以上は確保している。</p> <p>○令和2年5月1日現在で450人の生徒が在籍している。</p>											
	課題	<p>○建築年が古く老朽化が進んでいる。</p> <p>○特別教室棟1、2、3階天井裏にアスベストを使用している。ただし、囲い込み等の飛散防止対策済です。</p> <p>○平成23年度に耐震補強事業（校舎）及び大規模改造（普通教室空調）、平成26年度に大規模改造（トイレ）及び防災機能強化（屋内運動場）、令和元年度に大規模改造（特別教室空調）を行っており、国の補助金を活用した施設のため原則として用途の変更ができない。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>学校施設については、災害時には、避難所としての役割も果たすことから、延命化措置や適正な施設の改修、維持管理を継続的に行う。</p> <p>第二中学校においては、生徒数が450人、学級数が15クラスとなっており、校舎は築40年を超える建物もあることから、今後の生徒数の推移等や小中一貫教育の推進状況を踏まえ、学校内における建築物について、建替え等や長寿命化の検討を進める。</p>												
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(5) 学校教育系施設

施設名：【第三中学校】

〔施設所管課：施設給食課〕

小分類	中学校	所在地	田井町17番3号										
建築年（主たる施設）	昭和36年（1961年）	総延床面積	6,940㎡										
更新年（建築後60年）	令和3年（2021年）	更新費	2,290,200,000円										
施設概要	中学校として使用している。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、田井小学校、香里園シティ・ステーションがある。 ○平成25年度に耐震工事が完了し、I s 値0.7以上は確保している。 ○令和2年5月1日現在で556人の生徒が在籍している。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○建築年が古く老朽化が進んでいる。 ○平成23年度に耐震補強事業（校舎）及び大規模改造（普通教室空調）、平成24年度に耐震補強事業（校舎）、平成25年度に(特)耐震補強事業（屋内運動場）及び防災機能強化（屋内運動場）、平成29年度に大規模改造（トイレ）、令和元年度に大規模改造（特別教室空調）を行っており、国の補助金を活用した施設のため原則として用途の変更ができない。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>学校施設については、災害時には、避難所としての役割も果たすことから、延命化措置や適正な施設の改修、維持管理を継続的に行う。</p> <p>第三中学校においては、生徒数が556人、学級数が18クラスとなっており、校舎は築40年を超える建物もあることから、今後の生徒数の推移等や小中一貫教育の推進状況を踏まえ、学校内における建築物について、建替え等や長寿命化の検討を進める。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(5) 学校教育系施設

施設名：【第四中学校】

〔施設所管課：施設給食課〕

小分類	中学校	所在地	打上新町4番1号										
建築年（主たる施設）	昭和47年（1972年）	総延床面積	8,896㎡										
更新年（建築後60年）	令和14年（2032年）	更新費	2,935,680,000円										
施設概要	中学校として使用している。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、明和小学校、東シティ・ステーションがある。 ○平成25年度に耐震工事が完了し、I s 値0.7以上は確保している。 ○令和2年5月1日現在で285人の生徒が在籍している。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○建築年が古く老朽化が進んでいる。 ○平成23年度に大規模改造（普通教室空調）、平成25年度に耐震補強事業（校舎）、平成26年度に大規模改造（トイレ）及び防災機能強化（屋内運動場）、令和元年度に大規模改造（特別教室空調）を行っている。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：C											
	二次評価	集約化（移転）											
	<p>学校施設については、明和・梅が丘小学校、第四中学校を統合し、施設一体型の小中一貫校を建設する。</p> <p>今後、施設（敷地を含む。）の方向性を全庁的な見地で検討する。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他			○		
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
		○											

(5) 学校教育系施設

施設名：【第五中学校】

〔施設所管課：施設給食課〕

小分類	中学校	所在地	上神田二丁目8番1号										
建築年（主たる施設）	昭和46年（1971年）	総延床面積	6,796㎡										
更新年（建築後60年）	令和13年（2031年）	更新費	2,242,680,000円										
施設概要	中学校として使用している。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、西南コミュニティセンターがある。 ○平成24年度に耐震工事が完了し、I s 値0.7以上は確保している。 ○令和2年5月1日現在で621人の生徒が在籍している。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○建築年が古く老朽化が進んでいる。 ○平成23年度に大規模改造（普通教室空調）、平成24年度に(特)耐震補強事業（屋内運動場）、平成26年度に防災機能強化（屋内運動場）及び大規模改造（トイレ）、平成30年度に大規模改造（トイレ）、令和元年度に大規模改造（特別教室空調）を行っており、国の補助金を活用した施設のため原則として用途の変更ができない。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：A											
	二次評価	維持											
	<p>学校施設については、災害時には、避難所としての役割も果たすことから、延命化措置や適正な施設の改修、維持管理を継続的に行う。</p> <p>第五中学校においては、生徒数が621人、学級数が22クラスとなっており、校舎は築40年を超える建物もあることから、今後の生徒数の推移等や小中一貫教育の推進状況を踏まえ、学校内における建築物について、建替え等や長寿命化の検討を進める。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(5) 学校教育系施設

施設名：【第六中学校】

〔施設所管課：施設給食課〕

小分類	中学校	所在地	成田町3番6号										
建築年（主たる施設）	昭和46年（1971年）	総延床面積	7,863㎡										
更新年（建築後60年）	令和13年（2031年）	更新費	2,594,790,000円										
施設概要	中学校として使用している。	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○近隣施設として、東北コミュニティセンター、第五小学校、第六中学校、中央高齢者福祉センターがある。</p> <p>○平成25年度に耐震工事が完了し、I s 値0.7以上は確保している。</p> <p>○令和2年5月1日現在で669人の生徒が在籍している。</p>											
	課題	<p>○建築年が古く老朽化が進んでいる。</p> <p>○平成23年度に耐震補強事業（校舎）及び大規模改造（普通教室空調）、平成24年度に耐震補強事業（校舎）、平成25年度に(特)耐震補強事業（屋内運動場）及び防災機能強化（屋内運動場）、令和元年度に大規模改造（特別教室空調）を行っており、国の補助金を活用した施設のため原則として用途の変更ができない。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>学校施設については、災害時には、避難所としての役割も果たすことから、延命化措置や適正な施設の改修、維持管理を継続的に行う。</p> <p>第六中学校においては、生徒数が669人、学級数が20クラスとなっており、校舎は築40年を超える建物もあることから、今後の生徒数の推移等や小中一貫教育の推進状況を踏まえ、学校内における建築物について、建替え等や長寿命化の検討を進める。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(5) 学校教育系施設

施設名：【第七中学校】

〔施設所管課：施設給食課〕

小分類	中学校	所在地	讃良東町1番1号										
建築年（主たる施設）	昭和50年（1975年）	総延床面積	6,687㎡										
更新年（建築後60年）	令和17年（2035年）	更新費	2,206,710,000円										
施設概要	中学校として使用している。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、南コミュニティセンター、市民体育館、南小学校、あざみ保育所がある。 ○平成24年度に耐震工事が完了し、I s 値0.7以上は確保している。 ○令和2年5月1日現在で326人の生徒が在籍している。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○建築年が古く老朽化が進んでいる。 ○平成23年度に耐震補強事業（校舎）及び大規模改造（普通教室空調）、平成24年度に耐震補強事業（校舎）、平成26年度に大規模改造（トイレ）、平成29年度に大規模改造（トイレ）、令和元年度に大規模改造（特別教室空調）を行っており、国の補助金を活用した施設のため原則として用途の変更ができない。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>学校施設については、災害時には、避難所としての役割も果たすことから、延命化措置や適正な施設の改修、維持管理を継続的に行う。</p> <p>第七中学校においては、生徒数が326人、学級数が11クラスとなっており、校舎は築40年を超える建物もあることから、今後の生徒数の推移等や小中一貫教育の推進状況を踏まえ、学校内における建築物について、建替え等や長寿命化の検討を進める。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(5) 学校教育系施設

施設名：【第八中学校】

〔施設所管課：施設給食課〕

小分類	中学校	所在地	点野五丁目28番1号										
建築年（主たる施設）	昭和52年（1977年）	総延床面積	7,296㎡										
更新年（建築後60年）	令和19年（2037年）	更新費	2,407,680,000円										
施設概要	中学校として使用している。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、点野小学校がある。 ○平成25年度に耐震工事が完了し、I s 値0.7以上は確保している。 ○令和2年5月1日現在で436人の生徒が在籍している。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○建築年が古く老朽化が進んでいる。 ○平成23年度に大規模改造（普通教室空調）、平成25年度に(特)耐震補強事業（屋内運動場）及び防災機能強化（屋内運動場）、平成29年度に大規模改造（トイレ）、令和元年度に大規模改造（特別教室空調）を行っており、国の補助金を活用した施設のため原則として用途の変更ができない。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：C											
	二次評価	維持											
	<p>学校施設については、災害時には、避難所としての役割も果たすことから、延命化措置や適正な施設の改修、維持管理を継続的に行う。</p> <p>第八中学校においては、生徒数が436人、学級数が16クラスとなっており、校舎は築40年を超える建物もあることから、今後の生徒数の推移等や小中一貫教育の推進状況を踏まえ、学校内における建築物について、建替え等や長寿命化の検討を進める。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(5) 学校教育系施設

施設名：【第九中学校】

〔施設所管課：施設給食課〕

小分類	中学校	所在地	高柳四丁目16番16号										
建築年（主たる施設）	昭和53年（1978年）	総延床面積	6,807㎡										
更新年（建築後60年）	令和20年（2038年）	更新費	2,246,310,000円										
施設概要	中学校として使用している。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、西小学校、啓明小学校、啓明幼稚園がある。 ○平成25年度に耐震工事が完了し、I s 値0.7以上は確保している。 ○令和2年5月1日現在で368人の生徒が在籍している。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○建築年が古く老朽化が進んでいる。 ○平成23年度に耐震補強事業（校舎）及び大規模改造（普通教室空調）、平成25年度に(特)耐震補強事業（屋内運動場）及び防災機能強化（屋内運動場）、令和元年度に大規模改造（特別教室空調）を行っており、国の補助金を活用した施設のため原則として用途の変更ができない。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>学校施設については、災害時には、避難所としての役割も果たすことから、延命化措置や適正な施設の改修、維持管理を継続的に行う。</p> <p>第九中学校においては、生徒数が368人、学級数が15クラスとなっており、校舎は築40年を超える建物もあることから、今後の生徒数の推移等や小中一貫教育の推進状況を踏まえ、学校内における建築物について、建替え等や長寿命化の検討を進める。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(5) 学校教育系施設

施設名：【第十中学校】

〔施設所管課：施設給食課〕

小分類	中学校	所在地	成田南町20番7号										
建築年（主たる施設）	昭和55年（1980年）	総延床面積	6,497㎡										
更新年（建築後60年）	令和22年（2040年）	更新費	2,144,010,000円										
施設概要	中学校として使用している。	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○近隣施設として、寝屋川斎場、三井小学校、第六中学校、総合教育研修センター、中央高齢者福祉センターがある。</p> <p>○平成25年度に耐震工事が完了し、I s 値0.7以上は確保している。</p> <p>○令和2年5月1日現在で400人の生徒が在籍している。</p>											
	課題	<p>○建築年が古く老朽化が進んでいる。</p> <p>○平成23年度に大規模改造（普通教室空調）、平成24年度に耐震補強事業（校舎・屋内運動場）、平成25年度に耐震補強事業（校舎）、平成26年度に大規模改造（トイレ）及び防災機能強化（屋内運動場）、平成29年度に大規模改造（トイレ）、令和元年度に大規模改造（特別教室空調）を行っており、国の補助金を活用した施設のため原則として用途の変更ができない。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>学校施設については、災害時には、避難所としての役割も果たすことから、延命化措置や適正な施設の改修、維持管理を継続的に行う。</p> <p>第十中学校においては、生徒数が400人、学級数が14クラスとなっており、校舎は築40年を超える建物もあることから、今後の生徒数の推移等や小中一貫教育の推進状況を踏まえ、学校内における建築物について、建替え等や長寿命化の検討を進める。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(5) 学校教育系施設

施設名：【友呂岐中学校】

〔施設所管課：施設給食課〕

小分類	中学校	所在地	日新町2番25号										
建築年（主たる施設）	昭和58年（1983年）	総延床面積	6,276㎡										
更新年（建築後60年）	令和25年（2043年）	更新費	2,071,080,000円										
施設概要	中学校として使用している。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、北小学校がある。 ○新耐震基準に基づく建物である。 ○令和2年5月1日現在で417人の生徒が在籍している。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○建築年が古く老朽化が進んでいる。 ○体育倉庫天井裏にアスベストを使用している。ただし、囲い込み等の飛散防止対策済です。 ○平成23年度に大規模改造（普通教室空調）、平成26年度に大規模改造（トイレ）及び防災機能強化（屋内運動場）、平成29年度に大規模改造（トイレ）、令和元年度に大規模改造（特別教室空調）を行っており、国の補助金を活用した施設のため原則として用途の変更ができない。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>学校施設については、災害時には、避難所としての役割も果たすことから、延命化措置や適正な施設の改修、維持管理を継続的に行う。</p> <p>友呂岐中学校においては、生徒数が417人、学級数が15クラスとなっており、校舎は築30年を超える建物もあることから、今後の生徒数の推移等や小中一貫教育の推進状況を踏まえ、学校内における建築物について、建替え等や長寿命化の検討を進める。</p>												
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(5) 学校教育系施設

施設名：【中木田中学校】

〔施設所管課：施設給食課〕

小分類	中学校	所在地	中木田町7番1号										
建築年（主たる施設）	昭和48年（1973年）	総延床面積	7,468㎡										
更新年（建築後60年）	令和15年（2033年）	更新費	2,464,440,000円										
施設概要	中学校として使用している。	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○平成25年度に耐震工事が完了し、I s 値0.7以上は確保している。</p> <p>○令和2年5月1日現在で266人の生徒が在籍している。</p>											
	課題	<p>○建築年が古く老朽化が進んでいる。</p> <p>○格技場天井裏及び格技場前廊下天井裏にアスベストを使用している。ただし、囲い込み等の飛散防止対策済です。</p> <p>○平成23年度に大規模改造（普通教室空調）、平成25年度に耐震補強事業（屋内運動場）及び防災機能強化（屋内運動場）、平成30年度に大規模改造（トイレ）、令和元年度に大規模改造（特別教室空調）を行っており、国の補助金を活用した施設のため原則として用途の変更ができない。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>学校施設については、災害時には、避難所としての役割も果たすことから、延命化措置や適正な施設の改修、維持管理を継続的に行う。</p> <p>中木田中学校においては、生徒数が266人、学級数が10クラスとなっており、校舎は築40年を超える建物もあることから、今後の生徒数の推移等や小中一貫教育の推進状況を踏まえ、学校内における建築物について、建替え等や長寿命化の検討を進める。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(5) 学校教育系施設

施設名：【総合教育研修センター】

〔施設所管課：総合教育研修センター〕

小分類	その他教育施設	所在地	明德一丁目1番1号										
建築年（主たる施設）	昭和47年（1972年）	総延床面積	4,725㎡										
更新年（建築後60年）	令和14年（2032年）	更新費	1,559,250,000円										
施設概要	<p>教育関係職員の研修及び研究に関する事業、教育支援事業、英語村（英語力向上）事業を行うための施設である。</p> <p>※ 1 中核市移行に伴い、平成31年3月に旧教育研修センター（池田新町3-23）から現所在地（明德1-1-1）に移転し、平成31年4月から施設名称が変更となった。</p> <p>※ 2 現所在地は、平成17年3月31日をもって廃校となった明德小学校であり、平成19年4月1日から旧明德小学校校舎の一部を地域活性化のためにこれまで活用していた。</p>	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○近隣施設として、第十中学校がある。</p> <p>○ I s 値0.6以上は確保している。</p> <p>○中核市移行に伴い、教育研修センターが旧明德小学校校舎（耐震済の管理棟）へ移転するに当たり、平成30年度に施設改修工事（建築・機械・電気）等を行った。</p> <p>○給食調理場については、平成30年度に解体した（アスベスト除去を含む。）。</p>											
	課題	<p>○校舎棟(耐震済の管理棟)については、使用用途等が決まっているが、屋内運動場、プール等については、今後の在り方等について検討を行う必要がある。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：C ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>教職員研修、講演会等での有効活用及び市民サービスの向上を目指し、施設の機能充実を図る。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

子育て支援施設

(6) 子育て支援施設

施設名：【さくら保育所】

〔施設所管課：保育課〕

小分類	保育所	所在地	対馬江西町15番16号										
建築年（主たる施設）	昭和45年（1970年）	総延床面積	793㎡										
更新年（建築後60年）	令和12年（2030年）	更新費	261,690,000円										
施設概要	<p>保育を必要とする乳児・幼児を日々保護者の下から通わせて保育を行うことを目的とする。</p> <p>児童福祉法第39条の規定に基づき、保育を必要とする子どもの保育を行い、その健全な心身の発達を図る。</p> <p>また、家庭や地域の様々な社会資源との連携を図りながら、入所する子どもの保護者に対する支援及び地域の子育て家庭に対する支援等を行う役割を担う。</p>	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○市立保育所は、「市立保育所民営化方針（平成16年8月）」に基づき、各コミュニティセンターエリアに1箇所設置しており、本保育所は、西南エリアに位置する。</p> <p>○近隣施設として、啓明小学校、啓明幼稚園がある。</p> <p>○平成27年度から28年度にかけて耐震工事を実施し、Is値0.6以上は確保している。</p> <p>○入所児童数は98人である。（令和2年4月1日時点）</p> <p>○待機児童ZEROプランRを推進する中、保育ニーズは高い水準にある。</p>											
	課題	<p>○耐震補強工事は完了しているが、建築年が相当古く、施設全体の老朽化が進んでおり、施設の老朽化対策及び長寿命化対策が必要である。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：C											
	二次評価	維持											
	<p>現在、市立保育所と民間保育所がともに連携しながら保育水準の維持向上に努めているところであるが、要保護児童の対応などについては、市立保育所の果たす役割が大きく、保育におけるセーフティーネット機能として不可欠な施設であることから、現在のところ現状維持が必要である。</p> <p>入所児童数が年間で最大となる3月（令和2年）においては、定員120人、児童数104人、充足率86.7%となっているが、今後については、将来的な入所児童数の見込みや国における幼児教育無償化の影響等を踏まえ、幼児教育・就学前教育を担う施設全体で総合的に検討する。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(6) 子育て支援施設

施設名：【たんぽぽ保育所】

〔施設所管課：保育課〕

小分類	保育所	所在地	打上南町2番1号										
建築年（主たる施設）	昭和52年（1977年）	総延床面積	1,645㎡										
更新年（建築後60年）	令和19年（2037年）	更新費	542,850,000円										
施設概要	<p>保育を必要とする乳児・幼児を日々保護者の下から通わせて保育を行うことを目的とする。</p> <p>児童福祉法第39条の規定に基づき、保育を必要とする子どもの保育を行い、その健全な心身の発達を図る。</p> <p>また、家庭や地域の様々な社会資源との連携を図りながら、入所する子どもの保護者に対する支援及び地域の子育て家庭に対する支援等を行う役割を担う。</p>	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○市立保育所は、「市立保育所民営化方針（平成16年8月）」に基づき、各コミュニティセンターエリアに1箇所設置しており、本保育所は、東エリアに位置する。</p> <p>○近隣施設として、学び館、自転車の駅、明和小学校、東高齢者福祉センターがある。</p> <p>○平成22年度、30年度に耐震工事を実施し、Is値0.6以上は確保している。</p> <p>○入所児童数は125人である。（平成30年4月1日時点）</p> <p>○待機児童ZEROプランRを推進する中、保育ニーズは高い水準にある。</p>											
	課題	<p>○保育棟の耐震補強工事は完了しているが、建築年が相当古く、施設全体の老朽化が進んでおり、施設の老朽化対策及び長寿命化対策が必要である。</p> <p>○建設時に国及び府の補助金が充当されており、売却時に返還する必要がある。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>現在、市立保育所と民間保育所がともに連携しながら保育水準の維持向上に努めているところであるが、要保護児童の対応などについては、市立保育所の果たす役割が大きく、保育におけるセーフティーネット機能として不可欠な施設であることから、現在のところ現状維持が必要である。</p> <p>入所児童数が年間で最大となる3月（平成31年）においては、定員120人、児童数135人、充足率112.5%となっているが、今後については、将来的な入所児童数の見込みや国における幼児教育無償化の影響等を踏まえ、幼児教育・就学前教育を担う施設全体で総合的に検討する。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(6) 子育て支援施設

施設名：【さつき保育所】

〔施設所管課：保育課〕

小分類	保育所	所在地	三井が丘四丁目10番1号										
建築年（主たる施設）	昭和47年（1972年）	総延床面積	879㎡										
更新年（建築後60年）	令和14年（2032年）	更新費	290,070,000円										
施設概要	<p>保育を必要とする乳児・幼児を日々保護者の下から通わせて保育を行うことを目的とする。</p> <p>児童福祉法第39条の規定に基づき、保育を必要とする子どもの保育を行い、その健全な心身の発達を図る。</p> <p>また、家庭や地域の様々な社会資源との連携を図りながら、入所する子どもの保護者に対する支援及び地域の子育て家庭に対する支援等を行う役割を担う。</p>	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○市立保育所は、「市立保育所民営化方針（平成16年8月）」に基づき、各コミュニティセンターエリアに1箇所設置しており、本保育所は、東北エリアに位置する。</p> <p>○近隣施設として、寝屋川斎場、三井小学校、宇谷小学校がある。</p> <p>○平成27年度から28年度にかけて耐震工事を実施し、Is値0.6以上は確保している。</p> <p>○入所児童数は133人である。（令和2年4月1日時点）</p> <p>○待機児童ZEROプランRを推進する中、保育ニーズは高い水準にある。</p>											
	課題	<p>○耐震補強工事は完了しているが、建築年が相当古く、施設全体の老朽化が進んでおり、施設の老朽化対策及び長寿命化対策が必要である。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>現在、市立保育所と民間保育所がともに連携しながら保育水準の維持向上に努めているところであるが、要保護児童の対応などについては、市立保育所の果たす役割が大きく、保育におけるセーフティーネット機能として不可欠な施設であることから、現在のところ現状維持が必要である。</p> <p>入所児童数が年間で最大となる3月（令和2年）においては、定員150人、児童数139人、充足率92.7%となっているが、今後については、将来的な入所児童数の見込みや国における幼児教育無償化の影響等を踏まえ、幼児教育・就学前教育を担う施設全体で総合的に検討する。</p>												
<table border="1"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(6) 子育て支援施設

施設名：【さざんか保育所】

〔施設所管課：保育課〕

小分類	保育所	所在地	寿町15番6号										
建築年（主たる施設）	昭和49年（1974年）	総延床面積	978㎡										
更新年（建築後60年）	令和16年（2034年）	更新費	322,740,000円										
施設概要	<p>保育を必要とする乳児・幼児を日々保護者の下から通わせて保育を行うことを目的とする。</p> <p>児童福祉法第39条の規定に基づき、保育を必要とする子どもの保育を行い、その健全な心身の発達を図る。</p> <p>また、家庭や地域の様々な社会資源との連携を図りながら、入所する子どもの保護者に対する支援及び地域の子育て家庭に対する支援等を行う役割を担う。</p>	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○市立保育所は、「市立保育所民営化方針（平成16年8月）」に基づき、各コミュニティセンターエリアに1箇所設置しており、本保育所は、西北エリアに位置する。</p> <p>○近隣施設として、西北コミュニティセンター、北小学校、田井小学校、第三中学校、友呂岐中学校がある。</p> <p>○平成27年度から28年度にかけて耐震工事を実施し、Is値0.6以上は確保している。</p> <p>○入所児童数は146人である。（令和2年4月1日時点）</p> <p>○待機児童ZEROプランRを推進する中、保育ニーズは高い水準にある。</p>											
	課題	<p>○耐震補強工事は完了しているが、建築年が相当古く、施設全体の老朽化が進んでおり、施設の老朽化対策及び長寿命化対策が必要である。</p> <p>○建設時に国及び府の補助金が充当されており、売却時に返還する必要がある</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>現在、市立保育所と民間保育所がともに連携しながら保育水準の維持向上に努めているところであるが、要保護児童の対応などについては、市立保育所の果たす役割が大きく、保育におけるセーフティーネット機能として不可欠な施設であることから、現在のところ現状維持が必要である。</p> <p>入所児童数が年間で最大となる3月（令和2年）においては、定員150人、児童数154人、充足率102.7%となっているが、今後については、将来的な入所児童数の見込みや国における幼児教育無償化の影響等を踏まえ、幼児教育・就学前教育を担う施設全体で総合的に検討する。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(6) 子育て支援施設

施設名：【コスモス保育所】

〔施設所管課：保育課〕

小分類	保育所	所在地	長栄寺町22番13号										
建築年（主たる施設）	昭和50年（1975年）	総延床面積	607㎡										
更新年（建築後60年）	令和17年（2035年）	更新費	200,310,000円										
施設概要	<p>保育を必要とする乳児・幼児を日々保護者の下から通わせて保育を行うことを目的とする。</p> <p>児童福祉法第39条の規定に基づき、保育を必要とする子どもの保育を行い、その健全な心身の発達を図る。</p> <p>また、家庭や地域の様々な社会資源との連携を図りながら、入所する子どもの保護者に対する支援及び地域の子育て家庭に対する支援等を行う役割を担う。</p>	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○市立保育所は、「市立保育所民営化方針（平成16年8月）」に基づき、各コミュニティセンターエリアに1箇所設置しており、本保育所は、西エリアに位置する。</p> <p>○近隣施設として、西小学校、第二中学校、保健福祉センターがある。</p> <p>○平成27年度から28年度にかけて耐震工事を実施し、Is値0.6以上は確保している。</p> <p>○入所児童数は96人である。（令和2年4月1日時点）</p> <p>○待機児童ZEROプランRを推進する中、保育ニーズは高い水準にある。</p>											
	課題	<p>○耐震補強工事は完了しているが、建築年が相当古く、施設全体の老朽化が進んでおり、施設の老朽化対策及び長寿命化対策が必要である。</p> <p>○建設時に国及び府の補助金が充当されており、売却時に返還する必要がある。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：A											
	二次評価	維持											
	<p>現在、市立保育所と民間保育所がともに連携しながら保育水準の維持向上に努めているところであるが、要保護児童の対応などについては、市立保育所の果たす役割が大きく、保育におけるセーフティーネット機能として不可欠な施設であることから、現在のところ現状維持が必要である。</p> <p>入所児童数が年間で最大となる3月（令和2年）においては、定員90人、児童数98人、充足率108.9%となっているが、今後については、将来的な入所児童数の見込みや国における幼児教育無償化の影響等を踏まえ、幼児教育・就学前教育を担う施設全体で総合的に検討する。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(6) 子育て支援施設

施設名：【あざみ保育所】

〔施設所管課：保育課〕

小分類	保育所	所在地	下木田町16番53号										
建築年（主たる施設）	昭和54年（1979年）	総延床面積	1,092㎡										
更新年（建築後60年）	令和21年（2039年）	更新費	360,360,000円										
施設概要	<p>保育を必要とする乳児・幼児を日々保護者の下から通わせて保育を行うことを目的とする。</p> <p>児童福祉法第39条の規定に基づき、保育を必要とする子どもの保育を行い、その健全な心身の発達を図る。</p> <p>また、家庭や地域の様々な社会資源との連携を図りながら、入所する子どもの保護者に対する支援及び地域の子育て家庭に対する支援等を行う役割を担う。</p>	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○市立保育所は、「市立保育所民営化方針（平成16年8月）」に基づき、各コミュニティセンターエリアに1箇所設置しており、本保育所は、南エリアに位置する。</p> <p>○近隣施設として、南コミュニケーションセンター、市民体育館、南小学校、木田小学校、第七中学校、南幼稚園がある。</p> <p>○平成22年度に耐震工事を実施し、Is値0.6以上は確保しているが、大規模修繕工事は未実施である。</p> <p>○入所児童数は107人である。（令和2年4月1日時点）</p> <p>○待機児童ZEROプランRを推進する中、保育ニーズは高い水準にある。</p>											
	課題	<p>○耐震補強工事は完了しているが、建築年が相当古く、施設全体の老朽化が進んでおり、施設の老朽化対策及び長寿命化対策が必要である。</p> <p>○建設時に国及び府の補助金が充当されており、売却時に返還する必要がある</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>現在、市立保育所と民間保育所がともに連携しながら保育水準の維持向上に努めているところであるが、要保護児童の対応などについては、市立保育所の果たす役割が大きく、保育におけるセーフティーネット機能として不可欠な施設であることから、現在のところ現状維持が必要である。</p> <p>入所児童数が年間で最大となる3月（令和2年）においては、定員120人、児童数118人、充足率98.3%となっているが、今後については、将来的な入所児童数の見込みや国における幼児教育無償化の影響等を踏まえ、幼児教育・就学前教育を担う施設全体で総合的に検討する必要がある。</p>												
<table border="1"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(6) 子育て支援施設

施設名：【北幼稚園】

〔施設所管課：施設給食課〕

小分類	幼稚園	所在地	寿町57番3号										
建築年（主たる施設）	平成8年（1996年）	総延床面積	995㎡										
更新年（建築後60年）	令和38年（2056年）	更新費	328,350,000円										
施設概要	幼稚園として使用している。	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○近隣施設として、西北コミュニティセンター、北小学校、友呂岐中学校、さざんか保育所がある。</p> <p>○新耐震基準である。</p> <p>○令和2年5月1日現在で52人の園児が在籍している。</p>											
	課題	<p>○平成8年建築（新耐震基準）であるが、屋上や外壁等の経年劣化が認められる。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：A ソフト：A											
	二次評価	維持											
	<p>幼稚園の機能としては、現状のまま存続する。</p> <p>建物については、今後、屋上防水工事や外壁工事など、長寿命化対策に取り組んでいく。</p> <p>今後については、将来的な入園児数の見込みや国における幼児教育無償化の影響等を踏まえ、幼児教育・就学前教育を担う施設全体で総合的に検討する。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(6) 子育て支援施設

施設名：【中央幼稚園】

〔施設所管課：施設給食課〕

小分類	幼稚園	所在地	初町19番1号										
建築年（主たる施設）	昭和43年（1968年）	総延床面積	644㎡										
更新年（建築後60年）	令和10年（2028年）	更新費	212,520,000円										
施設概要	幼稚園として使用している。	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○近隣施設としてアルカスホール、東コミュニティセンター、市民会館、中央小学校、第一中学校、上下水道局がある。</p> <p>○平成26年度に耐震工事が完了し、I s 値0.7以上は確保している。</p> <p>○令和2年5月1日現在で31人の園児が在籍している。</p>											
	課題	<p>○耐震補強工事と併せて改修は行っているが、必要最低限の改修であり、屋上や外壁等には経年劣化が認められる。</p> <p>○平成26年度に大規模改造（補強）を行っており、国の補助金を活用した施設のため原則として用途の変更ができない。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：C ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>幼稚園の機能としては、現状のまま存続する。</p> <p>建物については、今後、屋上防水工事や外壁工事など、長寿命化対策に取り組んでいく。</p> <p>今後については、将来的な入園児数の見込みや国における幼児教育無償化の影響等を踏まえ、幼児教育・就学前教育を担う施設全体で総合的に検討する。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(6) 子育て支援施設

施設名：【南幼稚園】

〔施設所管課：施設給食課〕

小分類	幼稚園	所在地	下木田町6番1号										
建築年（主たる施設）	昭和44年（1969年）	総延床面積	673㎡										
更新年（建築後60年）	令和11年（2029年）	更新費	222,090,000円										
施設概要	幼稚園として使用している。	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○近隣施設として、南コミュニティセンター、市民体育館、南小学校、木田小学校、あざみ保育所がある。</p> <p>○平成26年度に耐震工事が完了し、I s 値0.7以上は確保している。</p> <p>○令和2年5月1日現在で11人の園児が在籍している。</p>											
	課題	<p>○耐震補強工事と併せて改修は行っているが、必要最低限の改修であり、屋上や外壁等には経年劣化が認められる。</p> <p>○平成26年度に耐震補強事業（園舎）を行っており、国の補助金を活用した施設のため原則として用途の変更ができない。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：B	ソフト：C										
	二次評価	維持											
	<p>幼稚園の機能としては、現状のまま存続する。</p> <p>建物については、今後、屋上防水工事や外壁工事など、長寿命化対策に取り組んでいく。</p> <p>今後については、将来的な入園児数の見込みや国における幼児教育無償化の影響等を踏まえ、幼児教育・就学前教育を担う施設全体で総合的に検討する。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(6) 子育て支援施設

施設名：【啓明幼稚園】

〔施設所管課：施設給食課〕

小分類	幼稚園	所在地	高柳六丁目18番1号										
建築年（主たる施設）	昭和51年（1976年）	総延床面積	948㎡										
更新年（建築後60年）	令和18年（2036年）	更新費	312,840,000円										
施設概要	幼稚園として使用している。	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○令和2年5月1日現在で25人の園児が在籍している。</p> <p>○平成26年度に耐震工事が完了し、I s 値0.7以上は確保している。</p> <p>○近隣施設として啓明小学校、第九中学校、さくら保育所がある。</p>											
	課題	<p>○耐震補強工事と併せて改修は行っているが、必要最低限の改修であり、屋上や外壁等には経年劣化が認められる。</p> <p>○平成26年度に大規模改造（補強）及び(特)耐震補強を行っており、国の補助金を活用した施設のため原則として用途の変更ができない。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：B	ソフト：A										
	二次評価	維持											
	<p>幼稚園の機能としては、現状のまま存続する。</p> <p>建物については、今後、屋上防水工事や外壁工事など、長寿命化対策に取り組んでいく。</p> <p>今後については、将来的な入園児数の見込みや国における幼児教育無償化の影響等を踏まえ、幼児教育・就学前教育を担う施設全体で総合的に検討する。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(6) 子育て支援施設

施設名：【こどもセンター】

〔施設所管課：子育て支援課〕

小分類	幼児・児童施設	所在地	八坂町28番13号		
建築年（主たる施設）	昭和48年（1973年）	総延床面積	890㎡		
更新年（建築後60年）	令和15年（2033年）	更新費	293,700,000円		
施設概要	昭和48年に保健センターとして建築され、平成13年11月に改修を行い「こどもセンター」として開所。子育て支援の充実を図り、関係機関・団体との連携を進めるなど、地域における子育て支援を推進する施設	偏差値			
配置・機能	現状	<p>○近隣施設として、アルカスホール、産業振興センター、消費生活センター、駅前図書館、中央小学校、保健所、ねやがわシティ・ステーションがある。</p> <p>○平成21年度に耐震診断を実施し、I S値0.8以上は確保している。</p> <p>○各中学校区にある地域子育て支援拠点(12か所)のうち、第一中学校区の拠点として、孤立から生じる子育ての不安等を解消するため、交流の場の提供、子育ての相談対応等を行っている。</p> <p>○支援拠点全体の中心として、各拠点、関係機関等との相互連携の促進など、地域における子育て支援を推進している。</p> <p>○平成28年度から施設の一部を青少年の健全育成の場（ハピネス）として活用し、施設の有効利用を進めている。</p> <p>○平成31年4月から、青少年の居場所条例の施行により、施設の一部を青少年課に移管</p>			
	課題	<p>○子育ての不安等を解消するため、地域の子育て支援を担う「こどもセンター」と親子が笑顔でリフレッシュできる事業を展開する「子育てリフレッシュ館」が、それぞれの特性をいかした連携を図り、子育て支援を総合的に推進する必要がある。</p>			
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：B			
	二次評価	維持(検討)			
		<p>こどもセンターは、第一中学校区の拠点として、子育てリフレッシュ館の開館により施設の利用目的の選択肢が広がった現在でも、5万人を超える子育て家庭に利用されている。引き続き、利用状況、推移を適切に把握するとともに、市内12か所に設置する地域子育て支援拠点の中核施設として、子育ての不安等の解消につながる取組の実施や、各拠点・関係機関等との相互連携を促進を図る。</p> <p>また、施設は維持とするが、子育て支援機能については利用者の利便性向上及び機能充実の在り方を検討する。</p>			
	更新	長寿命化	集約化	廃止	その他
		○			○

(6) 子育て支援施設

施設名：【子育てリフレッシュ館】

〔施設所管課：子育てリフレッシュ館〕

小分類	幼児・児童施設	所在地	錦町8番13号										
建築年（主たる施設）	平成30年（2018年）	総延床面積	1,660㎡										
更新年（建築後60年）	令和60年（2078年）	更新費	547,800,000円										
施設概要	<p>子育て支援に関する事業及び子どもや保護者のリフレッシュに資する事業を総合的に推進するため、遊びスペースの設置や一時預かり事業の実施、子育て世代包括支援センターを併設した施設。</p> <p>また、大規模災害時には、避難所生活が長期化した場合に、館を災害時の母子支援等の拠点として活用する。</p>	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○近隣施設として、エスポアール、駅前図書館、産業振興センター、成美小学校、ねやがわシティ・ステーション</p> <p>○新耐震基準に基づく建物である。</p> <p>○子育て総合支援拠点として、平成30年7月21日に開館</p> <p>○府内初の子育て総合支援拠点として、一時預かり事業、遊びスペースの提供、リフレッシュ講座等を実施し、令和2年3月末時点で館全体で市内外から約10万人が利用している。</p>											
	課題	<p>○子どもや保護者のリフレッシュ等を図ることを目的とする「子育てリフレッシュ館」と子育ての不安等を解消することを目的とする「こどもセンター」が、それぞれの特性をいかした連携を図り、子育て支援を総合的に推進する必要がある。</p> <p>○国の補助金を活用した施設のため原則として用途の変更ができない。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：A ソフト：C											
	二次評価	維持											
		<p>平成30年7月に開館して以降、令和2年3月末時点の延べ利用者数は、館全体で延べ97,505人となっており、市内外から多くの人利用されている。</p> <p>今後の利用状況、推移を適切に把握するとともに、地域子育て支援拠点等で把握した子育て世代のニーズを的確に事業へ反映することで、親子がリフレッシュできる事業を積極的に展開する。</p> <p>また、こどもセンターを始め、地域の子育て支援拠点と連携した子育て支援施策を総合的に推進する必要不可欠な施設であるため、継続して維持管理を行っていく。</p>											
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(6) 子育て支援施設

施設名：【東小学校留守家庭児童会】

〔施設所管課：青少年課〕

小分類	留守家庭児童会		所在地	太秦元町2番1号										
建築年（主たる施設）	昭和49年（1974年）		総延床面積	132㎡										
更新年（建築後60年）	令和16年（2034年）		更新費	43,560,000円										
施設概要	<p>保護者が就労などにより昼間家庭にいない小学校に就学している児童に、学校の放課後及び長期休業日等に適切な遊びや生活の場を提供することにより、児童の健全な育成を図ること。</p>		偏差値											
配置・機能	現状	<p>○近隣施設として、東コミュニティセンター、市民会館、第一中学校、太秦高齢者福祉センターがある。</p> <p>○小学校と協議の上、教室等を確保し、子どもが安全に安心して過ごすことのできる、生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画を確保しており、衛生や安全が確保された施設及び設備等を備えている。</p>												
	課題	<p>○「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準平成26年厚生労働省令第63号」などの運営指針の基づく、専用区画の確保や設備等の充実に努める。</p>												
今後の方向性	一次評価	ハード：複合施設 ソフト：B												
	二次評価	維持												
	<p>放課後児童健全育成事業の設備等については、「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準平成26年厚生労働省令第63号」、「放課後児童クラブ運営指針（厚生労働省2015年3月31日）」、「寝屋川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例（条例第19号、平成26年9月30日）」に基づき、子どもが安全に安心して過ごすことのできる、生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画を確保するとともに、衛生や安全が確保された施設及び設備等を備えたものとする。</p>													
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>					更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他										
				○										

(6) 子育て支援施設

施設名：【西小学校留守家庭児童会】

〔施設所管課：青少年課〕

小分類	留守家庭児童会		所在地	高柳三丁目1番27号										
建築年（主たる施設）	平成17年（2005年）		総延床面積	66㎡										
更新年（建築後60年）	令和47年（2065年）		更新費	21,780,000円										
施設概要	<p>保護者が就労などにより昼間家庭にいない小学校に就学している児童に、学校の放課後及び長期休業日等に適切な遊びや生活の場を提供することにより、児童の健全な育成を図ること。</p>		偏差値											
配置・機能	現状	<p>○近隣施設として、第九中学校、コスモス保育所がある。 ○新耐震基準に基づく建物である。 ○小学校と協議の上、教室等を確保し、子どもが安全に安心して過ごすことのできる、生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画を確保しており、衛生や安全が確保された施設及び設備等を備えている。</p>												
	課題	<p>○「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準平成26年厚生労働省令第63号」などの運営指針の基づく、専用区画の確保や設備等の充実に努める。</p>												
今後の方向性	一次評価	ハード：A ソフト：B												
	二次評価	維持												
	<p>放課後児童健全育成事業の設備等については、「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準平成26年厚生労働省令第63号」、「放課後児童クラブ運営指針（厚生労働省2015年3月31日）」、「寝屋川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例（条例第19号、平成26年9月30日）」に基づき、子どもが安全に安心して過ごすことのできる、生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画を確保するとともに、衛生や安全が確保された施設及び設備等を備えたものとする。なお、入会児童数の状況を踏まえ、単独棟更新時には、学校施設の利用等も検討に加える。</p>													
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他										
	○													

(6) 子育て支援施設

施設名：【南小学校留守家庭児童会】

〔施設所管課：青少年課〕

小分類	留守家庭児童会		所在地	下木田町16番15号											
建築年（主たる施設）	昭和47年（1972年）		総延床面積	126㎡											
更新年（建築後60年）	令和14年（2032年）		更新費	41,580,000円											
施設概要	保護者が就労などにより昼間家庭にいない小学校に就学している児童に、学校の放課後及び長期休業日等に適切な遊びや生活の場を提供することにより、児童の健全な育成を図ること。		偏差値												
配置・機能	現状	<p>○近隣に南コミュニティセンター、市民体育館、木田小学校、第七中学校、あざみ保育所がある。</p> <p>○小学校と協議の上、教室等を確保し、子どもが安全に安心して過ごすことのできる、生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画を確保しており、衛生や安全が確保された施設及び設備等を備えている。</p>													
	課題	<p>○「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準平成26年厚生労働省令第63号」などの運営指針の基づく、専用区画の確保や設備等の充実に努める。</p>													
今後の方向性	一次評価	ハード：複合施設 ソフト：A													
	二次評価	維持													
	<p>放課後児童健全育成事業の設備等については、「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準平成26年厚生労働省令第63号」、「放課後児童クラブ運営指針（厚生労働省2015年3月31日）」、「寝屋川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例（条例第19号、平成26年9月30日）」に基づき、子どもが安全に安心して過ごすことのできる、生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画を確保するとともに、衛生や安全が確保された施設及び設備等を備えたものとする。</p>														
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>						更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他											
				○											

(6) 子育て支援施設

施設名：【北小学校留守家庭児童会】

〔施設所管課：青少年課〕

小分類	留守家庭児童会		所在地	寿町57番29号										
建築年（主たる施設）	昭和53年（1978年）		総延床面積	131㎡										
更新年（建築後60年）	令和20年（2038年）		更新費	43,230,000円										
施設概要	<p>保護者が就労などにより昼間家庭にいない小学校に就学している児童に、学校の放課後及び長期休業日等に適切な遊びや生活の場を提供することにより、児童の健全な育成を図ること。</p>		偏差値											
配置・機能	現状	<p>○近隣施設として、西北コミュニティセンター、友呂岐中学校、さざんか保育所がある。 ○小学校と協議の上、教室等を確保し、子どもが安全に安心して過ごすことのできる、生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画を確保しており、衛生や安全が確保された施設及び設備等を備えている。</p>												
	課題	<p>○「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準平成26年厚生労働省令第63号）」などの運営指針の基づく、専用区画の確保や設備等の充実に努める。</p>												
今後の方向性	一次評価	ハード：複合施設 ソフト：B												
	二次評価	維持												
	<p>放課後児童健全育成事業の設備等については、「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準平成26年厚生労働省令第63号）」、「放課後児童クラブ運営指針（厚生労働省2015年3月31日）」、「寝屋川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例（条例第19号、平成26年9月30日）」に基づき、子どもが安全に安心して過ごすことのできる、生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画を確保するとともに、衛生や安全が確保された施設及び設備等を備えたものとする。</p>													
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>					更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他										
				○										

(6) 子育て支援施設

施設名：【第五小学校留守家庭児童会】

〔施設所管課：青少年課〕

小分類	留守家庭児童会		所在地	成田西町2番3号										
建築年（主たる施設）	平成13年（2001年）		総延床面積	186㎡										
更新年（建築後60年）	令和43年（2061年）		更新費	61,380,000円										
施設概要	<p>保護者が就労などにより昼間家庭にいない小学校に就学している児童に、学校の放課後及び長期休業日等に適切な遊びや生活の場を提供することにより、児童の健全な育成を図ること。</p>		偏差値											
配置・機能	現状	<p>○近隣施設として、東北コミュニティセンター、第六中学校、中央高齢者福祉センターある。 ○新耐震基準に基づく建物である。 ○小学校と協議の上、教室等を確保し、子どもが安全に安心して過ごすことのできる、生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画を確保しており、衛生や安全が確保された施設及び設備等を備えている。</p>												
	課題	<p>○「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準平成26年厚生労働省令第63号」などの運営指針の基づく、専用区画の確保や設備等の充実に努める。 ○衛生機能の充実に努める。</p>												
今後の方向性	一次評価	ハード：A ソフト：A												
	二次評価	維持												
	<p>放課後児童健全育成事業の設備等については、「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準平成26年厚生労働省令第63号」、「放課後児童クラブ運営指針（厚生労働省2015年3月31日）」、「寝屋川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例（条例第19号、平成26年9月30日）」に基づき、子どもが安全に安心して過ごすことのできる、生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画を確保するとともに、衛生や安全が確保された施設及び設備等を備えたものとする。なお、入会児童数の状況を踏まえ、単独棟更新時には、学校施設の利用等も検討に加える。</p>													
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他										
	○													

(6) 子育て支援施設

施設名：【成美小学校留守家庭児童会】

〔施設所管課：青少年課〕

小分類	留守家庭児童会		所在地	錦町23番45号										
建築年（主たる施設）	昭和35年（1960年）		総延床面積	86㎡										
更新年（建築後60年）	令和2年（2020年）		更新費	28,380,000円										
施設概要	<p>保護者が就労などにより昼間家庭にいない小学校に就学している児童に、学校の放課後及び長期休業日等に適切な遊びや生活の場を提供することにより、児童の健全な育成を図ること。</p>		偏差値											
配置・機能	現状	<p>○近隣施設として、西南コミュニティセンター、エスポール、子育てリフレッシュ館がある。</p> <p>○小学校と協議の上、教室等を確保し、子どもが安全に安心して過ごすことのできる、生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画を確保しており、衛生や安全が確保された施設及び設備等を備えている。</p>												
	課題	<p>○「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準平成26年厚生労働省令第63号）」などの運営指針の基づく、専用区画の確保や設備等の充実に努める。</p> <p>○衛生機能の充実に努める。</p>												
今後の方向性	一次評価	ハード：複合施設 ソフト：B												
	二次評価	維持												
	<p>放課後児童健全育成事業の設備等については、「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準平成26年厚生労働省令第63号）」、「放課後児童クラブ運営指針（厚生労働省2015年3月31日）」、「寝屋川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例（条例第19号、平成26年9月30日）」に基づき、子どもが安全に安心して過ごすことのできる、生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画を確保するとともに、衛生や安全が確保された施設及び設備等を備えたものとする。</p>													
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>					更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他										
				○										

(6) 子育て支援施設

施設名：【明和小学校留守家庭児童会】

〔施設所管課：青少年課〕

小分類	留守家庭児童会	所在地	打上高塚町4番1号										
建築年（主たる施設）	昭和48年（1973年）	総延床面積	63㎡										
更新年（建築後60年）	令和15年（2033年）	更新費	20,790,000円										
施設概要	保護者が就労などにより昼間家庭にいない小学校に就学している児童に、学校の放課後及び長期休業日等に適切な遊びや生活の場を提供することにより、児童の健全な育成を図ること。	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○近隣施設として、自転車の駅、第四中学校、東シティ・ステーションがある。</p> <p>○小学校と協議の上、教室等を確保し、子どもが安全に安心して過ごすことのできる、生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画を確保しており、衛生や安全が確保された施設及び設備等を備えている。</p>											
	課題	<p>○「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準平成26年厚生労働省令第63号）」などの運営指針の基づく、専用区画の確保や設備等の充実に努める。</p> <p>ただし、平成34年4月「小中一貫型小・中学校」の開校とあわせて新校舎に移行する。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：複合施設 ソフト：B											
	二次評価	集約化（受入）											
	<p>放課後児童健全育成事業の設備等については、「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準平成26年厚生労働省令第63号）」、「放課後児童クラブ運営指針（厚生労働省2015年3月31日）」、「寝屋川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例（条例第19号、平成26年9月30日）」に基づき、子どもが安全に安心して過ごすことのできる、生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画を確保するとともに、衛生や安全が確保された施設及び設備等を備えたものとする。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他			○		
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
		○											

(6) 子育て支援施設

施設名：【池田小学校留守家庭児童会】

〔施設所管課：青少年課〕

小分類	留守家庭児童会	所在地	池田2丁目1番7号										
建築年（主たる施設）	昭和41年（1966年）	総延床面積	130㎡										
更新年（建築後60年）	令和8年（2026年）	更新費	42,900,000円										
施設概要	保護者が就労などにより昼間家庭にいない小学校に就学している児童に、学校の放課後及び長期休業日等に適切な遊びや生活の場を提供することにより、児童の健全な育成を図ること。	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○近隣施設として、桜小学校、石津小学校がある。</p> <p>○小学校と協議の上、教室等を確保し、子どもが安全に安心して過ごすことのできる、生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画を確保しており、衛生や安全が確保された施設及び設備等を備えている。</p>											
	課題	<p>○「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準平成26年厚生労働省令第63号」などの運営指針の基づく、専用区画の確保や設備等の充実に努める。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：複合施設 ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>放課後児童健全育成事業の設備等については、「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準平成26年厚生労働省令第63号」、「放課後児童クラブ運営指針（厚生労働省2015年3月31日）」、「寝屋川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例（条例第19号、平成26年9月30日）」に基づき、子どもが安全に安心して過ごすことのできる、生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画を確保するとともに、衛生や安全が確保された施設及び設備等を備えたものとする。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
				○									

(6) 子育て支援施設

施設名：【中央小学校留守家庭児童会】

〔施設所管課：青少年課〕

小分類	留守家庭児童会		所在地	初町1番25号										
建築年（主たる施設）	昭和48年（1973年）		総延床面積	135㎡										
更新年（建築後60年）	令和15年（2033年）		更新費	44,550,000円										
施設概要	<p>保護者が就労などにより昼間家庭にいない小学校に就学している児童に、学校の放課後及び長期休業日等に適切な遊びや生活の場を提供することにより、児童の健全な育成を図ること。</p>		偏差値											
配置・機能	現状	<p>○近隣施設として、アルカスホール、駅前図書館、中央用幼稚園、寝屋川市役所、上下水道局がある。</p> <p>○小学校と協議の上、教室等を確保し、子どもが安全に安心して過ごすことのできる、生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画を確保しており、衛生や安全が確保された施設及び設備等を備えている。</p>												
	課題	<p>○「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準平成26年厚生労働省令第63号）」などの運営指針の基づく、専用区画の確保や設備等の充実に努める。</p>												
今後の方向性	一次評価	ハード：複合施設 ソフト：A												
	二次評価	維持												
	<p>放課後児童健全育成事業の設備等については、「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準平成26年厚生労働省令第63号）」、「放課後児童クラブ運営指針（厚生労働省2015年3月31日）」、「寝屋川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例（条例第19号、平成26年9月30日）」に基づき、子どもが安全に安心して過ごすことのできる、生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画を確保するとともに、衛生や安全が確保された施設及び設備等を備えたものとする。</p>													
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>					更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他										
				○										

(6) 子育て支援施設

施設名：【啓明小学校留守家庭児童会】

〔施設所管課：青少年課〕

小分類	留守家庭児童会		所在地	高柳六丁目3番1号										
建築年（主たる施設）	昭和42年（1967年）		総延床面積	69㎡										
更新年（建築後60年）	令和9年（2027年）		更新費	22,770,000円										
施設概要	保護者が就労などにより昼間家庭にいない小学校に就学している児童に、学校の放課後及び長期休業日等に適切な遊びや生活の場を提供することにより、児童の健全な育成を図ること。		偏差値											
配置・機能	現状	<p>○近隣施設として、和光小学校、第九中学校、さくら保育所、啓明幼稚園がある。</p> <p>○小学校と協議の上、教室等を確保し、子どもが安全に安心して過ごすことのできる、生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画を確保しており、衛生や安全が確保された施設及び設備等を備えている。</p>												
	課題	<p>○「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準平成26年厚生労働省令第63号」などの運営指針の基づく、専用区画の確保や設備等の充実に努める。</p>												
今後の方向性	一次評価	ハード：複合施設 ソフト：C												
	二次評価	維持												
	<p>放課後児童健全育成事業の設備等については、「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準平成26年厚生労働省令第63号」、「放課後児童クラブ運営指針（厚生労働省2015年3月31日）」、「寝屋川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例（条例第19号、平成26年9月30日）」に基づき、子どもが安全に安心して過ごすことのできる、生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画を確保するとともに、衛生や安全が確保された施設及び設備等を備えたものとする。</p>													
<table border="1"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>					更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他										
				○										

(6) 子育て支援施設

施設名：【三井小学校留守家庭児童会】

〔施設所管課：青少年課〕

小分類	留守家庭児童会	所在地	三井が丘三丁目7番3号										
建築年（主たる施設）	昭和44年（1969年）	総延床面積	131㎡										
更新年（建築後60年）	令和11年（2029年）	更新費	43,230,000円										
施設概要	保護者が就労などにより昼間家庭にいない小学校に就学している児童に、学校の放課後及び長期休業日等に適切な遊びや生活の場を提供することにより、児童の健全な育成を図ること。	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○近隣施設として、寝屋川斎場、第十中学校、さつき保育所がある。</p> <p>○小学校と協議の上、教室等を確保し、子どもが安全に安心して過ごすことのできる、生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画を確保しており、衛生や安全が確保された施設及び設備等を備えている。</p>											
	課題	<p>○「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準平成26年厚生労働省令第63号」などの運営指針の基づく、専用区画の確保や設備等の充実に努める。</p> <p>○衛生機能の充実に努める。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：複合施設 ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>放課後児童健全育成事業の設備等については、「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準平成26年厚生労働省令第63号」、「放課後児童クラブ運営指針（厚生労働省2015年3月31日）」、「寝屋川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例（条例第19号、平成26年9月30日）」に基づき、子どもが安全に安心して過ごすことのできる、生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画を確保するとともに、衛生や安全が確保された施設及び設備等を備えたものとする。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
				○									

(6) 子育て支援施設

施設名：【木屋小学校留守家庭児童会】

〔施設所管課：青少年課〕

小分類	留守家庭児童会	所在地	豊里町19番22号										
建築年（主たる施設）	昭和44年（1969年）	総延床面積	64㎡										
更新年（建築後60年）	令和11年（2029年）	更新費	21,120,000円										
施設概要	保護者が就労などにより昼間家庭にいない小学校に就学している児童に、学校の放課後及び長期休業日等に適切な遊びや生活の場を提供することにより、児童の健全な育成を図ること。	偏差値											
配置・機能	現状	○小学校と協議の上、教室等を確保し、子どもが安全に安心して過ごすことのできる、生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画を確保しており、衛生や安全が確保された施設及び設備等を備えている。											
	課題	○「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準平成26年厚生労働省令第63号」などの運営指針の基づく、専用区画の確保や設備等の充実に努める。											
今後の方向性	一次評価	ハード：複合施設 ソフト：B											
	二次評価	維持											
	放課後児童健全育成事業の設備等については、「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準平成26年厚生労働省令第63号」、「放課後児童クラブ運営指針（厚生労働省2015年3月31日）」、「寝屋川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例（条例第19号、平成26年9月30日）」に基づき、子どもが安全に安心して過ごすことのできる、生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画を確保するとともに、衛生や安全が確保された施設及び設備等を備えたものとする。												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
				○									

(6) 子育て支援施設

施設名：【木田小学校留守家庭児童会】

〔施設所管課：青少年課〕

小分類	留守家庭児童会		所在地	木田元宮一丁目17番1号										
建築年（主たる施設）	平成6年（1994年）		総延床面積	99㎡										
更新年（建築後60年）	令和36年（2054年）		更新費	32,670,000円										
施設概要	<p>保護者が就労などにより昼間家庭にいない小学校に就学している児童に、学校の放課後及び長期休業日等に適切な遊びや生活の場を提供することにより、児童の健全な育成を図ること。</p>		偏差値											
配置・機能	現状	<p>○近隣施設として、南コミュニティセンター、市民体育館、南小学校、中木田中学校、あざみ保育所、南幼稚園がある。</p> <p>○新耐震基準に基づく建物である。</p> <p>○小学校と協議の上、教室等を確認し、子どもが安全に安心して過ごすことのできる、生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画を確保しており、衛生や安全が確保された施設及び設備等を備えている。</p>												
	課題	<p>○「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準平成26年厚生労働省令第63号」などの運営指針の基づく、専用区画の確保や設備等の充実に努める。</p>												
今後の方向性	一次評価	ハード：A ソフト：B												
	二次評価	維持												
	<p>放課後児童健全育成事業の設備等については、「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準平成26年厚生労働省令第63号」 、「放課後児童クラブ運営指針（厚生労働省2015年3月31日）」、「寝屋川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例（条例第19号、平成26年9月30日）」に基づき、子どもが安全に安心して過ごすことのできる、生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画を確保するとともに、衛生や安全が確保された施設及び設備等を備えたものとする。なお、入会児童数の状況を踏まえ、単独棟更新時には、学校施設の利用等も検討に加える。</p>													
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他										
	○													

(6) 子育て支援施設

施設名：【神田小学校留守家庭児童会】

〔施設所管課：青少年課〕

小分類	留守家庭児童会	所在地	東神田町27番1号										
建築年（主たる施設）	昭和44年（1969年）	総延床面積	64㎡										
更新年（建築後60年）	令和11年（2029年）	更新費	21,120,000円										
施設概要	保護者が就労などにより昼間家庭にいない小学校に就学している児童に、学校の放課後及び長期休業日等に適切な遊びや生活の場を提供することにより、児童の健全な育成を図ること。	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○近隣施設として、西南コミュニティセンター、神田幼稚園がある。</p> <p>○小学校と協議の上、教室等を確保し、子どもが安全に安心して過ごすことのできる、生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画を確保しており、衛生や安全が確保された施設及び設備等を備えている。</p>											
	課題	<p>○「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準平成26年厚生労働省令第63号」などの運営指針の基づく、専用区画の確保や設備等の充実に努める。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：複合施設 ソフト：A											
	二次評価	維持											
	<p>放課後児童健全育成事業の設備等については、「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準平成26年厚生労働省令第63号」、「放課後児童クラブ運営指針（厚生労働省2015年3月31日）」、「寝屋川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例（条例第19号、平成26年9月30日）」に基づき、子どもが安全に安心して過ごすことのできる、生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画を確保するとともに、衛生や安全が確保された施設及び設備等を備えたものとする。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
				○									

(6) 子育て支援施設

施設名：【堀溝小学校留守家庭児童会】

〔施設所管課：青少年課〕

小分類	留守家庭児童会		所在地	堀溝三丁目10番8号											
建築年（主たる施設）	昭和45年（1970年）		総延床面積	65㎡											
更新年（建築後60年）	令和12年（2030年）		更新費	21,450,000円											
施設概要	保護者が就労などにより昼間家庭にいない小学校に就学している児童に、学校の放課後及び長期休業日等に適切な遊びや生活の場を提供することにより、児童の健全な育成を図ること。		偏差値												
配置・機能	現状	<p>○近隣施設として、南コミュニティセンター分館、堀溝サービス窓口がある。</p> <p>○小学校と協議の上、教室等を確保し、子どもが安全に安心して過ごすことのできる、生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画を確保しており、衛生や安全が確保された施設及び設備等を備えている。</p>													
	課題	<p>○「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準平成26年厚生労働省令第63号）」などの運営指針の基づく、専用区画の確保や設備等の充実に努める。</p> <p>○衛生機能の充実に努める。</p>													
今後の方向性	一次評価	ハード：複合施設 ソフト：C													
	二次評価	維持													
	<p>放課後児童健全育成事業の設備等については、「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準平成26年厚生労働省令第63号）」、「放課後児童クラブ運営指針（厚生労働省2015年3月31日）」、「寝屋川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例（条例第19号、平成26年9月30日）」に基づき、子どもが安全に安心して過ごすことのできる、生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画を確保するとともに、衛生や安全が確保された施設及び設備等を備えたものとする。</p>														
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>						更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他											
				○											

(6) 子育て支援施設

施設名：【田井小学校留守家庭児童会】

〔施設所管課：青少年課〕

小分類	留守家庭児童会	所在地	田井西町9番1号											
建築年（主たる施設）	昭和45年（1970年）	総延床面積	128㎡											
更新年（建築後60年）	令和12年（2030年）	更新費	42,240,000円											
施設概要	保護者が就労などにより昼間家庭にいない小学校に就学している児童に、学校の放課後及び長期休業日等に適切な遊びや生活の場を提供することにより、児童の健全な育成を図ること。	偏差値												
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、第三中学校がある。 ○小学校と協議の上、教室等を確保し、子どもが安全に安心して過ごすことのできる、生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画を確保しており、衛生や安全が確保された施設及び設備等を備えている。 												
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準平成26年厚生労働省令第63号」などの運営指針の基づく、専用区画の確保や設備等の充実に努める。 ○衛生機能の充実に努める。 												
今後の方向性	一次評価	ハード：複合施設 ソフト：B												
	二次評価	維持												
	<p>放課後児童健全育成事業の設備等については、「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準平成26年厚生労働省令第63号」、「放課後児童クラブ運営指針（厚生労働省2015年3月31日）」、「寝屋川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例（条例第19号、平成26年9月30日）」に基づき、子どもが安全に安心して過ごすことのできる、生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画を確保するとともに、衛生や安全が確保された施設及び設備等を備えたものとする。</p>													
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>					更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他										
				○										

(6) 子育て支援施設

施設名：【桜小学校留守家庭児童会】

〔施設所管課：青少年課〕

小分類	留守家庭児童会		所在地	池田新町3番23号											
建築年（主たる施設）	昭和46年（1971年）		総延床面積	126㎡											
更新年（建築後60年）	令和13年（2031年）		更新費	41,580,000円											
施設概要	保護者が就労などにより昼間家庭にいない小学校に就学している児童に、学校の放課後及び長期休業日等に適切な遊びや生活の場を提供することにより、児童の健全な育成を図ること。		偏差値												
配置・機能	現状	<p>○近隣施設として、中央図書館臨時図書室、池田小学校、第三中学校、保健福祉センター、池の里市民交流センターがある。</p> <p>○小学校と協議の上、教室等を確保し、子どもが安全に安心して過ごすことのできる、生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画を確保しており、衛生や安全が確保された施設及び設備等を備えている。</p>													
	課題	<p>○「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準平成26年厚生労働省令第63号）」などの運営指針の基づく、専用区画の確保や設備等の充実に努める。</p> <p>○衛生機能の充実に努める。</p>													
今後の方向性	一次評価	ハード：複合施設 ソフト：B													
	二次評価	維持													
	<p>放課後児童健全育成事業の設備等については、「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準平成26年厚生労働省令第63号）」、「放課後児童クラブ運営指針（厚生労働省2015年3月31日）」、「寝屋川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例（条例第19号、平成26年9月30日）」に基づき、子どもが安全に安心して過ごすことのできる、生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画を確保するとともに、衛生や安全が確保された施設及び設備等を備えたものとする。</p>														
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>						更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他											
				○											

(6) 子育て支援施設

施設名：【点野小学校留守家庭児童会】

〔施設所管課：青少年課〕

小分類	留守家庭児童会		所在地	点野五丁目26番1号											
建築年（主たる施設）	昭和48年（1973年）		総延床面積	126㎡											
更新年（建築後60年）	令和15年（2033年）		更新費	41,580,000円											
施設概要	保護者が就労などにより昼間家庭にいない小学校に就学している児童に、学校の放課後及び長期休業日等に適切な遊びや生活の場を提供することにより、児童の健全な育成を図ること。		偏差値												
配置・機能	現状	<p>○近隣施設として、西コミュニティセンター、第八中学校がある。</p> <p>○小学校と協議の上、教室等を確保し、子どもが安全に安心して過ごすことのできる、生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画を確保しており、衛生や安全が確保された施設及び設備等を備えている。</p>													
	課題	<p>○「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準平成26年厚生労働省令第63号」などの運営指針の基づく、専用区画の確保や設備等の充実に努める。</p>													
今後の方向性	一次評価	ハード：複合施設 ソフト：B													
	二次評価	維持													
	<p>放課後児童健全育成事業の設備等については、「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準平成26年厚生労働省令第63号」、「放課後児童クラブ運営指針（厚生労働省2015年3月31日）」、「寝屋川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例（条例第19号、平成26年9月30日）」に基づき、子どもが安全に安心して過ごすことのできる、生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画を確保するとともに、衛生や安全が確保された施設及び設備等を備えたものとする。</p>														
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>						更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他											
				○											

(6) 子育て支援施設

施設名：【和光小学校留守家庭児童会】

〔施設所管課：青少年課〕

小分類	留守家庭児童会		所在地	黒原橋町30番1号											
建築年（主たる施設）	昭和48年（1973年）		総延床面積	128㎡											
更新年（建築後60年）	令和15年（2033年）		更新費	42,240,000円											
施設概要	保護者が就労などにより昼間家庭にいない小学校に就学している児童に、学校の放課後及び長期休業日等に適切な遊びや生活の場を提供することにより、児童の健全な育成を図ること。		偏差値												
配置・機能	現状	<p>○近隣施設として、啓明小学校がある。</p> <p>○小学校と協議の上、教室等を確保し、子どもが安全に安心して過ごすことのできる、生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画を確保しており、衛生や安全が確保された施設及び設備等を備えている。</p>													
	課題	<p>○「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準平成26年厚生労働省令第63号）」などの運営指針の基づく、専用区画の確保や設備等の充実に努める。</p>													
今後の方向性	一次評価	ハード：複合施設 ソフト：A													
	二次評価	維持													
	<p>放課後児童健全育成事業の設備等については、「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準平成26年厚生労働省令第63号）」、「放課後児童クラブ運営指針（厚生労働省2015年3月31日）」、「寝屋川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例（条例第19号、平成26年9月30日）」に基づき、子どもが安全に安心して過ごすことのできる、生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画を確保するとともに、衛生や安全が確保された施設及び設備等を備えたものとする。</p>														
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>						更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他											
				○											

(6) 子育て支援施設

施設名：【国松緑丘小学校留守家庭児童会】

〔施設所管課：青少年課〕

小分類	留守家庭児童会		所在地	国松町47番1号										
建築年（主たる施設）	平成7年（1995年）		総延床面積	117㎡										
更新年（建築後60年）	令和37年（2055年）		更新費	38,610,000円										
施設概要	<p>保護者が就労などにより昼間家庭にいない小学校に就学している児童に、学校の放課後及び長期休業日等に適切な遊びや生活の場を提供することにより、児童の健全な育成を図ること。</p>		偏差値											
配置・機能	現状	<p>○近隣施設として、さつき保育所がある。 ○新耐震基準に基づく建物である。 ○小学校と協議の上、教室等を確保し、子どもが安全に安心して過ごすことのできる、生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画を確保しており、衛生や安全が確保された施設及び設備等を備えている。</p>												
	課題	<p>○「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準平成26年厚生労働省令第63号」などの運営指針の基づく、専用区画の確保や設備等の充実に努める。 ○衛生機能の充実に努める。</p>												
今後の方向性	一次評価	ハード：A ソフト：C												
	二次評価	維持												
	<p>放課後児童健全育成事業の設備等については、「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準平成26年厚生労働省令第63号」、「放課後児童クラブ運営指針（厚生労働省2015年3月31日）」、「寝屋川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例（条例第19号、平成26年9月30日）」に基づき、子どもが安全に安心して過ごすことのできる、生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画を確保するとともに、衛生や安全が確保された施設及び設備等を備えたものとする。なお、入会児童数の状況を踏まえ、単独棟更新時には、学校施設の利用等も検討に加える。</p>													
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他										
	○													

(6) 子育て支援施設

施設名：【楠根小学校留守家庭児童会】

〔施設所管課：青少年課〕

小分類	留守家庭児童会	所在地	楠根南町21番1号										
建築年（主たる施設）	昭和51年（1976年）	総延床面積	63㎡										
更新年（建築後60年）	令和18年（2036年）	更新費	20,790,000円										
施設概要	保護者が就労などにより昼間家庭にいない小学校に就学している児童に、学校の放課後及び長期休業日等に適切な遊びや生活の場を提供することにより、児童の健全な育成を図ること。	偏差値											
配置・機能	現状	○小学校と協議の上、教室等を確保し、子どもが安全に安心して過ごすことのできる、生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画を確保しており、衛生や安全が確保された施設及び設備等を備えている。											
	課題	○「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準平成26年厚生労働省令第63号」などの運営指針の基づく、専用区画の確保や設備等の充実に努める。											
今後の方向性	一次評価	ハード：複合施設 ソフト：C											
	二次評価	維持											
	放課後児童健全育成事業の設備等については、「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準平成26年厚生労働省令第63号」、「放課後児童クラブ運営指針（厚生労働省2015年3月31日）」、「寝屋川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例（条例第19号、平成26年9月30日）」に基づき、子どもが安全に安心して過ごすことのできる、生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画を確保するとともに、衛生や安全が確保された施設及び設備等を備えたものとする。												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
				○									

(6) 子育て支援施設

施設名：【梅が丘小学校留守家庭児童会】

〔施設所管課：青少年課〕

小分類	留守家庭児童会	所在地	梅が丘二丁目10番1号		
建築年（主たる施設）	昭和52年（1977年）	総延床面積	65㎡		
更新年（建築後60年）	令和19年（2037年）	更新費	21,450,000円		
施設概要	保護者が就労などにより昼間家庭にいない小学校に就学している児童に、学校の放課後及び長期休業日等に適切な遊びや生活の場を提供することにより、児童の健全な育成を図ること。	偏差値			
配置・機能	現状	○小学校と協議の上、教室等を確保し、子どもが安全に安心して過ごすことのできる、生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画を確保しており、衛生や安全が確保された施設及び設備等を備えている。			
	課題	○「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準平成26年厚生労働省令第63号」などの運営指針の基づく、専用区画の確保や設備等の充実に努める。 ただし、平成34年4月「小中一貫型小・中学校」の開校とあわせて新校舎に移行する。			
今後の方向性	一次評価	ハード：複合施設 ソフト：B			
	二次評価	集約化（移転）			
		放課後児童健全育成事業の設備等については、「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準平成26年厚生労働省令第63号」、「放課後児童クラブ運営指針（厚生労働省2015年3月31日）」、「寝屋川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例（条例第19号、平成26年9月30日）」に基づき、子どもが安全に安心して過ごすことのできる、生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画を確保するとともに、衛生や安全が確保された施設及び設備等を備えたものとする。			
	更新	長寿命化	集約化	廃止	その他
			○		

(6) 子育て支援施設

施設名：【宇谷小学校留守家庭児童会】

〔施設所管課：青少年課〕

小分類	留守家庭児童会		所在地	宇谷町8番1号											
建築年（主たる施設）	昭和56年（1981年）		総延床面積	64㎡											
更新年（建築後60年）	令和23年（2041年）		更新費	21,120,000円											
施設概要	保護者が就労などにより昼間家庭にいない小学校に就学している児童に、学校の放課後及び長期休業日等に適切な遊びや生活の場を提供することにより、児童の健全な育成を図ること。		偏差値												
配置・機能	現状	<p>○近隣施設として、さつき保育所、クリーンセンターがある。</p> <p>○小学校と協議の上、教室等を確保し、子どもが安全に安心して過ごすことのできる、生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画を確保しており、衛生や安全が確保された施設及び設備等を備えている。</p>													
	課題	<p>○「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準平成26年厚生労働省令第63号」などの運営指針の基づく、専用区画の確保や設備等の充実に努める。</p>													
今後の方向性	一次評価	ハード：複合施設 ソフト：B													
	二次評価	維持													
	<p>放課後児童健全育成事業の設備等については、「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準平成26年厚生労働省令第63号」、「放課後児童クラブ運営指針（厚生労働省2015年3月31日）」、「寝屋川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例（条例第19号、平成26年9月30日）」に基づき、子どもが安全に安心して過ごすことのできる、生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画を確保するとともに、衛生や安全が確保された施設及び設備等を備えたものとする。</p>														
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>						更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他											
				○											

(6) 子育て支援施設

施設名：【石津小学校留守家庭児童会】

〔施設所管課：青少年課〕

小分類	留守家庭児童会		所在地	石津元町8番1号											
建築年（主たる施設）	平成17年（2005年）		総延床面積	69㎡											
更新年（建築後60年）	令和47年（2065年）		更新費	22,770,000円											
施設概要	<p>保護者が就労などにより昼間家庭にいない小学校に就学している児童に、学校の放課後及び長期休業日等に適切な遊びや生活の場を提供することにより、児童の健全な育成を図ること。</p>		偏差値												
配置・機能	現状	<p>○近隣施設として、池田小学校がある。 ○新耐震基準に基づく建物である。 ○小学校と協議の上、教室等を確保し、子どもが安全に安心して過ごすことのできる、生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画を確保しており、衛生や安全が確保された施設及び設備等を備えている。</p>													
	課題	<p>○「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準平成26年厚生労働省令第63号」などの運営指針の基づく、専用区画の確保や設備等の充実に努める。</p>													
今後の方向性	一次評価	ハード：A ソフト：B													
	二次評価	維持													
	<p>放課後児童健全育成事業の設備等については、「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準平成26年厚生労働省令第63号」、「放課後児童クラブ運営指針（厚生労働省2015年3月31日）」、「寝屋川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例（条例第19号、平成26年9月30日）」に基づき、子どもが安全に安心して過ごすことのできる、生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画を確保するとともに、衛生や安全が確保された施設及び設備等を備えたものとする。なお、入会児童数の状況を踏まえ、単独棟更新時には、学校施設の利用等も検討に加える。</p>														
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他											
	○														

保健・福祉施設

(7) 保健・福祉施設

施設名：【中央高齢者福祉センター】

〔施設所管課：高齢介護室〕

小分類	高齢福祉施設	所在地	成田町3番6号										
建築年（主たる施設）	昭和45年（1970年）	総延床面積	1,301㎡										
更新年（建築後60年）	令和12年（2030年）	更新費	520,400,000円										
施設概要	高齢者に対して各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与するために運営。各室使用承認事務、各種健康講座等を実施。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、東北コミュニティセンター、第五小学校、第六中学校、第十中学校がある。 ○平成18年から指定管理者制度を導入している。 ○平成21年度に耐震診断を実施し、旧館・新館ともにIs値0.6以上は確保している。 ○新館は昭和50年に建設され、旧館は昭和45年に建設されている。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○老朽化により交換・修理する必要がある設備・備品が多い。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：A											
	二次評価	検討											
	<p>施設が老朽化しているため、より効率的・効果的な運営が行えるよう、複合化も含めて更新について検討を行っていく。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>複合化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	複合化	廃止	その他	○		○	
更新	長寿命化	複合化	廃止	その他									
○		○											

(7) 保健・福祉施設

施設名：【太秦高齢者福祉センター】

〔施設所管課：高齢介護室〕

小分類	高齢福祉施設	所在地	太秦元町14番22号										
建築年（主たる施設）	昭和56年（1981年）	総延床面積	238㎡										
更新年（建築後60年）	令和23年（2041年）	更新費	95,200,000円										
施設概要	高齢者に対して各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与するため開設。	偏差値											
配置・機能	現状	○近隣施設として、東コミュニティセンター、市民会館、東小学校、第一中学校がある。											
	課題	○耐震診断未実施である。 ○老朽化により交換・修理する必要がある設備・備品が多い。											
今後の方向性	一次評価	ハード：C ソフト：A											
	二次評価	維持											
	施設が老朽化しているため、長寿命化について検討する。												
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(7) 保健・福祉施設

施設名：【東高齢者福祉センター】

〔施設所管課：高齢介護室〕

小分類	高齢福祉施設	所在地	明和一丁目1番30号										
建築年（主たる施設）	昭和52年（1977年）	総延床面積	581㎡										
更新年（建築後60年）	令和19年（2037年）	更新費	232,400,000円										
施設概要	高齢者に対して各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与することを目的とする施設。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、学び館、たんぽぽ保育所がある。 ○浴場を備えている。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○耐震診断未実施である。 ○老朽化により交換・修理する必要がある設備・備品が多い。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：C ソフト：B											
	二次評価	集約化検討											
	施設が老朽化しているため、より効率的・効果的な運営が行えるよう近隣の公共施設との集約化・複合化について検討する。												
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他			○		
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
		○											

(7) 保健・福祉施設

施設名：【西高齢者福祉センター】

〔施設所管課：高齢介護室〕

小分類	高齢福祉施設	所在地	池田西町28番22号										
建築年（主たる施設）	平成10年（1998年）	総延床面積	1,518㎡										
更新年（建築後60年）	令和40年（2058年）	更新費	607,200,000円										
施設概要	高齢者に対して各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与するために運営。温水プール無料開放業務、各室使用承認事務、各種健康講座等を実施。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、中央図書館臨時図書室、池田小学校、桜小学校、第二中学校、コスモス保育所、池の里市民交流センターがある。 ○平成18年から指定管理者制度を導入している。 ○保健福祉センターの6階を高齢者福祉センターとして位置付けている。 ○プールを備えている。 											
	課題	○老朽化により交換・修理する必要がある設備・備品が多い。											
今後の方向性	一次評価	ハード：複合施設 ソフト：A											
	二次評価	維持											
	<p>現行施設の保全推進を基本とする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他				
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
				○									

(7) 保健・福祉施設

施設名：【あかつき・ひばり園】

〔施設所管課：子育て支援課〕

小分類	障害福祉施設	所在地	大谷町6番1号										
建築年（主たる施設）	昭和48年（1973年）	総延床面積	1,461㎡										
更新年（建築後60年）	令和15年（2033年）	更新費	584,400,000円										
施設概要	福祉型児童発達支援センター（ひばり園、定員40名・第2ひばり園、定員40名）・医療型児童発達支援センター（あかつき園、定員40名）その他、保育所等訪問支援、障害児相談支援、計画相談支援等実施。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、すばる・北斗福祉作業所・大谷の里がある。 ○平成26年から指定管理者制度を導入している。 ○平成25年にあかつき園・ひばり園・第2ひばり園の耐震診断を実施し、Is値0.6以上は確保している。 ○昭和48年に開設されたあかつき園・ひばり園と昭和55年に開設された第2ひばり園から成る、寝屋川市内唯一の児童発達支援センターであり、障害乳幼児に係る療育のセンター的役割を果たしている。定員（120名）を満たす利用があり、療育ニーズが年々高まっている。 ○平成5年にあかつき園・ひばり園、平成14年に第2ひばり園の大規模修繕を行っている。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○経年劣化等による施設、遊具等の老朽化に対して、子ども、保護者、職員の安全・安心を確保し、施設の機能を維持していくための改修が必要である。 ○障害の多様化や保護者のニーズをふまえて、多様な福祉サービスが提供できるよう施設機能の在り方について検討する必要がある。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：C											
	二次評価	維持											
	<p>就学前児童の障害の多様化に伴う対象児の増加と各々の障害特性に対応したサービスが提供できる市内で唯一の施設であり、子どもと保護者が安全に安心して利用できるよう経年劣化等による施設の老朽化対策を計画的に進め維持していく。</p> <p>今後、本市の人口動向に留意しつつ、施設規模及び障害の多様化に対応しうる施設機能のあり方について十分に検討しながら、維持管理を行っていく。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(7) 保健・福祉施設

施設名：【すばる・北斗福祉作業所・大谷の里】

〔施設所管課：障害福祉課〕

小分類	障害福祉施設	所在地	大谷町7番1号										
建築年（主たる施設）	昭和61年（1986年）	総延床面積	2,067㎡										
更新年（建築後60年）	令和28年（2046年）	更新費	826,800,000円										
施設概要	<p>すばる・北斗福祉作業所 障害児者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく事業を行うため、寝屋川市に療育・自立センターを設置する。事業内容は、障害者の生活介護に関する事、障害者の就労移行支援に関する事、障害者の就労継続支援に関する事。</p> <p>大谷の里 障害児者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく事業を行うため、寝屋川市に短期入所施設を設置する。事業内容は、障害者及び障害児の短期入所に関する事。</p>	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○近隣施設として、あかつき・ひばり園がある。○平成18年に屋根及び外壁改修工事を実施。</p> <p>○すばる・北斗福祉作業所は平成18年から、大谷の里は平成27年から指定管理者制度を導入している。</p> <p>○すばる・北斗福祉作業所、大谷の里ともに新耐震基準に基づく建物である。</p> <p>○平成26年に大谷の里建設。</p>											
	課題	<p>○屋根、受変電設備の周辺機器の老朽化。</p> <p>○空調関係の老朽化。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>すばる・北斗作業所は、平成18年4月1日に指定管理者制度を導入した後も、寝屋川市における障害者施設の中核的な役割を担ってきた。新卒入所希望者全員の受入を行うなど、寝屋川市における存在意義は大きいため、継続的に維持管理を行っていく。</p> <p>また、大谷の里に関しても、民間事業所では、受入困難な重度障害者の緊急時の備えや介護者の負担を軽減するレスパイトケア施設として、重要な役割を担っており、引き続き維持管理を行っていく。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(7) 保健・福祉施設

施設名：【東障害福祉センター】

〔施設所管課：東障害福祉センター〕

小分類	障害福祉施設	所在地	明和一丁目13番23号										
建築年（主たる施設）	昭和53年（1978年）	総延床面積	2,435㎡										
更新年（建築後60年）	令和20年（2038年）	更新費	974,000,000円										
施設概要	<p>①身体障害福祉センターB型（現在はⅡ型）として、昭和55年10月1日「寝屋川市立国守障害福祉センター」として開設。</p> <p>②平成18年10月1日、住居表示変更に伴い、施設名を「寝屋川市立東障害福祉センター」に変更。</p> <p>③公共施設等整備・再編計画（平成22年3月）により、平成23年4月1日、いきいき文化センター内に移設。</p> <p>④いきいき文化センターが廃止（平成28年3月31日）となり、学び館との複合施設として運営し、建物全体の管理は東障害福祉センターが担当している。</p>	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○近隣施設として、東高齢者福祉センターがある。</p> <p>○平成21年度に耐震診断を実施し、I s 値0.6以上は確保している。</p> <p>○教育センターとの事業集約に当たり、いきいき文化センターを廃止し、平成28年度4月1日より生涯学習施設「寝屋川市立学び館」として、2・3階部分を指定管理業者に事業を委託。また、1階部分は市の管理とし、建物は学び館と東障害福祉センターとの複合施設となっている。</p>											
	課題	○施設の利便性の向上により、利用者数の増加を図る必要がある。											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：B											
	二次評価	集約化検討											
	<p>利用者の少ない事業は廃止・統合し、併設する学び館と合わせ、東高齢者福祉センターとの集約化を検討する。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>更新</th> <th>長寿命化</th> <th>集約化</th> <th>廃止</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他			○		
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
		○											

(7) 保健・福祉施設

施設名：【保健所】

〔施設所管課：保健総務課〕

小分類	保健施設	所在地	八坂町28番3号										
建築年（主たる施設）	昭和46年（1971年）	総延床面積	1,397㎡										
更新年（建築後60年）	令和13年（2031年）	更新費	558,744,000円										
施設概要	<p>地域保健法に基づき、中核市となる平成31年4月に大阪府から無償譲渡を受け、市保健所として設置している。</p> <p>保健所組織のうち、保健総務課、保健衛生課及び保健予防課の感染症担当を配置している。</p>	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○近隣施設として、アルカスホール、駅前図書館、産業振興センター、消費生活センター、こどもセンター、ねやがわシティ・ステーションがある。</p> <p>○耐震については問題ないことが確認されている。（IS値0.77）</p> <p>○寝屋川市駅から徒歩5分程度で利便性はよい。</p> <p>○平成30年度に、市民駐車場及び駐輪場の整備、トイレの洋式化等を行った。また、大阪府により屋上の防水工事、検査室の整備も行われた。</p>											
	課題	<p>○建築年が古いため、アスベストを使用しており、また床や壁、キュービクルなどの老朽化が進んでいるため、今後修繕が必要になる可能性がある。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>保健所機能を有する施設として、今後も維持管理を行っていく。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○		
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(7) 保健・福祉施設

施設名：【保健福祉センター診療所】

〔施設所管課：健康づくり推進課〕

小分類	保健施設	所在地	池田西町28番22号										
建築年（主たる施設）	平成10年（1998年）	総延床面積	2,498㎡										
更新年（建築後60年）	令和40年（2058年）	更新費	999,160,000円										
施設概要	<p>他の医療機関が診療を行わない休日の診療体制及び地域の歯科診療所で治療が困難な障害者に対する歯科診療体制を確保するため保健福祉センター1階に設置。</p> <p>乳幼児及び成人の集団健（検）診に使用する検査室等を同センターの3階に設置。</p>	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○近隣施設として、中央図書館臨時図書室、池田小学校、桜小学校、第二中学校、コスモス保育所、池の里市民交流センターがある。</p> <p>○保健福祉センター1階で休日診療(内科・小児科・歯科)及び、障害者歯科診療を行っている。</p> <p>○保健福祉センター3階で各種集団健（検）診業務を行っている。</p>											
	課題	<p>○診療機器等に耐用年数を超過しているものがあるため、庁舎管理及び乳幼児健診の主管課等と調整しながら、年次的に更新していく必要がある。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：複合施設 ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>大阪府医療計画において、市町村は一次救急を担う旨が記載されているため、当該施設を維持する必要がある。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
				○									

(7) 保健・福祉施設

施設名：【あかつき・ひばり歯科診療所】

〔施設所管課：子育て支援課〕

小分類	保健施設	所在地	大谷町6番1号										
建築年（主たる施設）	昭和48年（1973年）	総延床面積	40㎡										
更新年（建築後60年）	令和22年（2040年）	更新費	16,000,000円										
施設概要	<p>昭和56年に、国際障害者年の記念事業の一環として、歯科医師会の全面的な協力を得て、障害乳幼児への適切な歯科診療の機会の提供と障害児の発達を支援する療育活動の一環としての診療を行うことを目的として「あかつき・ひばり歯科診療所」が開設。</p> <p>昭和59年11月より、市内の障害乳幼児を対象として外来診療を開始。</p> <p>平成26年度より「あかつき・ひばり園」とともに指定管理者制度を導入し、社会福祉法人療育・自立センターが指定管理者となる。</p>	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○近隣施設として、すばる・北斗福祉作業所・大谷の里がある。</p> <p>○あかつき・ひばり園に併設された診療所の開設により、むし歯の治療と診療所設備を活用した日常的なブラッシング指導等の口腔衛生指導・予防に取り組むことにより、むし歯のある園児の割合が減少するとともに、療育の一環として実施することで園児の治療を受ける力の育成に寄与している。</p>											
	課題	<p>○障害児等を支える歯科医療体制を維持するため、市と歯科医師会との連携を継続していく必要がある。</p> <p>○設備、器具等が進化していく中で、診療所の果たしている役割をふまえて、機能を維持していくための検討が必要である。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：複合施設 ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>施設に併設され、療育活動の一環としての診療に取り組む歯科診療所として、園児の治療を受ける力の育成に寄与しており、この力を早期に獲得することで将来に渡る障害児者の口腔衛生の向上が図られるため、引き続き、診療所を維持していく。</p> <p>診療所を経験した歯科医師の増加・広がり地域歯科医療体制の維持には不可欠であるため、子どもや保護者が安全に安心して利用できるように、引き続き、診療所機能を維持していく。</p>												
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
				○									

行政系施設

(8) 行政系施設

施設名：【寝屋川市役所】

〔施設所管課：資産活用課〕

小分類	庁舎等	所在地	本町1番1号										
建築年（主たる施設）	昭和39年（1964年）	総延床面積	12,930㎡										
更新年（建築後60年）	令和6年（2024年）	更新費	5,172,000,000円										
施設概要	寝屋川市の本庁舎であり、行政サービスの核となる施設である。災害時には、災害対策本部を設置し、防災・災害対策の拠点となる施設である。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、市民会館、中央小学校、上下水道局がある。 ○平成24年度から平成25年度にかけて耐震工事を実施し、IS値0.6は確保している。 ○人口増加や業務量増大に伴い、増築などの方法で対応してきた結果、市民サービス窓口の分散配置となった。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○本庁舎のみでは、執務スペースを確保することが困難なため、一部業務を保健福祉センター、池の里市民交流センターで行っており、市民の利便性と業務の効率性という点で課題がある。 ○建築後60年近く経過しており、施設全体の老朽化が進んでいる。 ○国の補助金を活用した施設のため原則として用途の変更ができない。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>本市の行政サービスの核となる施設であるため、機能を維持しなければならない。施設の長寿命化対策を実施する。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○		
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(8) 行政系施設

施設名：【ねやがわシティ・ステーション】

〔施設所管課：ねやがわシティ・ステーション〕

小分類	庁舎等	所在地	早子町16番11-101号										
建築年（主たる施設）	平成12年（2000年）	総延床面積	185㎡										
更新年（建築後60年）	令和42年（2060年）	更新費	74,000,000円										
施設概要	<p>住民異動届の受付を始め、各種証明書（国民健康保険・国民年金・後期高齢者医療・子ども医療）の資格取得喪失手続、転校手続、健康手帳の交付、市税・国民健康保険料・介護保険料・後期高齢者医療保険料・水道料金・し尿くみとり料金等の納付受付、児童手当の申請受付、及び各種相談受付、パスポートの交付等の業務を行っている。</p> <p>また、他のシティ・ステーションにはないハローワークを併設している。</p>	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○寝屋川市駅構内のため、利便性の良い立地条件にある。</p> <p>○近隣施設として、アルカスホール、駅前図書館、産業振興センター、消費生活センター、こどもセンター、子育てリフレッシュ館、保健所がある。</p> <p>○ハローワーク枚方職業紹介コーナーを併設し、就労支援をしている。</p>											
	課題	<p>○施設所有者が京阪電気鉄道(株)のため、継続的な協議を要する。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：賃借 ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>寝屋川市駅構内にあることから、更に利便性を高めるため、子育て分野など取扱業務を拡充させ、ワンストップ化に努める。</p> <p>また、市民サービスの「ターミナル化構想」を進めていく中で、今後の在り方を検討する。</p>												
<table border="1"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
				○									

(8) 行政系施設

施設名：【香里園シティ・ステーション】

〔施設所管課：香里園シティ・ステーション〕

小分類	庁舎等	所在地	香里南之町16番15号			
建築年（主たる施設）	昭和47年（1972年）	総延床面積	96㎡			
更新年（建築後60年）	令和14年（2032年）	更新費	38,400,000円			
施設概要	住民異動届の受付を始め、各種証明書等の交付、国民健康保険・国民年金・後期高齢者医療・子ども医療の資格の取得喪失手続、転校手続、健康手帳の交付、市税・国民健康保険料・介護保険料・後期高齢者医療保険料・水道料金・し尿くみとり料金等の納付受付、児童手当の申請受付、及び各種相談受付等の業務を行っている。					
配置・機能	現状	○香里園駅前の利便性の良い立地条件にある。				
	課題	○京阪本線連続立体交差事業に伴い、移転が必要である。				
今後の方向性	一次評価	ハード：賃借 ソフト：C				
	二次評価	移転				
	<p>香里園駅前にあることから、更に利便性を高めるため、子育て分野など取扱業務を拡充させ、ワンストップ化に努める。</p> <p>また、京阪本線連続立体交差事業の完成後は、高架下の公共用スペースの活用や市民サービスの「ターミナル化構想」を進めていく中で、今後の在り方を検討する。</p>					
		更新	長寿命化	集約化	廃止	その他
						○

(8) 行政系施設

施設名：【萱島シティ・ステーション】

〔施設所管課：萱島シティ・ステーション〕

小分類	庁舎等	所在地	萱島本町19番1号											
建築年（主たる施設）	昭和59年（1984年）	総延床面積	101㎡											
更新年（建築後60年）	令和26年（2044年）	更新費	40,400,000円											
施設概要	住民異動届の受付を始め、各種証明書の交付、国民健康保険・国民年金・後期高齢者医療・子ども医療の資格の取得喪失手続、転校手続、健康手帳の交付、市税・国民健康保険料・介護保険料・後期高齢者医療保険料・水道料金・し尿くみとり料金等の納付受付、児童手当の申請受付、及び各種相談受付等の業務を行っている。	偏差値												
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○萱島駅構内のため、利便性の良い立地条件にある。 ○新耐震基準に基づく建物である。 												
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○空調など施設設備の老朽化が進んでいる。 ○施設所有者が京阪電気鉄道(株)のため、継続的な協議を要する。 												
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：C												
	二次評価	維持												
	<p>萱島駅構内にあることから、更に利便性を高めるため、子育て分野など取扱業務を拡充させ、ワンストップ化に努める。</p> <p>また、市民サービスの「ターミナル化構想」を進めていく中で、今後の在り方を検討する。</p>													
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>					更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他										
				○										

(8) 行政系施設

施設名：【西シティ・ステーション】

〔施設所管課：西シティ・ステーション〕

小分類	庁舎等	所在地	池田西町24番5号										
建築年（主たる施設）	昭和53年（1978年）	総延床面積	57㎡										
更新年（建築後60年）	令和20年（2038年）	更新費	22,800,000円										
施設概要	住民異動届の受付を始め、各種証明書の交付、国民健康保険・国民年金・後期高齢者医療・子ども医療の資格の取得喪失手続、転校手続、健康手帳の交付、市税・国民健康保険料・介護保険料・後期高齢者医療保険料・水道料金・し尿くみとり料金等の納付受付、児童手当の申請受付、及び各種相談受付等の業務を行っている。	偏差値											
配置・機能	現状	○池の里市民交流センターに併設されていることや市域の西部方面での利便性の良い立地条件にある。											
	課題	○今後の池の里市民交流センターや保健福祉センターの在り方と共に検討する必要がある。											
今後の方向性	一次評価	ハード：複合施設 ソフト：B											
	二次評価	検討											
	<p>市域の西部方面に位置していることから、更に利便性を高めるため、子育て分野など取扱業務を拡充させ、ワンストップ化に努める。</p> <p>また、市民サービスの「ターミナル化構想」を進めていく中で、今後の在り方を検討する。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
				○									

(8) 行政系施設

施設名：【東シティ・ステーション】

〔施設所管課：東シティ・ステーション〕

小分類	庁舎等	所在地	打上宮前町3番1号		
建築年（主たる施設）	昭和54年（1979年）	総延床面積	204㎡		
更新年（建築後60年）	令和21年（2039年）	更新費	81,600,000円		
施設概要	住民異動届の受付を始め、各種証明書の交付、国民健康保険・国民年金・後期高齢者医療・子ども医療の資格の取得喪失手続、転校手続、健康手帳の交付、市税・国民健康保険料・介護保険料・後期高齢者医療保険料・水道料金・し尿くみとり料金等の納付受付、児童手当の申請受付、及び各種相談受付等の業務を行っている。	偏差値			
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○区分所有建物である。 ○寝屋川公園駅前の利便性の良い立地条件にある。 ○近隣施設として、明和小学校、第四中学校がある。 			
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○正面シャッターやエアコンの修繕を実施しているものの、建築から41年が経過し、老朽化が進んでいる。 ○入居している寝屋川東ファミリータウン中1番館については、耐震診断未実施である。（平成26年に大規模修繕実施済み。） 			
今後の方向性	一次評価	ハード：C ソフト：C			
	二次評価	複合化（移転）検討			
		<p>寝屋川公園駅前にあることや第二京阪道路側道から直接アクセス可能であることから、更に利便性を高めるため、子育て分野など取扱業務を拡充させ、ワンストップ化に努める。</p> <p>また、寝屋川公園周辺のまちづくりや市民サービスの「ターミナル化構想」を進めていく中で、今後の在り方を検討する。</p>			
	更新	長寿命化	複合化	廃止	その他
			○		

(8) 行政系施設

施設名：【堀溝サービス窓口】

〔施設所管課：萱島シティ・ステーション〕

小分類	庁舎等	所在地	堀溝3丁目10番20号										
建築年（主たる施設）	平成14年（2002年）	総延床面積	157㎡										
更新年（建築後60年）	令和44年（2062年）	更新費	62,800,000円										
施設概要	各種証明書の交付を始め、国民健康保険・国民年金・子ども医療の資格の取得喪失手続、健康手帳の交付、市税・国民健康保険料・介護保険料・後期高齢者医療保険料・水道料金・し尿くみとり料金等の納付受付、児童手当の申請受付、及び各種相談受付等の業務を行っている。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○国道163号線以南に位置し、特に高齢者の利便性が高い立地条件にある。 ○近隣施設として、南コミュニティセンター分館、堀溝小学校がある。 ○新耐震基準に基づく建物である。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○周辺地域の市民の利便性の向上に貢献しているが、さらなる利便性を高めるため、取扱業務について検討する必要がある。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：A ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>市域最南地域に位置し、近隣に主要な公共施設がないなど、更に利便性を高めるため、子育て分野など取扱業務を拡充させ、ワンストップ化に努める。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他				
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
				○									

(8) 行政系施設

施設名：【総合センター】

〔施設所管課：福祉総務課〕

小分類	庁舎等	所在地	池田西町28番22号											
建築年（主たる施設）	昭和47年（1972年）	総延床面積	12,022㎡											
更新年（建築後60年）	令和14年（2032年）	更新費	4,808,800,000円											
施設概要	<p>援護又は、育成を要する者に対し、心身の健康の保持及び育成並びに生活の安定のために必要な指導、援助等を行い、もって市民福祉の向上に資するため設置されたものである。</p>	偏差値												
配置・機能	現状	<p>○平成30年6月の大阪府北部地震で被災したため、福祉機能等を保健福祉センター及び池の里市民交流センターに、図書館機能を旧教育研修センターにそれぞれ移転し、平成31年3月末に閉鎖した。</p> <p>○近隣施設として、中央図書館臨時図書室、池田小学校、桜小学校、第二中学校、コスモス保育所、池の里市民交流センターがある。</p> <p>○平成9年度に耐震工事を実施し、I s 値0.6以上は確保している。</p>												
	課題	<p>○建物内にある吹付物等の建材に、アスベストが含まれている。</p> <p>○建物を解体するに当たり、アスベスト除去工事を実施するが、全館にアスベストが存在するため、除去工事が完了するまである程度の工期が必要である。</p> <p>○大規模な建物であるため、解体時の騒音、振動や粉じん等、周辺への影響が懸念される。</p>												
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：B												
	二次評価	解体												
	令和2年度に、総合センターを解体することが決定した。													
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>解体</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>					更新	長寿命化	集約化	解体	その他				○	
更新	長寿命化	集約化	解体	その他										
			○											

(8) 行政系施設

施設名：【保健福祉センター】

〔施設所管課：こどもを守る課〕

小分類	庁舎等	所在地	池田西町28番22号										
建築年（主たる施設）	平成10年（1998年）	総延床面積	8,816㎡										
更新年（建築後60年）	令和40年（2058年）	更新費	3,526,400,000円										
施設概要	市民の健康保持及び増進を図り、高齢社会に対応した高齢者、障害者等の在宅生活を支援するために、保健・医療・福祉にかかわるサービスを総合的に供給する施設として設置されたものである。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、中央図書館臨時図書室、池田小学校、桜小学校、第二中学校、コスモス保育所、池の里市民交流センターがある。 ○新耐震基準に基づく建物である。 ○築20年が経過する施設であり、市内西側の拠点となる施設である。 ○健康部・こども部・福祉部執務室のみならず、西高齢者福祉センター等が所在する施設である。 ○平成31年4月に保健所すこやかステーションが設置（1階）され、また、総合センターの閉鎖にともない障害者作業室など機能の一部が移転されている。 ○非常時には休日診療所に市災害医療センターを設置する。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○築年数の経過とともに、壁面、空調設備等の老朽化が進んできている。 ○総合センターの閉鎖と同時に来庁者駐輪場も閉鎖となっている。 ○総合センター機能の一部移転のために会議室を転用したことによる会議室の不足。 ○すこやかステーションの設置に当たり、地域活性化事業債を活用しており、その目的と合致しない用途への変更等については、繰上償還が発生する可能性がある。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：A ソフト：B											
	二次評価	維持											
	保健・医療・福祉にかかわるサービスを総合的に供給する拠点施設として維持する。 また、今後、総合センター解体に伴う施設整備が必要となる。												
<table border="1"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(8) 行政系施設

施設名：【高架事業課事務所】

〔施設所管課：高架事業課〕

小分類	行政系施設	所在地	香里南之町16番15号										
建築年（主たる施設）	昭和47年（1972年）	総延床面積	49㎡										
更新年（建築後60年）	令和14年（2032年）	更新費	19,600,000円										
施設概要	京阪本線連続立体交差事業の推進のために設置され、都市基盤整備部高架事業課の事務所として使用している。	偏差値											
配置・機能	現状	○香里園駅に近く、分かりやすい場所に位置している。 ○近隣施設として、ふれあいプラザ香里がある。											
	課題	○京阪本線連続立体交差事業の移転対象施設である。											
今後の方向性	一次評価	ハード：賃借 ソフト：C											
	二次評価	移転											
	高架事業課事務所が入居するビルは、京阪本線連続立体交差事業の移転対象物であるため、建物の移転時期に合わせて近隣の民間ビル等へ本事務所の移転を検討する。												
<table border="1"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
				○									

(8) 行政系施設

施設名：【上下水道局庁舎】

〔施設所管課：経営総務課〕

小分類	庁舎等	所在地	本町15番1号										
建築年（主たる施設）	昭和53年（1978年）	総延床面積	2,354㎡										
更新年（建築後60年）	令和20年（2038年）	更新費	941,600,000円										
施設概要	旧庁舎（プレハブ2階立て）が手狭になったため、新庁舎の建設を行った。 鉄筋コンクリート造り、地上4階、地下1階	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○近隣施設として、アルカスホール、市民会館、中央小学校、中央幼稚園、寝屋川市役所がある。</p> <p>○平成21年度に耐震診断を実施し、Is値0.6以上は確保している。</p> <p>○上下水道局庁舎は昭和53年竣工で、40年以上経過し、建築物としての耐用年数の半ばを迎えている。</p>											
	課題	<p>○今後は、竣工後40年以上経過していることから経年劣化に伴う施設設備等の改修が課題となる。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>災害時の応急給水や浸水対策を始め、安全で安定した上下水道サービスの提供に係る事務の執行や市民サービスの提供のために必要な施設であり、今後、経年劣化の状況を踏まえて施設設備の改修を行い、長寿命化を図っていく。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(8) 行政系施設

施設名：【香里浄水場】

〔施設所管課：水道事業課〕

小分類	庁舎等	所在地	香里西之町 1 9 番 2 号										
建築年（主たる施設）	平成6年（1994年）	総延床面積	2,619㎡										
更新年（建築後60年）	令和36年（2054年）	更新費	1,047,600,000円										
施設概要	<p>現在、水利権廃止により浄水機能としての用途は廃止</p> <p>《施設の概要》</p> <p>沈澱池、着水井、薬品混和池、流入渠、フロック形成池、流出渠、中塩素混和池、砂ろ過池流入渠、急速ろ過池、砂ろ過池流出渠、高度浄水処理オゾン反応槽、活性炭流入渠、活性炭ろ過池、活性炭洗浄排水槽、後塩素混和池、浄水池、管理棟、旧管理棟、薬注棟、水質試験室、ポンプ室、排泥池、一次濃縮槽、二次濃縮槽、上澄水槽、脱水機室</p>	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○平成26年度末に浄水処理を休止、平成27年度には中央監視装置を楠根配水場へ移設した。以降は、旧浄水課の事務所（兼水質試験室）として使用してきたが、平成30年度の組織統合に伴い旧浄水課は上下水道局へ移転し、管理棟及び旧管理棟は無人施設となり、水質試験室のみ業務を継続している。施設の無人化に伴い、平成30年7月より機械警備による防犯対策を行っている。</p> <p>○新管理棟は、S56年新耐震基準に基づく建物である。</p> <p>○水質試験室は、S54年建築であるが、H22年耐震診断の結果補強不要との診断を得ている。</p> <p>○平成30年6月18日に発生した大阪北部地震の影響による、中央図書館の蔵書及び考古学遺物等を管理棟、旧管理棟に一時保管を行っている。</p>											
	課題	<p>○香里浄水場は、平成4年度から平成11年度にかけ、高度浄水処理施設として補助金・企業債などを活用し建築されたことから、包括承認事項（補助金を活用して取得した財産の、処分の特例）及び企業債などの償還期限に留意しながら利活用を図らなければならない。</p> <p>○汚泥引抜ポンプ室にアスベスト（約30㎡ 封じ込め対策済）</p> <p>○旧管理棟は、耐震診断未実施である。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：B											
	二次評価	検討											
	<p>既存施設については、当面、埋蔵文化財等の収容を行うが、香里浄水場の立地をいかした施設の有効活用等、多様な視点を持って調査・研究し、スムーズな跡地利用に努める。</p>												
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他			○		○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
		○		○									

(8) 行政系施設

施設名：【消防団明和班屯所】

〔施設所管課：防災課〕

小分類	消防施設	所在地	小路北町22番23号										
建築年（主たる施設）	平成18年（2006年）	総延床面積	146㎡										
更新年（建築後60年）	令和48年（2066年）	更新費	58,400,000円										
施設概要	寝屋川市消防団明和班屯所 （車庫及び事務所・会議室）	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、学び館、東高齢者福祉センターがある。 ○平成18年建築のため、新耐震基準を満たしている。 ○寝屋川市から市消防団明和班に貸与しているポンプ車と人員搬送車を車庫に常駐している。 ○市消防団明和班の活動拠点となっており、規律訓練や会議などで使用している。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○地域防災力向上の観点から地域の防災拠点が必要である。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：A ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>今後、大規模災害等の発生を踏まえ、地域防災力向上の観点から地域の防災拠点としての活用を検討する必要がある。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(8) 行政系施設

施設名：【池の里市民交流センター（福祉行政機能）】

〔施設所管課：福祉総務課〕

小分類	庁舎等	所在地	池田西町24番5号										
建築年（主たる施設）	平成31年（2019年）	総延床面積	1,066㎡										
更新年（建築後60年）	令和61年（2079年）	更新費	426,552,000円										
施設概要	総合センターの閉鎖に伴い、同センター内の福祉機能の一部を臨時的に池の里市民交流センターに移転したもの。	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○仮設庁舎については2019年3月に建てられたものであり、10年間のリース物件である。</p> <p>○近隣施設として、西コミュニティセンター、中央図書館臨時図書室、第二中学校、保健福祉センターがある。</p> <p>○池の里市民交流センター（校舎棟、アリーナ棟）の一部及び仮設庁舎（プレハブ棟）に福祉機能の一部が所在する。</p>											
	課題	<p>○池の里市民交流センター（校舎棟、アリーナ棟）については建築年が古く老朽化が進んでいる。</p> <p>○福祉機能が池の里市民交流センターと保健福祉センターに分散しており、ワンストップサービスについての課題が残る。</p> <p>○仮設庁舎は、臨時的な期間での使用を想定しており、恒久的に使用する場合は、関係課協議が必要となる。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：複合施設、賃借 ソフト：B											
	二次評価	検討											
	現状、臨時的な配置となっていることから、ターミナル化構想の中で今後の配置等について検討する。												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
				○									

市宮住宅

(9) 市営住宅

施設名：【下木田市営住宅】

〔施設所管課：まちづくり推進課〕

小分類	市営住宅		所在地	下木田町16番1号										
建築年（主たる施設）	昭和39年（1964年）		総延床面積	830㎡										
更新年（建築後60年）	令和6年（2024年）		更新費	232,400,000円										
施設概要	昭和39年及び昭和43年に建設された中層耐火構造（3階建）の市営住宅である。		偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、南コミュニティセンター、市民体育館、南小学校、木田小学校、第七中学校、あざみ保育所、南幼稚園がある。 ○平成27年度に耐震診断を実施し、Is値0.6以上は確保している。 ○令和2年4月1日現在、管理戸数18戸、入居戸数9戸、空室9戸 ○空室を一時的な罹災者用住宅として活用している。 ○新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策として解雇等により住居の退去を余儀なくされる方への市営住宅の一時提供を行っている。 												
	課題													
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：B												
	二次評価	維持												
	<ul style="list-style-type: none"> ○寝屋川市営住宅長寿命化計画に基づき、住宅ストックとして、当面は現状維持し、必要な点検、日常修繕を適切に行う。 ○空室については、火災や災害時の罹災者用住宅として活用していく。 													
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他										
	○													

(9) 市営住宅

施設名：【明和住宅】

〔施設所管課：まちづくり推進課〕

小分類	市営住宅		所在地	打上南町1番 他										
建築年（主たる施設）	昭和40年（1965年）		総延床面積	22,066㎡										
更新年（建築後60年）	令和7年（2025年）		更新費	6,178,480,000円										
施設概要	<p>昭和40～48年に建設された中層耐火構造（4階建）の公営住宅である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明和住宅 17棟 ・明和住宅北集会所 		偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、学び館、自転車の駅、明和小学校、たんぽぽ保育所がある。 ○明和住宅については、平成29年度に耐震診断を実施し、Is値0.6以上は確保している。 ○令和2年4月1日現在、管理戸数412戸、入居戸数104戸、空き家308戸、北集会所 ○市営住宅に風呂が設置されていないため、付帯施設として明和温泉を建設している。 ○空棟になり次第、解体除却している。（平成30年度1棟実施、令和元年度2棟実施、令和2年度1棟予定） 												
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○昭和40年代に建築された建物であり、老朽化が進んでいる。 ○浄化槽機械室にアスベストあり。（困り込みによる措置済み） ○明和住宅北集会所については、建築年が古く、耐震診断未実施である。 												
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：C												
	二次評価	借上住宅への移転推進												
	<ul style="list-style-type: none"> ○市営住宅の現入居者に対し、民間賃貸住宅や公的賃貸住宅を活用した借上住宅への移転を推進する。 ○全戸が空き家となった住棟より用途廃止し順次解体除却する。（解体除却の際、アスベスト調査実施） ○住棟が空き家になるまでの期間、必要な点検・日常修繕を適切に行う。 													
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>					更新	長寿命化	集約化	廃止	その他				○	
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他										
			○											

(9) 市営住宅

施設名：【明和温泉】

〔施設所管課：まちづくり推進課〕

小分類	市営住宅	所在地	明和1丁目13番15号										
建築年（主たる施設）	昭和40年（1965年）	総延床面積	300㎡										
更新年（建築後60年）	令和7年（2025年）	更新費	84,000,000円										
施設概要	市営住宅の付帯施設として建設された公衆浴場。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、学び館、たんぽぽ保育所、東高齢者福祉センターがある。 ○令和元年度（平成31年度）営業日数 260日、年間入浴者数 26,073人 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○昭和40年代に建築された施設であり、設備等の老朽化が著しい。 ○平成30年度実施のアスベスト調査により浴室屋根材と軒天にアスベストの含有が判明。屋根材と軒天は成形板（レベル3）であり、飛散性は低い。 ○建築年が古く、耐震診断未実施である。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：C ソフト：C											
	二次評価	検討											
	<ul style="list-style-type: none"> ○明和住宅の付帯施設であるため、明和住宅存続の間は必要な点検・日常修繕を適切に行う。 ○明和住宅の住棟が全て空き家になった時点で廃止、建物解体除却を検討する。 												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>検討</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	検討	その他				○	
更新	長寿命化	集約化	検討	その他									
			○										

(9) 市営住宅

施設名：【寝屋川東住宅】

〔施設所管課：まちづくり推進課〕

小分類	市営住宅		所在地	明和2丁目16番 他										
建築年（主たる施設）	平成30年（2018年）		総延床面積	2,186㎡										
更新年（建築後60年）	令和60年（2078年）		更新費	612,080,000円										
施設概要	<p>平成30年に建設された中層耐火構造（4階建）の公営住宅である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寝屋川東住宅A棟 18戸 ・寝屋川東住宅B棟 16戸 ・寝屋川東住宅集会所 ・まちづくり推進課分室 		偏差値											
配置・機能	現状	<p>○JR寝屋川公園駅から西に約1kmと立地条件に恵まれている。</p> <p>○近隣施設として、学び館、明和小学校、たんぼぼ保育所、東高齢者福祉センターがある。</p> <p>○新耐震基準に基づく建物である。○令和2年4月1日現在、管理戸数34戸（A棟18戸B棟16戸）、入居戸数33戸、寝屋川東集会所</p> <p>○エレベーターの設置やバリアフリー化など、高齢者・障害者等に配慮した住宅。</p> <p>○住宅の前に防災機能を有した、みやいけ公園が併設されている。</p>												
	課題													
今後の方向性	一次評価	ハード：A ソフト：A												
	二次評価	維持												
	<p>維持管理に必要な点検・日常修繕を適切に行う。</p> <p>現在、まちづくり推進課の分室として、市営住宅管理の拠点となり運営を行っているが、管理業務委託等の導入も視野に入れ、今後の運営スタイルを考える必要がある。</p>													
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他										
	○													

供給処理施設

(10) 供給処理施設

施設名：【クリーンセンター】

〔施設所管課：環境事業課〕

小分類	供給処理施設	所在地	寝屋南一丁目2番1号										
建築年（主たる施設）	平成30年（2018年）	総延床面積	15,068㎡										
更新年（建築後60年）	令和60年（2078年）	更新費	6,027,200,000円										
施設概要	寝屋川市内で発生する一般廃棄物（ごみ）の処理施設	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、宇谷小学校がある。 ○焼却施設、及び破碎施設は、新耐震基準に基づく建物である。 ○焼却施設は、平成29年度末に竣工し、平成30年度から本格稼働している。 ○破碎施設は、平成6年に竣工し稼働している。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○クリーンセンター内の狭隘な敷地を最大限有効活用し、市民の利便性の向上を図る必要がある。 ○破碎施設は竣工後20年以上経過しており、今後長期的な安定稼働を図るため基幹設備の改修について検討する必要がある。 ○国の補助金を活用した施設であるため、用途変更はできない。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：A ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>当該施設は、市内から発生する一般廃棄物（ごみ）を処理する施設であり、その処理の必要性は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において、市町村の責務と定められており、各施設を適切な維持管理のもと適正に処理を行う。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>更新</th> <th>長寿命化</th> <th>集約化</th> <th>廃止</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(10) 供給処理施設

施設名：【旧クリーンセンター焼却施設】

〔施設所管課：環境事業課〕

小分類	供給処理施設	所在地	寝屋南1丁目2番1号										
建築年（主たる施設）	昭和55年（1980年）	総延床面積	7,758㎡										
更新年（建築後60年）	令和22年（2040年）	更新費	3,103,200,000円										
施設概要	寝屋川市内で発生する一般廃棄物（ごみ）の処理施設	偏差値											
配置・機能	現状	平成29年度末に廃止している。											
	課題	○クリーンセンター内の狭隘な敷地を最大限有効活用し、市民の利便性の向上を図る必要がある。 ○機械室等にアスベストあり											
今後の方向性	一次評価	ハード：－ ソフト：－											
	二次評価	解体											
	旧焼却施設を解体し、将来にわたり、一般廃棄物を円滑かつ適正処理・処分を行うため、再資源化の促進や災害廃棄物にも対応できるストックヤードを整備する。												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>解体</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	解体	その他				○	
更新	長寿命化	集約化	解体	その他									
			○										

(10) 供給処理施設

施設名：【緑風園】

〔施設所管課：環境事業課〕

小分類	供給処理施設	所在地	讃良東町7番1号										
建築年（主たる施設）	平成4年（1992年）	総延床面積	5,081㎡										
更新年（建築後60年）	令和34年（2052年）	更新費	2,032,400,000円										
施設概要	寝屋川市内から発生するくみとりし尿及び浄化槽汚泥の処理施設	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○昭和47年に竣工 ○昭和59年高度処理棟建設 ○平成4年浄化槽汚泥処理棟建設 ○平成6年し渣焼却炉、余剰汚泥乾燥施設完成及び事務所棟建設 ○平成9年前処理施設完成 ○平成19年度から処理方法を希釈放流方式へ変更 ○平成24年度に希釈水を工業用水から「なわて水みらいセンター」の処理水に変更 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○経年劣化に応じ、適切に管理する必要がある。 ○処理棟は、建築年が古く老朽化が進んでいる上、耐震診断未実施である。 ○国の補助金を活用した施設であるため、用途変更はできない。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：B											
	二次評価	検討											
	<p>引き続き、市内から発生するし尿等を適正に処理する必要があるため、適切に施設を維持管理する必要がある。また、減少するし尿等を効率的な処理を図るため、大阪府や近隣市と連携し、汚水処理施設の広域化・共同化に向け、検討を進める。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他				
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
				○									

その他

(11) その他

施設名：【公園墓地】

〔施設所管課：市民生活担当〕

小分類	公園墓地	所在地	池の瀬町5番2号										
建築年（主たる施設）	昭和61年（1986年）	総延床面積	1,943㎡										
更新年（建築後60年）	令和28年（2046年）	更新費	777,200,000円										
施設概要	寝屋川市における墓地の公園化を図るため、公園墓地（納骨堂、斎場含む。）を設置している。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○寝屋川市駅から少し離れた場所に位置している。 ○近隣施設として、三井小学校、第十中学校、さつき保育所がある。 ○新耐震基準に基づく建物である。 ○寝屋川斎場は、直営（委託）で運営しているが、納骨堂を含む公園墓地は平成18年から指定管理制度を導入している。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○特に斎場における運転停止等の故障を未然に防ぐため、引き続き維持管理を万全にする必要がある。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>市内に類似する機能を持つ施設がないため、引き続き維持管理を行う。 なお、斎場については、高齢化社会の進展に伴う火葬需要の増加が見込まれる中、火葬炉等設備の計画的な更新を行う。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>更新</th> <th>長寿命化</th> <th>集約化</th> <th>廃止</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(11) その他

施設名：【池田中町集会所】

〔施設所管課：資産活用課〕

小分類	その他	所在地	池田中町34番1号											
建築年（主たる施設）	昭和59年（1984年）	総延床面積	131㎡											
更新年（建築後60年）	令和26年（2044年）	更新費	52,400,000円											
施設概要	地域の集会所として活用しており、施設の管理・運営は自治会で行っている。	偏差値												
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、中央図書館臨時図書室、池田小学校、桜小学校がある。 ○新耐震基準に基づく建物である。 ○地域に必要な活動拠点となっており、使用貸借契約により、地元自治会が施設の管理・運営を行っている。 												
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○今後の在り方を地元自治会と調整する必要がある。 												
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：B												
	二次評価	維持												
	<p>地域の活動拠点として有効活用されていることから、更新年到来までは、使用貸借契約を締結し、地元自治会が維持管理を行う。</p> <p>また、今後の在り方について地元自治会と調整を行う。</p>													
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>					更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他										
				○										

(11) その他

施設名：【池田川自治会集会所】

〔施設所管課：資産活用課〕

小分類	その他	所在地	池田三丁目9番6号										
建築年（主たる施設）	平成3年（1991年）	総延床面積	61m ²										
更新年（建築後60年）	令和33年（2051年）	更新費	24,400,000円										
施設概要	地域の集会所として活用しており、施設の管理・運営は自治会で行っている。	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○近隣施設として、中央図書館臨時図書室、池田小学校、桜小学校、石津小学校がある。</p> <p>○新耐震基準に基づく建物である。</p> <p>○地域に必要な活動拠点となっており、使用貸借契約により、地元自治会が施設の管理・運営を行っている。</p>											
	課題	<p>○地元自治会の認可地縁団体取得に伴い、土地・建物の譲与を検討する必要がある。</p> <p>○今後の在り方を地元自治会と調整する必要がある。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：A ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>地域の活動拠点として有効活用されていることから、更新年到来までは、使用貸借契約を締結し、地元自治会が維持管理を行う。</p> <p>また、地元自治会の認可地縁団体取得に伴い、譲与を進めるとともに、今後の在り方について地元自治会と調整を行う。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
				○									

(11) その他

施設名：【田井西町集会所】

〔施設所管課：資産活用課〕

小分類	その他	所在地	田井西町27番2号											
建築年（主たる施設）	昭和55年（1980年）	総延床面積	117㎡											
更新年（建築後60年）	令和22年（2040年）	更新費	46,800,000円											
施設概要	地域の集会所として活用しており、施設の管理・運営は自治会で行っている。	偏差値												
配置・機能	現状	<p>○近隣施設として、北小学校、田井小学校、第三中学校、友呂岐中学校、さざんか保育所、北幼稚園がある。</p> <p>○地域に必要な活動拠点となっており、使用貸借契約により、地元自治会が施設の管理・運営を行っている。</p>												
	課題	<p>○今後の在り方を地元自治会と調整する必要がある。</p> <p>○建築年が古く、耐震診断未実施である。</p>												
今後の方向性	一次評価	ハード：C ソフト：B												
	二次評価	維持												
	<p>地域の活動拠点として有効活用されていることから、更新年到来までは、使用貸借契約を締結し、地元自治会が維持管理を行う。</p> <p>また、今後の在り方について地元自治会と調整を行う。</p>													
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>					更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他										
				○										

(11) その他

施設名：【萱島南多目的利用施設】

〔施設所管課：資産活用課〕

小分類	その他	所在地	萱島南町12番21号										
建築年（主たる施設）	平成10年（1998年）	総延床面積	149㎡										
更新年（建築後60年）	令和40年（2058年）	更新費	59,600,000円										
施設概要	地域の集会所として活用しており、施設の管理・運営は自治会で行っている。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、南コミュニティセンターがある。 ○新耐震基準に基づく建物である。 ○地域に必要な活動拠点となっている。 ○使用貸借契約により、地元自治会が施設の管理・運営を行っている。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○今後の在り方を地元自治会と調整する必要がある。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：A ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>地域の活動拠点として有効活用されていることから、更新年到来までは、使用貸借契約を締結し、地元自治会が維持管理を行う。 また、今後の在り方について地元自治会と調整を行う。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
				○									

(1) その他

施設名：【旧萱島自治会館】

〔施設所管課：資産活用課〕

小分類	その他	所在地	萱島本町14番3号										
建築年（主たる施設）	昭和50年（1975年）	総延床面積	364㎡										
更新年（建築後60年）	令和17年（2035年）	更新費	145,600,000円										
施設概要	自治会館として利用されていたが、平成24年6月に施設を廃止している。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、萱島シティ・ステーションがある。 ○平成24年に自治会館が機能移転し、施設は利用しておらず、普通財産として管理している。 ○平成24年度に境界確定済み。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○建物については、耐震化されておらず、かつアスベストが含まれている。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：C ソフト：B											
	二次評価	売却											
	アスベスト調査、境界確定、鑑定評価を実施済みであり、地元調整後、建物付きで売却する。												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>売却</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	売却	その他				○	
更新	長寿命化	集約化	売却	その他									
			○										

(11) その他

施設名：【郡元町集会所】

〔施設所管課：資産活用課〕

小分類	その他	所在地	郡元町6番17号											
建築年（主たる施設）	昭和56年（1981年）	総延床面積	546㎡											
更新年（建築後60年）	令和23年（2041年）	更新費	218,400,000円											
施設概要	地域の集会所として活用しており、施設の管理・運営は自治会で行っている。	偏差値												
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○地域に必要不可欠な活動拠点となっている。 ○使用貸借契約により、地元自治組織が施設の管理・運営を行っている。 												
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○今後の在り方を地元自治組織と調整する必要がある。 ○建築年が古く、耐震診断未実施である。 												
今後の方向性	一次評価	ハード：C ソフト：B												
	二次評価	維持												
	<p>地域の活動拠点として有効活用されていることから、更新年到来までは、使用貸借契約を締結し、地元自治組織が維持管理を行う。 また、今後の在り方について地元自治会と調整を行う。</p>													
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </table>					更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他										
				○										

(11) その他

施設名：【香里自治会館】

〔施設所管課：資産活用課〕

小分類	その他	所在地	東香里園町31番17号										
建築年（主たる施設）	昭和37年（1962年）	総延床面積	260㎡										
更新年（建築後60年）	令和4年（2022年）	更新費	104,000,000円										
施設概要	地域の集会所として活用しており、施設の管理・運営は地元自治組織で行っている。	偏差値											
配置・機能	現状	○近隣施設として、ふれあいプラザ香里、第三中学校、香里園シティ・ステーションがある。○地域に必要不可欠な活動拠点となっており、使用貸借契約により、地元自治会が施設の管理・運営を行っている。											
	課題	○今後の在り方を地元自治会と調整する必要がある。 ○建築年が古く、耐震診断未実施である。											
今後の方向性	一次評価	ハード：C ソフト：B											
	二次評価	維持											
	地域の活動拠点として有効活用されていることから、更新年到来までは、使用貸借契約を締結し、地元自治会が維持管理を行う。 また、今後の在り方について地元自治会と調整を行う。												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
				○									

(11) その他

施設名：【香里三井団地集会所】

〔施設所管課：資産活用課〕

小分類	その他	所在地	三井が丘四丁目12番7号										
建築年（主たる施設）	昭和58年（1983年）	総延床面積	103㎡										
更新年（建築後60年）	令和25年（2043年）	更新費	41,200,000円										
施設概要	地域の集会所として活用しており、施設の管理・運営は地元自治組織で行っている。	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○近隣施設として、寝屋川斎場、三井小学校、宇谷小学校、さつき保育所がある。</p> <p>○新耐震基準に基づく建物である。</p> <p>○地域に必要な活動拠点となっており、使用貸借契約により、地元自治組織が施設の管理・運営を行っている。</p>											
	課題	<p>○今後の在り方を地元自治組織と調整する必要がある。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>地域の活動拠点として有効活用されていることから、更新年到来までは、使用貸借契約を締結し、地元自治組織が維持管理を行う。</p> <p>また、今後の在り方について地元自治組織と調整を行う。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
				○									

(11) その他

施設名：【小路集会所】

〔施設所管課：資産活用課〕

小分類	その他	所在地	小路北町27番3号										
建築年（主たる施設）	昭和39年（1964年）	総延床面積	137㎡										
更新年（建築後60年）	令和6年（2024年）	更新費	54,800,000円										
施設概要	地域の集会所として活用しており、施設の管理・運営は自治会で行っている。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、学び館、東高齢者福祉センターがある。 ○地域に必要不可欠な活動拠点となっており、使用貸借契約により、地元自治会が施設の管理・運営を行っている。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○今後の在り方を地元自治会と調整する必要がある。 ○建築年が古く、耐震診断未実施である。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：C ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>地域の活動拠点として有効活用されていることから、更新年到来までは、使用貸借契約を締結し、地元自治会が維持管理を行う。</p> <p>また、今後の在り方について地元自治会と調整を行う。</p>												
<table border="1"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
				○									

(11) その他

施設名：【池田北町集会所】

〔施設所管課：資産活用課〕

小分類	その他	所在地	池田北町24番3号										
建築年（主たる施設）	昭和57年（1982年）	総延床面積	81㎡										
更新年（建築後60年）	令和24年（2042年）	更新費	32,400,000円										
施設概要	地域の集会所として活用しており、施設の管理・運営は自治会で行っている。	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○新耐震基準に基づく建物である。</p> <p>○地域に必要不可欠な活動拠点となっており、使用貸借契約により、地元自治会が施設の管理・運営を行っている。</p>											
	課題	<p>○今後の在り方を地元自治会と調整する必要がある。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>地域の活動拠点として有効活用されていることから、更新年到来までは、使用貸借契約を締結し、地元自治会が維持管理を行う。</p> <p>また、今後の在り方について地元自治会と調整を行う。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
				○									

(11) その他

施設名：【高倉公民館】

〔施設所管課：資産活用課〕

小分類	その他	所在地	高倉一丁目15番3号										
建築年（主たる施設）	平成7年（1995年）	総延床面積	140㎡										
更新年（建築後60年）	令和37年（2055年）	更新費	56,000,000円										
施設概要	地域の集会所として活用しており、施設の管理・運営は自治会で行っている。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、学び館がある。 ○新耐震基準に基づく建物である。 ○地域に必要な活動拠点となっており、使用貸借契約により、地元自治会が施設の管理・運営を行っている。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○地元自治会の認可地縁団体取得に合わせ、土地・建物の譲与を検討する必要がある。 ○今後の在り方を地元自治会と調整する必要がある。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：A ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>地域の活動拠点として有効活用されていることから、更新年到来までは、使用貸借契約を締結し、地元自治会が維持管理を行う。</p> <p>また、地元自治会の認可地縁団体取得に合わせ、譲与を進めるとともに、今後の在り方について地元自治会と調整を行う。</p>												
<table border="1"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
				○									

(11) その他

施設名：【緑町集会所】

〔施設所管課：資産活用課〕

小分類	その他	所在地	緑町9番21号										
建築年（主たる施設）	昭和53年（1978年）	総延床面積	118㎡										
更新年（建築後60年）	令和20年（2038年）	更新費	47,200,000円										
施設概要	地域の集会所として活用しており、施設の管理・運営は自治会で行っている。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、田井小学校、三井小学校がある。 ○地域に必要不可欠な活動拠点となっており、使用貸借契約により、地元自治会が施設の管理・運営を行っている。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○今後の在り方を地元自治会と調整する必要がある。 ○建築年が古く、耐震診断未実施である。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：C ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>地域の活動拠点として有効活用されていることから、更新年到来までは、使用貸借契約を締結し、地元自治会が維持管理を行う。</p> <p>また、今後の在り方について地元自治会と調整を行う。</p>												
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
				○									

(11) その他

施設名：【堀溝多目的利用施設】

〔施設所管課：資産活用課〕

小分類	その他	所在地	堀溝一丁目16番2号										
建築年（主たる施設）	平成5年（1993年）	総延床面積	47㎡										
更新年（建築後60年）	令和35年（2053年）	更新費	18,800,000円										
施設概要	地域の集会所として活用しており、施設の管理・運営は自治会で行っている。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、堀溝小学校、緑風園がある。 ○新耐震基準に基づく建物である。 ○地域に必要な活動拠点となっており、使用貸借契約により、地元自治会が施設の管理・運営を行っている。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○今後の在り方を地元自治会と調整する必要がある。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：A ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>地域の活動拠点として有効活用されていることから、更新年到来までは、使用貸借契約を締結し、地元自治会が維持管理を行う。</p> <p>また、今後の在り方について地元自治会と調整を行う。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
				○									

(11) その他

施設名：【東高柳自治会集会所】

〔施設所管課：資産活用課〕

小分類	その他	所在地	高柳一丁目5番12号										
建築年（主たる施設）	平成23年（2011年）	総延床面積	145㎡										
更新年（建築後60年）	令和53年（2071年）	更新費	58,000,000円										
施設概要	地域の集会所として活用しており、施設の管理・運営は自治会で行っている。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、西小学校、第九中学校、コスモス保育所がある。 ○新耐震基準に基づく建物である。 ○地域に必要な活動拠点となっており、使用貸借契約により、地元自治会が施設の管理・運営を行っている。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○今後の在り方を地元自治会と調整する必要がある。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：A ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>地域の活動拠点として有効活用されていることから、更新年到来までは、使用貸借契約を締結し、地元自治会が維持管理を行う。</p> <p>また、地元自治会の認可地縁団体取得に合わせ、譲与を進めるとともに、今後の在り方について地元自治会と調整を行う。</p> <p>※ 令和2年度に東高柳自治会へ譲与済み</p>												
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
				○									

(11) その他

施設名：【太間公民館】

〔施設所管課：市民活動振興室〕

小分類	その他	所在地	太間町12番6号											
建築年（主たる施設）	平成14年（2002年）	総延床面積	166㎡											
更新年（建築後60年）	令和44年度（2062年）	更新費	66,400,000円											
施設概要	地域の集会所として活用しており、施設の管理・運営は自治会で行っている。	偏差値												
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○新耐震基準に基づく建物である。 ○地域に必要不可欠な活動拠点となっており、使用貸借契約により、地元自治会が施設の管理・運営を行っている。 												
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○地元自治会の認可地縁団体としての法人格取得に合わせ、土地・建物の売却を検討する必要がある。 ○今後の在り方を地元自治会と調整する必要がある。 												
今後の方向性	一次評価	ハード：A ソフト：B												
	二次評価	維持												
	<p>地域の活動拠点として地域で有効に活用されていることから、更新年到来までは、使用契約を継続し、地元自治会が維持管理を行う。</p> <p>また、地元自治会の認可地縁団体取得に合わせ、売却等を進めるとともに、今後の在り方について地元自治会と調整を行う。</p>													
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>					更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他										
				○										

(11) その他

施設名：【共同作業場】

〔施設所管課：産業振興室〕

小分類	その他	所在地	高倉一丁目6番38号										
建築年（主たる施設）	平成2年（1990年）	総延床面積	392㎡										
更新年（建築後60年）	令和32年（2050年）	更新費	156,800,000円										
施設概要	平成2年4月に産業の振興、生活環境の改善及び住民が共同して被覆電線の処理をする場の提供を目的に公設民営の施設として開設。被覆銅線の野焼きの解消や銅線の高価格での売買等当初の目的も一定達成し、その後、光ファイバーの普及に伴い銅線の処理量も年々減少。また、業者の減少、後継者不足等維持管理が困難な状況となり、平成15年3月に閉鎖。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、学び館、東高齢者福祉センターがある。 ○新耐震基準に基づく建物である。 ○施設は閉鎖中であり、年1回、施設入口近くの樹木剪定を行っている。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の処分及び土地の売却については、建設時に国及び府の補助金が充当されており、売却時に返還する必要がある。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：B											
	二次評価	売却											
	<p>現在、施設は閉鎖中であり、売却に向けて調査中。補助金の返還については、施設閉鎖時までには遡っての返還はないことを国に確認済み。また、返還額については、土地売却額に基づき算定されることを国に確認済み。</p>												
<table border="1"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>売却</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	売却	その他				○	
更新	長寿命化	集約化	売却	その他									
			○										

(11) その他

施設名：【環境監視局 小路局】

〔施設所管課：環境保全課〕

小分類	その他	所在地	小路北町29番										
建築年（主たる施設）	平成22年（2010年）	総延床面積	8㎡										
更新年（建築後60年）	令和52年（2070年）	更新費	3,200,000円										
施設概要	第二京阪道路の大気汚染状況等を測定するための監視局	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、学び館、東高齢者福祉センターがある。 ○新耐震基準に基づく建物である。 ○第二京阪道路開通による大気環境等の変化を監視するため、関係8者（国、大阪府、NEXCO西日本、寝屋川市、枚方市、交野市、門真市、四條畷市）で協議した結果、平成22年4月1日にNEXCO西日本から委譲され、大気環境等の変化を監視している施設である。 ○平成30年度に浮遊粒子状物質自動測定装置の更新を行った。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○施設内の測定器が老朽化しているため計画的に更新していく必要がある。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：A ソフト：A											
	二次評価	維持											
	<p>令和3年度以降についても関係8者で協議した結果、監視を継続することとされたため、当該施設の維持管理を継続する。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>更新</th> <th>長寿命化</th> <th>集約化</th> <th>廃止</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </tbody> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他				
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
				○									

(11) その他

施設名：【環境監視局 寝屋南局】

〔施設所管課：環境保全課〕

小分類	その他	所在地	寝屋南二丁目13番										
建築年（主たる施設）	平成22年（2010年）	総延床面積	8㎡										
更新年（建築後60年）	令和52年（2070年）	更新費	3,200,000円										
施設概要	第二京阪道路の大気汚染状況等を測定するための監視局	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○新耐震基準に基づく建物である。</p> <p>○第二京阪道路開通による大気環境等の変化を監視するため、関係8者（国、大阪府、NEXCO西日本、寝屋川市、枚方市、交野市、門真市、四條畷市）で協議した結果、平成22年4月1日にNEXCO西日本から委譲され、大気環境等の変化を監視している施設である。</p>											
	課題	<p>○施設内の測定器が老朽化しているため計画的に更新していく必要がある。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：A ソフト：A											
	二次評価	維持											
	<p>令和3年度以降についても関係8者で協議した結果、監視を継続することとされたため、当該施設の維持管理を継続する。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
				○									

(11) その他

施設名：【大気汚染固定監視局 成田局】

〔施設所管課：環境保全課〕

小分類	その他	所在地	成田町3番6号										
建築年（主たる施設）	昭和61年（1986年）	総延床面積	12m ²										
更新年（建築後60年）	令和28年（2046年）	更新費	4,800,000円										
施設概要	大気汚染状況を測定するための監視局（成田局）	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○近隣施設として、東北コミュニティセンター、第五小学校、第六中学校、第十中学校がある。</p> <p>○新耐震基準に基づく建物である。</p> <p>○令和2年2月に浮遊粒子状物質自動測定装置及び窒素酸化物自動測定装置の更新を行った。</p>											
	課題	<p>○施設内の測定器等を計画的に更新していく必要がある。</p> <p>○建築年が古く老朽化が進んでいる。また、平成30年9月台風21号のように、災害により破損し修繕が必要となる場合がある。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：C											
	二次評価	維持											
	<p>平成31年度に中核市に移行したことにより寝屋川市には大気汚染防止法上の常時監視事務を実施する法的義務が生じたため、今後も施設を維持・管理していく。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>更新</th> <th>長寿命化</th> <th>集約化</th> <th>廃止</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(11) その他

施設名：【大気汚染固定監視局 寝屋川市役所局】

〔施設所管課：環境保全課〕

小分類	その他	所在地	本町1番1号										
建築年（主たる施設）	昭和47年（1972年）	総延床面積	20㎡										
更新年（建築後60年）	令和14年（2032年）	更新費	8,000,000円										
施設概要	大気汚染防止法第22条に基づく大気汚染状況を測定するための常時監視局（寝屋川市役所局）	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○近隣施設として、市民会館、中央小学校、上下水道局がある。</p> <p>○大気汚染防止法の大気汚染状況の常時監視の規定に基づき、昭和47年に大阪府が設置した施設であり、中核市移行に伴い、平成31年4月1日に寝屋川市に無償譲渡された。</p>											
	課題	<p>○施設内の測定器について、老朽化しているものもあることから計画的に更新していく必要がある。</p> <p>○建築年が古く老朽化が進んでいる。また、平成30年9月台風21号のように、災害により破損し修繕が必要となる場合がある。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：複合施設 ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>平成31年度に中核市に移行したことにより寝屋川市には大気汚染防止法上の常時監視事務を実施する法的義務が生じたため、今後も施設を維持・管理していく。</p>												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(1) その他

施設名：【上神田町家屋】

〔施設所管課：福祉総務課〕

小分類	その他	所在地	上神田1丁目12番4号										
建築年（主たる施設）	昭和40年（1965年）	総延床面積	41㎡										
更新年（建築後60年）	令和7年（2025年）	更新費	16,400,000円										
施設概要	本施設は平成21年度に個人から遺贈されたものである。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、西南コミュニティセンター、成美小学校、神田小学校、第五中学校、第九中学校がある。 ○当該建物は、1棟2戸の木造長屋であり、うち1戸は市の所有、他の1戸には居住者あり。 ○寄附を受領した当時の状態のままであり、建物の状況から、事業等への活用は行っていない。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○市所有部分に関しては、空き家状態となっているため、定期的に確認等を行い、建物の老朽化や衛生面等に注意しながら管理する必要がある。 ○建築年が古く、耐震診断未実施である。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：C ソフト：B											
	二次評価	売却											
	事業等での活用が見込めないため、売却の手続きを進める。												
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>売却</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	売却	その他				○	
更新	長寿命化	集約化	売却	その他									
			○										

(1) その他

施設名：【旧東障害福祉センター】

〔施設所管課：東障害福祉センター〕

小分類	その他	所在地	明和一丁目1番23号										
建築年（主たる施設）	昭和55年（1980年）	総延床面積	459㎡										
更新年（建築後60年）	令和22年（2040年）	更新費	183,600,000円										
施設概要	平成23年4月に、いきいき文化センター内に機能移転後は未利用施設となっている。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、学び館、たんぽぽ保育園、東高齢者福祉センターがある。 ○平成23年4月に、いきいき文化センター（現生涯学習福祉センター）内に東障害福祉センターの機能を移転した。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○現在は未使用施設となっている。 ○耐震診断未実施である。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：C ソフト：B											
	二次評価	売却											
	建物は国・府の補助金交付で建設されたので、今後の建物や跡地の処分については大阪府等と協議を行う。												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>売却</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	売却	その他				○	
更新	長寿命化	集約化	売却	その他									
			○										

(11) その他

施設名：【萱島まちづくりセンター】

〔施設所管課：住宅政策課〕

小分類	その他	所在地	萱島南町12番6号										
建築年（主たる施設）	平成23年（2011年）	総延床面積	300㎡										
更新年（建築後60年）	令和53年（2071年）	更新費	120,000,000円										
施設概要	<p>1. 多目的ホール 2. 中会議室 3. 小会議室 4. 和室 5. 事務所等</p> <p>萱島まちづくりセンター使用貸借契約書に基づき、萱島まちづくりセンター運営委員会に土地及び建物を無償貸付けしている。</p> <p>萱島地区及び周辺地区の住民の集い、各種催し等の場所を提供し、地区住民の福祉と文化の向上並びに住民相互の親睦を図っている。</p>	偏差値											
配置・機能	現状	<p>○萱島駅から少し離れた場所に位置している。</p> <p>○新耐震基準に基づく建物である。</p> <p>○萱島地区及び周辺地区住民が、公民館のような役割として利用している。</p>											
	課題	<p>○今後の在り方を地元自治会と調整する必要がある。</p>											
今後の方向性	一次評価	ハード：A ソフト：B											
	二次評価	維持											
	<p>地域の活動拠点として有効活用されていることから、更新年到来までは、使用貸借契約を締結し、地元自治会が維持管理を行う。</p> <p>また、今後の在り方について地元自治会と調整を行う。</p>												
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他		○			
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
	○												

(1) その他

施設名：【旧明德幼稚園】

〔施設所管課：学務課〕

小分類	その他	所在地	明德一丁目1番1号										
建築年（主たる施設）	昭和50年（1975年）	総延床面積	924㎡										
更新年（建築後60年）	令和17年（2035年）	更新費	304,920,000円										
施設概要	元幼稚園（未就学児教育施設）である。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、第十中学校、総合教育研修センターがある。 ○現在、園全体が空きスペースとなっており、学務課における学校保健衛生に係る物品の保管のほか、備品の保管場所として活用している。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○耐震診断未実施である。 ○アスベストあり 											
今後の方向性	一次評価	ハード：C ソフト：B											
	二次評価	検討											
	施設の今後の方向性について全庁的な見地から検討する。												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
				○									

(11) その他

施設名：【旧神田幼稚園】

〔施設所管課：学務課〕

小分類	その他	所在地	東神田町35番6号										
建築年（主たる施設）	昭和45年（1970年）	総延床面積	709㎡										
更新年（建築後60年）	令和12年（2030年）	更新費	233,970,000円										
施設概要	元幼稚園（未就学児教育施設）である。	偏差値											
配置・機能	現状	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣施設として、西南コミュニティセンター、神田小学校、南幼稚園がある。 ○平成26年度に耐震工事が完了し、I s 値0.7以上は確保している。 ○現在、園全体が空きスペースとなっており、他園の備品・物品の保管場所として活用している。 											
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○耐震補強工事と併せて改修は行っているが、必要最低限の改修であり、屋上や外壁等には経年劣化が認められる。 											
今後の方向性	一次評価	ハード：B ソフト：C											
	二次評価	検討											
	施設の今後の方向性について全庁的な見地から検討する。												
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>更新</td> <td>長寿命化</td> <td>集約化</td> <td>廃止</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>				更新	長寿命化	集約化	廃止	その他					○
更新	長寿命化	集約化	廃止	その他									
				○									